

令和 3 年度

市政世論調査概要

第 7 5 集

和 歌 山 市

はじめに

令和3年度は、まちなかの5大学すべてが開学し、和歌山城ホールの完成、紀の国わかやま文化祭2021開催など、長年取り組んできたまちの成長に資する事業が完了したことで、コロナ禍のなかでも久しぶりに新たなまちの賑わいが生まれています。新しい店舗などもオープンし、大学生が地域課題に取り組むなど市民の皆様が様々な場面で活躍する姿を見ることができます。

こうした新しい動きが出てくるなか、行政手続きのデジタル化、介護と子育て、市民生活と観光の2つの側面での交通など、複数の部署にまたがる行政課題が多くなってきています。これまでは既存の組織が横に連携して取り組んできましたが、これからはさらに迅速かつ確実に課題解決を進められるよう、特定の課題ごとに全庁一丸となって取り組めるような新しい体制で対応していく必要があります。

令和4年度は、「和歌祭四百年式年大祭」や「有吉佐和子記念館」のオープンなど、昨年の国民文化祭に続き、和歌山市に息づく文化がさらに新しい花を咲かせる年となります。今後も市民の皆様とともに新しい課題にも積極果敢に挑戦し、住みたいと選ばれるまちに向け市政運営に全力で取り組んでいく所存です。

この冊子は、アンケート調査で得られた貴重なご意見を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映することを目的としています。ここに、令和3年度市政世論調査概要（第75集）を取りまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民の皆様には厚くお礼申し上げます。

令和4年3月

和歌山市長 尾花正啓



和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

和歌山市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目 次

I. 調査の概要.....	5
1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の方法	5
4. 集計区分	6
5. 回答者の属性	7
6. 回答者の家族環境	11
7. 回答者の県外在住経験	13
II. 調査の結果.....	17
1. 災害対策について	17
2. 防災行政無線から放送している気象警報について	23
3. 行政が発表する避難情報について	27
4. 庁外で利用できる行政サービスの利用状況について	29
5. 在宅医療について	34
6. 子育て支援施策（結婚から子育ての各ライフステージにおける施策）について ..	42
7. 家庭教育支援について	49
8. “まちなかエリア”（南海和歌山市駅～JR和歌山駅周辺）の活性化について ..	55
9. 和歌山城天守閣について	57
10. 和歌山市の広報について	68
11. あなたの身の回りの状況やお考えについて	71
12. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について	75
13. 和歌山市の市政について（自由意見）	101
III. 調査票.....	105

※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。
- グラフ中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

和歌山市では毎年「市政世論調査」を行い、市民の希望や意識について調査し、市政運営のための基礎資料として活用している。

2. 調査の内容

- 災害対策について
- 防災行政無線から放送している気象警報について
- 行政が発表する避難情報について
- 庁外で利用できる行政サービスの利用状況について
- 在宅医療について
- 子育て支援施策（結婚から子育ての各ライフステージにおける施策）について
- 家庭教育支援について
- “まちなかエリア”（南海和歌山市駅～JR和歌山駅周辺）の活性化について
- 和歌山城天守閣について
- 和歌山市の広報について
- あなたの身の回りの状況やお考えについて
- 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について
- 和歌山市の市政について（自由意見）

3. 調査の方法

- ◆ 調査区域 和歌山市全域
- ◆ 調査対象 和歌山市に居住する満18歳以上の男女を等間隔無作為抽出
- ◆ 調査方式 郵送による配布・回収
- ◆ 調査期間 令和3年8月10日（火）～同年8月30日（月）
- ◆ 回収率 発送数 2,000人
有効回収数 981人 （回収数 981人）
有効回収率 49.1% （回収率 49.1%）
- ◆ 調査機関 和歌山市広報広聴課（対象者の抽出及びアンケートの策定）
株式会社サーベイリサーチセンター 大阪事務所（配布・回収・集計・取りまとめ）

4. 集計区分

居住区は全市内 42 地区で調査したが、下表のとおり 6 地域にとりまとめ集計した。

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

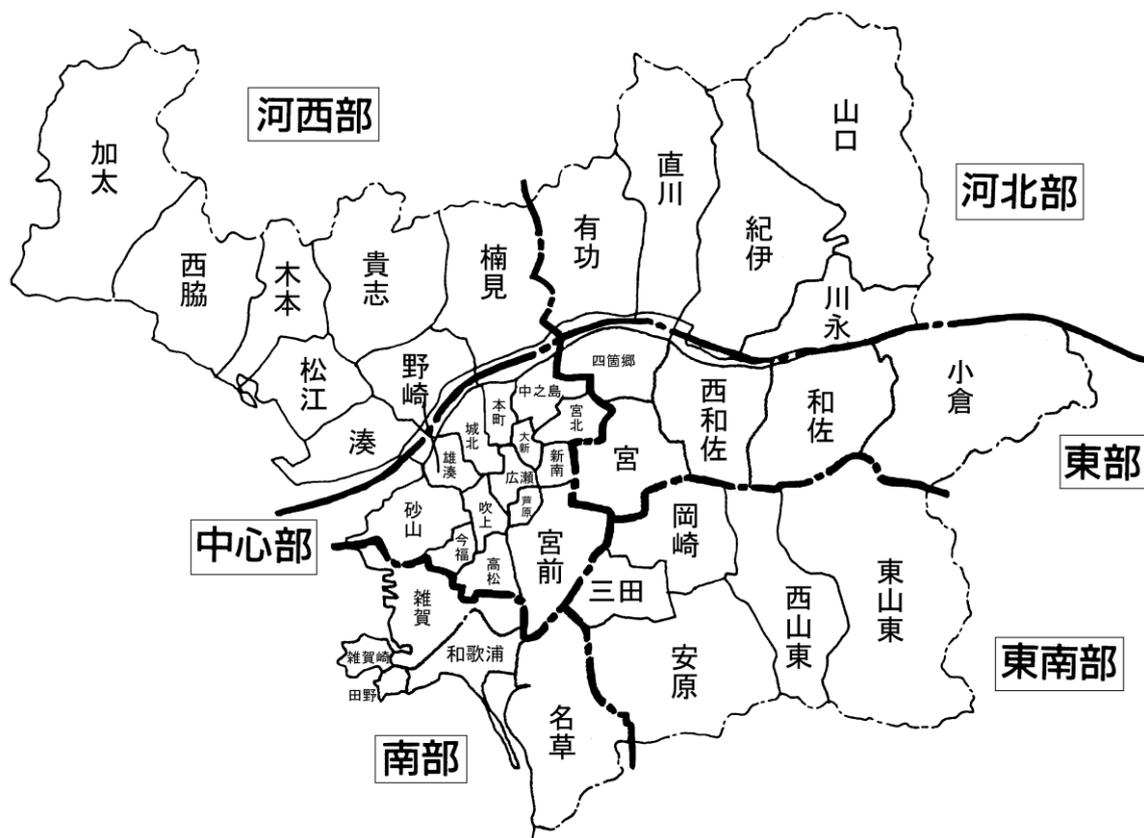
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



5. 回答者の属性

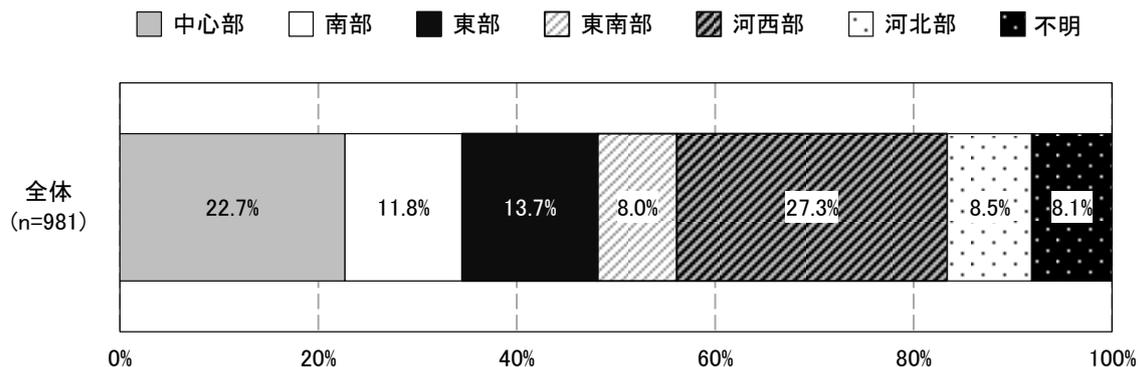
区分		総数	18 ～ 19歳	20 ～ 29歳	30 ～ 39歳	40 ～ 49歳	50 ～ 59歳	60 ～ 69歳	70 ～ 79歳	80歳 以上	不明
総数		981	4	64	112	124	160	196	240	71	10
地域別	中心部	223	0	15	28	26	41	45	50	16	2
	南部	116	0	3	12	11	25	26	28	10	1
	東部	134	2	7	17	16	21	25	33	13	0
	東南部	78	0	5	15	11	6	17	18	6	0
	河西部	268	0	27	20	35	41	55	72	16	2
	河北部	83	1	3	12	14	15	11	23	4	0
	不明	79	1	4	8	11	11	17	16	6	5
性別	男性	451	3	31	48	50	67	94	124	33	1
	女性	518	1	33	64	72	93	99	113	38	5
	不明	12	0	0	0	2	0	3	3	0	4
職業別	会社員	239	1	26	46	53	67	36	7	0	3
	自営業	58	0	0	1	10	13	14	17	3	0
	農林水産業	6	0	0	0	0	0	1	3	2	0
	公務員	46	0	5	19	7	9	6	0	0	0
	パート・アルバイト	159	1	8	27	27	34	38	23	0	1
	専業主婦（夫）	138	0	3	9	14	24	37	45	6	0
	学生	19	2	16	0	0	0	0	1	0	0
	無職	268	0	5	5	7	6	56	132	55	2
	その他	35	0	1	4	6	7	7	6	4	0
	不明	13	0	0	1	0	0	1	6	1	4
居住年数別	1年未満	4	0	1	1	1	1	0	0	0	0
	1～3年未満	29	0	5	9	3	0	4	5	3	0
	3～5年未満	19	0	4	5	4	1	3	1	1	0
	5～10年未満	30	0	2	19	5	2	1	0	0	1
	10～20年未満	68	4	12	15	16	6	8	6	1	0
	20～30年未満	118	0	40	10	17	30	14	6	0	1
	30年以上	707	0	0	53	78	119	165	222	66	4
	不明	6	0	0	0	0	1	1	0	0	4

問1 居住地区

問1 あなたの居住地区はどこですか？

- | | |
|--------|--------|
| 1. 中心部 | 4. 東南部 |
| 2. 南部 | 5. 河西部 |
| 3. 東部 | 6. 河北部 |

居住区構成は、「河西部」(27.3%)が最も多く、次いで「中心部」(22.7%)、「東部」(13.7%)となっている。

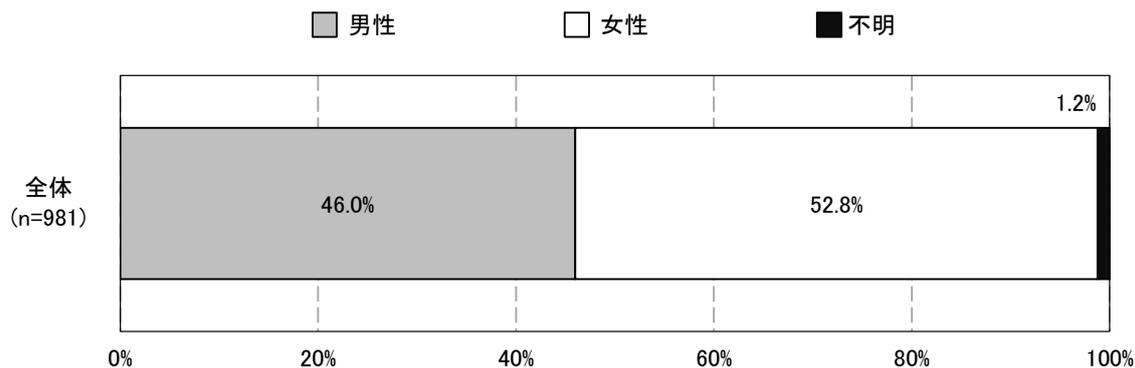


問2 性別

問2 あなたの性別は？

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

男女別構成は「男性」が46.0%、「女性」が52.8%で、女性が男性を上回っている。

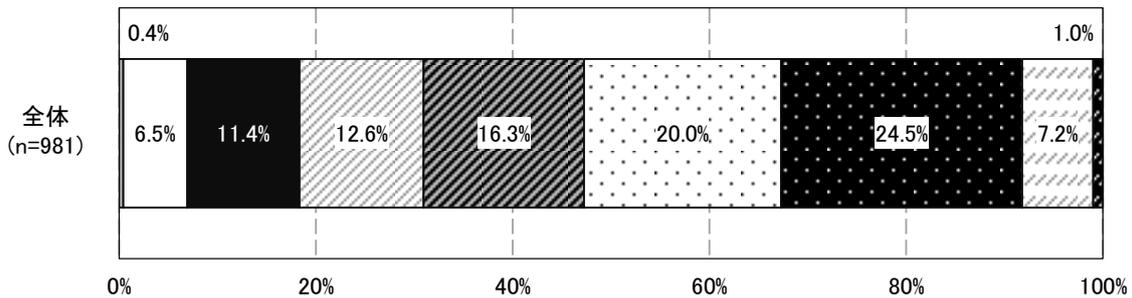


問3 年齢

問3 あなたの年齢は？

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 3. 30～39歳 | 5. 50～59歳 | 7. 70～79歳 |
| 2. 20～29歳 | 4. 40～49歳 | 6. 60～69歳 | 8. 80歳以上 |

年齢構成は「70～79歳」(24.5%)が最も多く、次いで「60～69歳」(20.0%)となっている。60歳以上の割合が51.7%を占める。

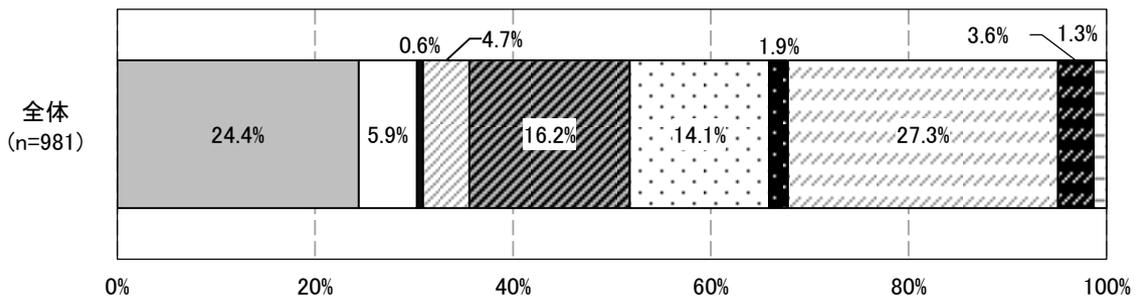
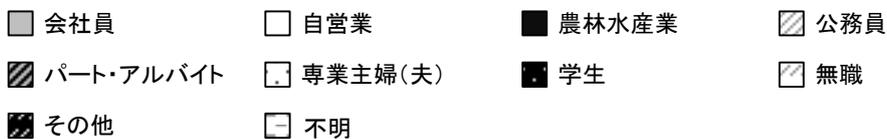


問4 職業

問4 あなたの職業は？

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 会社員 | 6. 専業主婦(夫) |
| 2. 自営業 | 7. 学生 |
| 3. 農林水産業 | 8. 無職 |
| 4. 公務員 | 9. その他 |
| 5. パート・アルバイト | |

職業構成は「無職」(27.3%)が最も多く、次いで「会社員」(24.4%)、「パート・アルバイト」(16.2%)となっている。



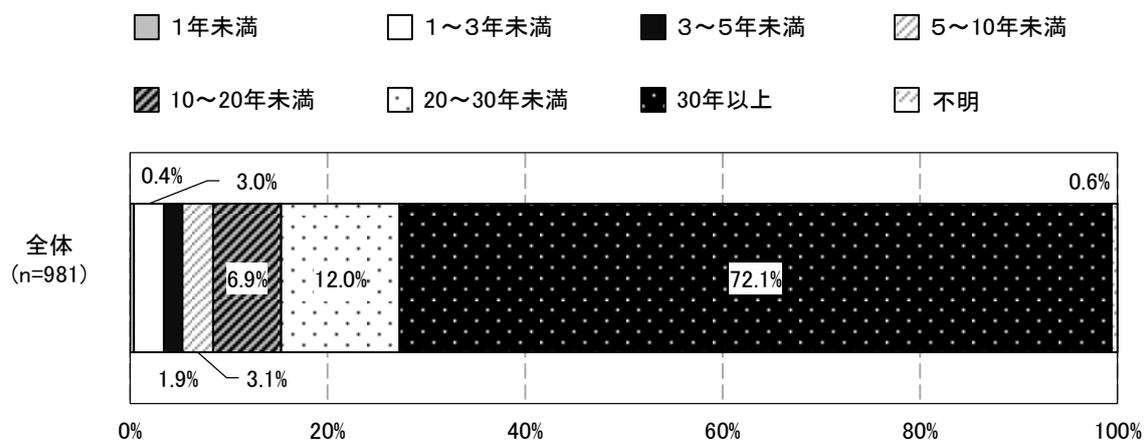
その他：「団体職員」、「専門職」、「医療従事者」など

問5 居住年数

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 5. 10～20年未満 |
| 2. 1～3年未満 | 6. 20～30年未満 |
| 3. 3～5年未満 | 7. 30年以上 |
| 4. 5～10年未満 | |

居住年数構成は「30年以上」(72.1%)が最も多く、次いで「20～30年未満」(12.0%)、「10～20年未満」(6.9%)となっている。



6. 回答者の家族環境

回答者の家族環境について、アンケートの間6～間7の結果を集計した。

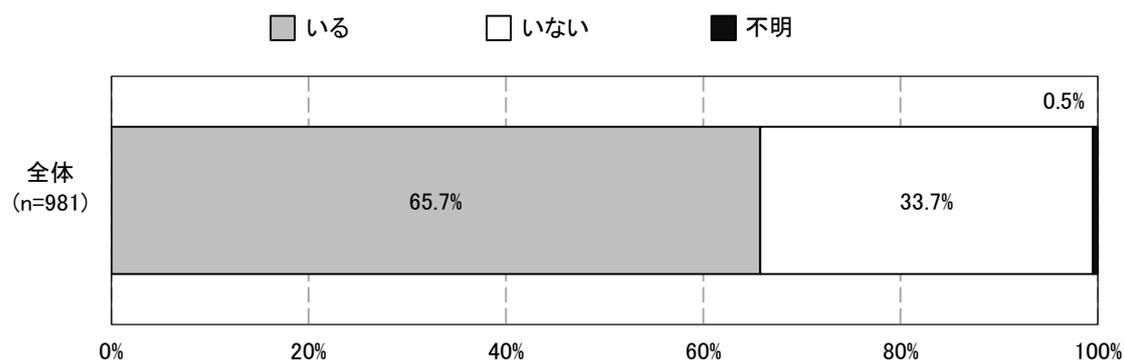
問6 配偶者の有無

問6 あなたは現在、配偶者がいますか？

1. いる

2. いない

配偶者が「いる」と回答された方の割合は65.7%、「いない」は33.7%となっている。



問6-1 共働き

問6-1 問6で「1. いる」と回答された方のみお答えください。

どちらも働いていますか？

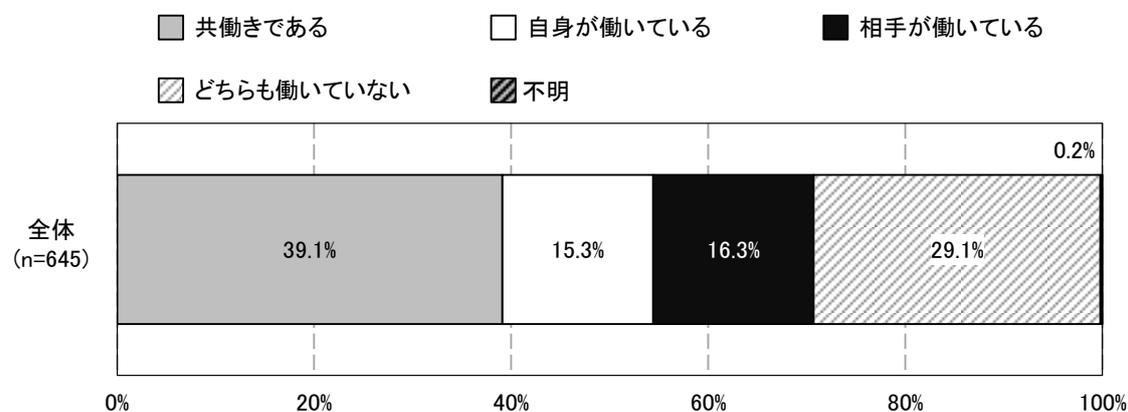
1. 共働きである

3. 相手が働いている

2. 自身が働いている

4. どちらも働いていない

問6で配偶者が「いる」と回答された645人について、「共働きである」(39.1%)が最も多く、次いで「どちらも働いていない」(29.1%)、「相手が働いている」(16.3%)となっている。

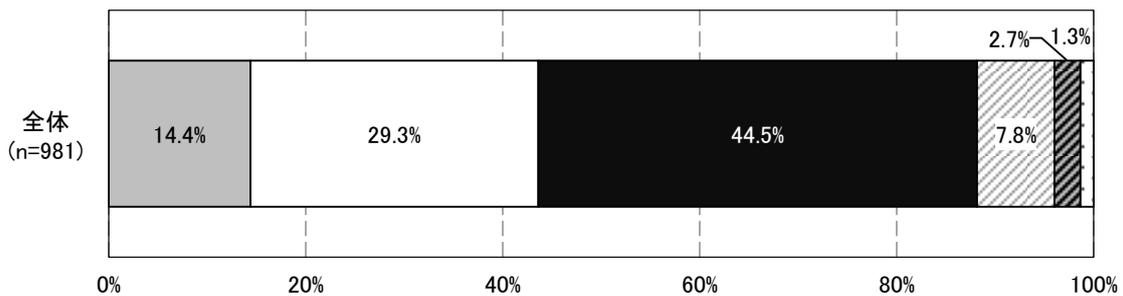
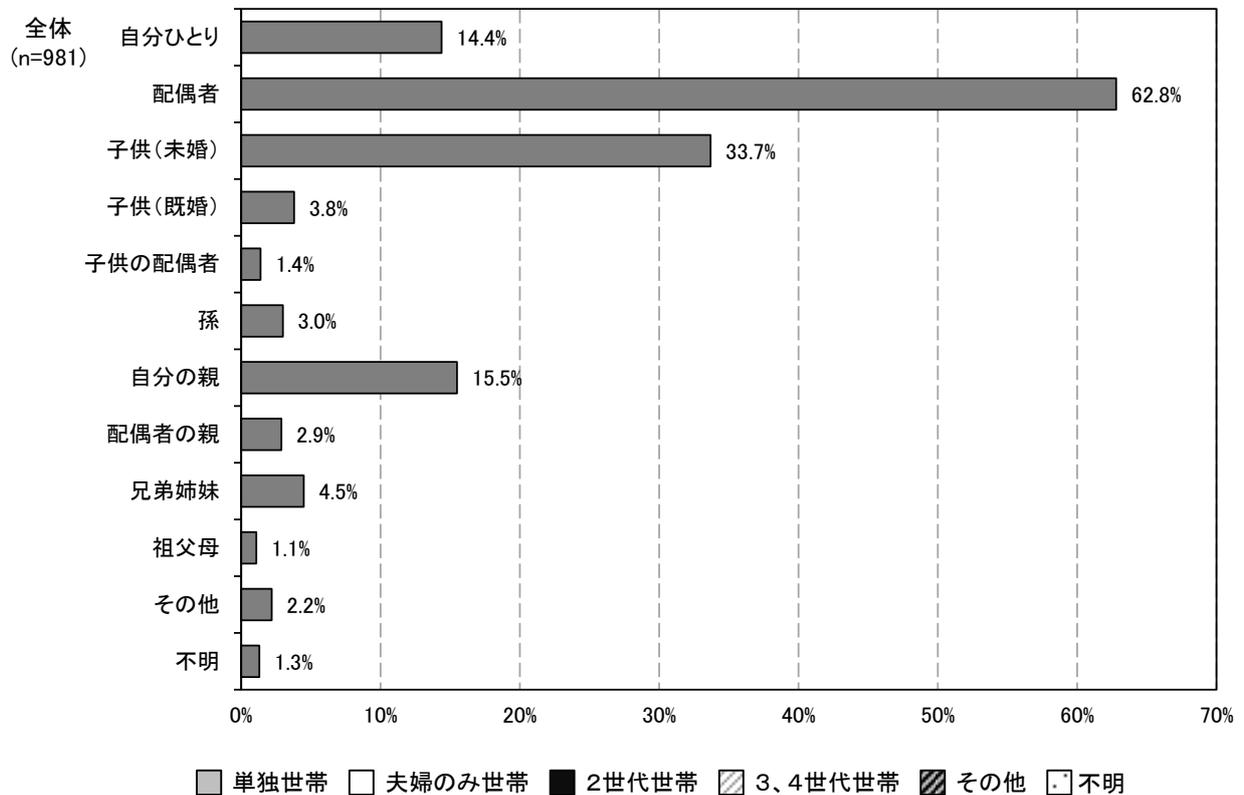


問7 家族構成

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 自分ひとり | 7. 自分の親 |
| 2. 配偶者 | 8. 配偶者の親 |
| 3. 子供（未婚） | 9. 兄弟姉妹 |
| 4. 子供（既婚） | 10. 祖父母 |
| 5. 子供の配偶者 | 11. その他 |
| 6. 孫 | |

同居人は「配偶者」(62.8%)が最も多く、次いで「子供（未婚）」(33.7%)、「自分の親」(15.5%)となっている。回答から家族構成を分類すると、「2世代世帯」(44.5%)、「夫婦のみ世帯」(29.3%)、「単独世帯」(14.4%)、「3、4世代世帯」(7.8%)となっている。



その他：「配偶者の兄弟」、「甥・姪」など

7. 回答者の県外在住経験

回答者の県外在住経験について、アンケートの問8の結果を集計した。

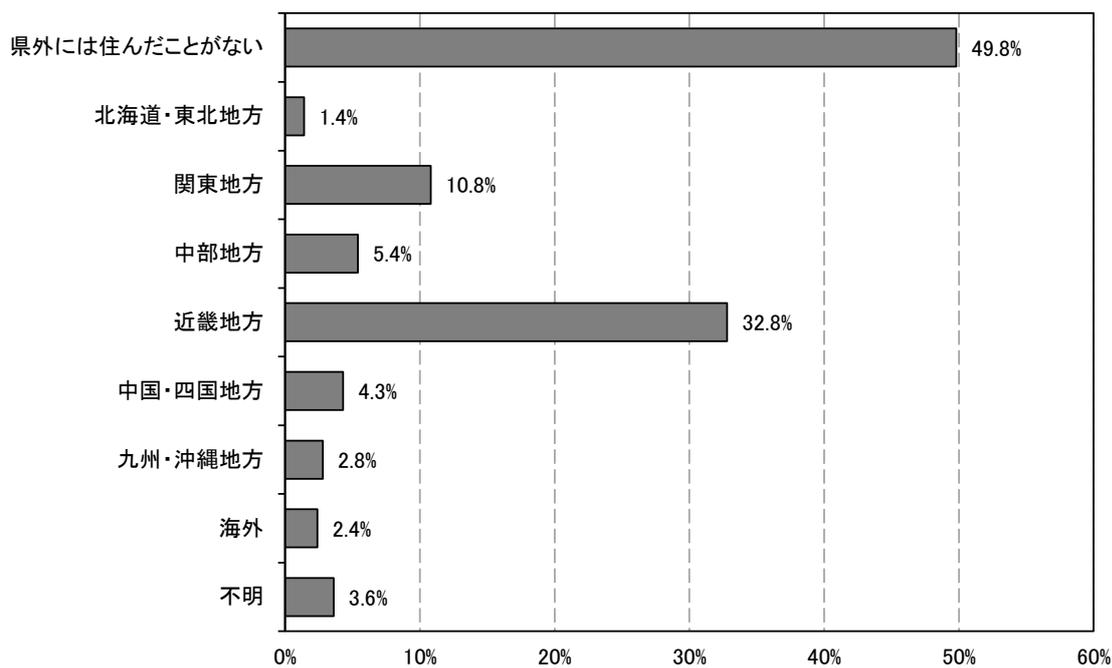
問8 県外居住経験

問8 あなたは18歳以降に県外に住んだことがありますか？
住んだことがある場所を全てお選びください。※18歳未満での県外居住経験は含みません。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 県外には住んだことがない | 5. 近畿地方 |
| 2. 北海道・東北地方 | 6. 中国・四国地方 |
| 3. 関東地方 | 7. 九州・沖縄地方 |
| 4. 中部地方 | 8. 海外 |

県外在住経験は「県外には住んだことがない」(49.8%)が最も多く、次いで「近畿地方」(32.8%)、「関東地方」(10.8%)となっている。

全体
(n=981)



調査の結果

Ⅱ. 調査の結果

1. 災害対策について

問9 災害に対する備え

問9 あなたは現在、ペットボトル水や缶詰などを多めに購入する等、災害に対して何らかの備えを行っていますか？

1. はい

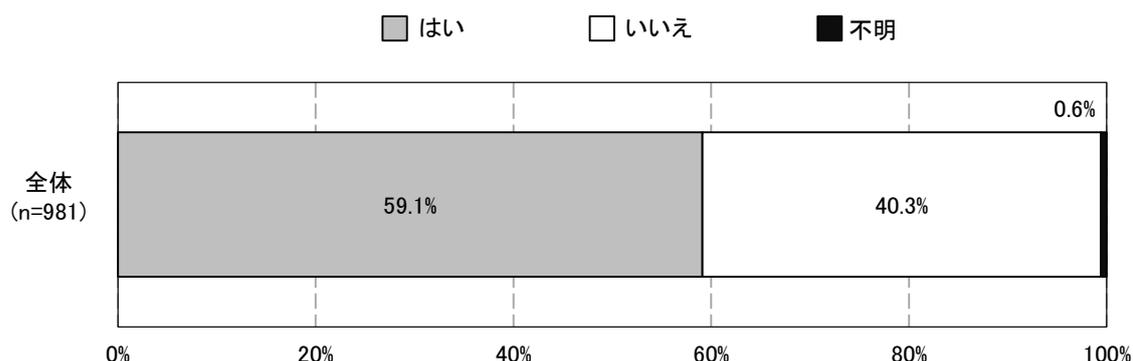
2. いいえ

災害への備えを行っているかについて、「はい」と回答された方の割合は 59.1%と、6割近くの方が災害に対して何らかの備えを行っている。

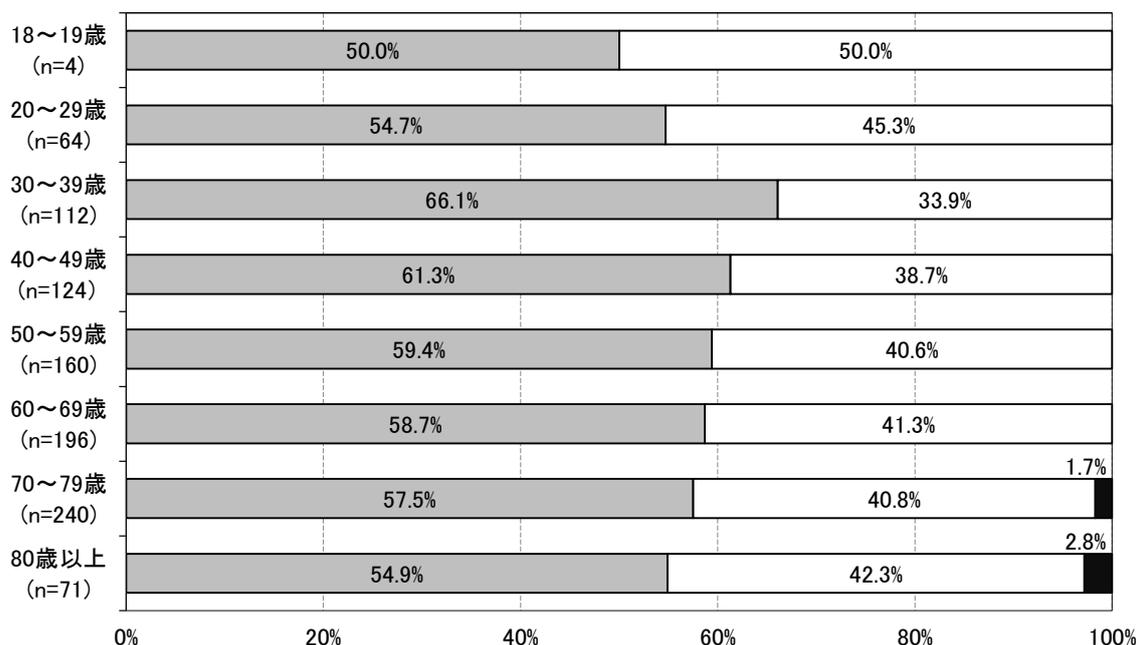
年代別で見ると、「30～39歳」で「はい」と回答された方の割合が 66.1%と最も多く、次いで「40～49歳」(61.3%)、「50～59歳」(59.4%)となっている。

地域別で見ると、「河北部」で「はい」と回答された方の割合が 72.3%と最も多く、次いで「東南部」(66.7%)、「東部」(64.9%)となっている。

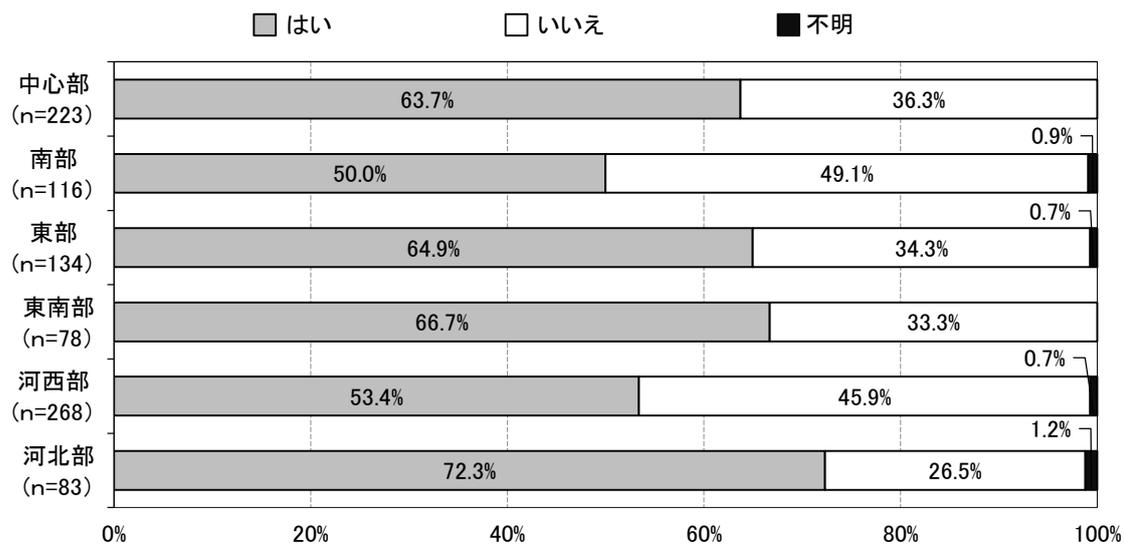
<全体>



<年代別>



<地域別>



問 10 家具等の固定状況

問 10 あなたは、地震に備えて家具等の固定をしていますか？

1. はい

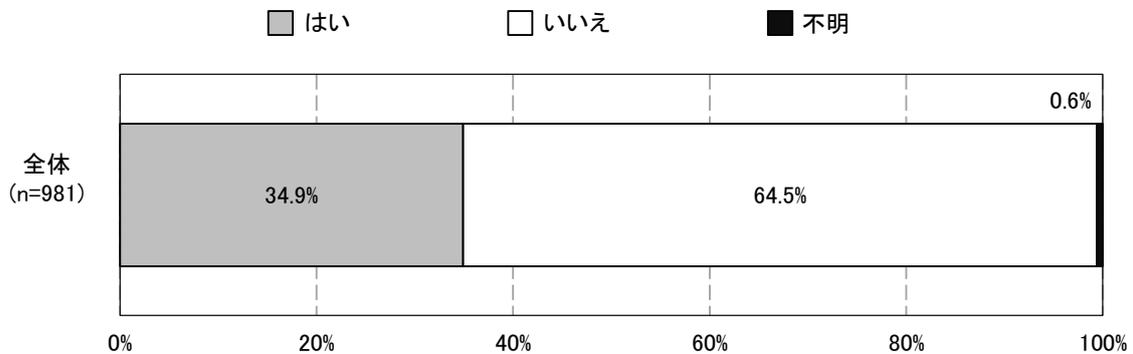
2. いいえ

家具等の固定状況について、「はい」と回答された方の割合は34.9%、「いいえ」が64.5%となっている。

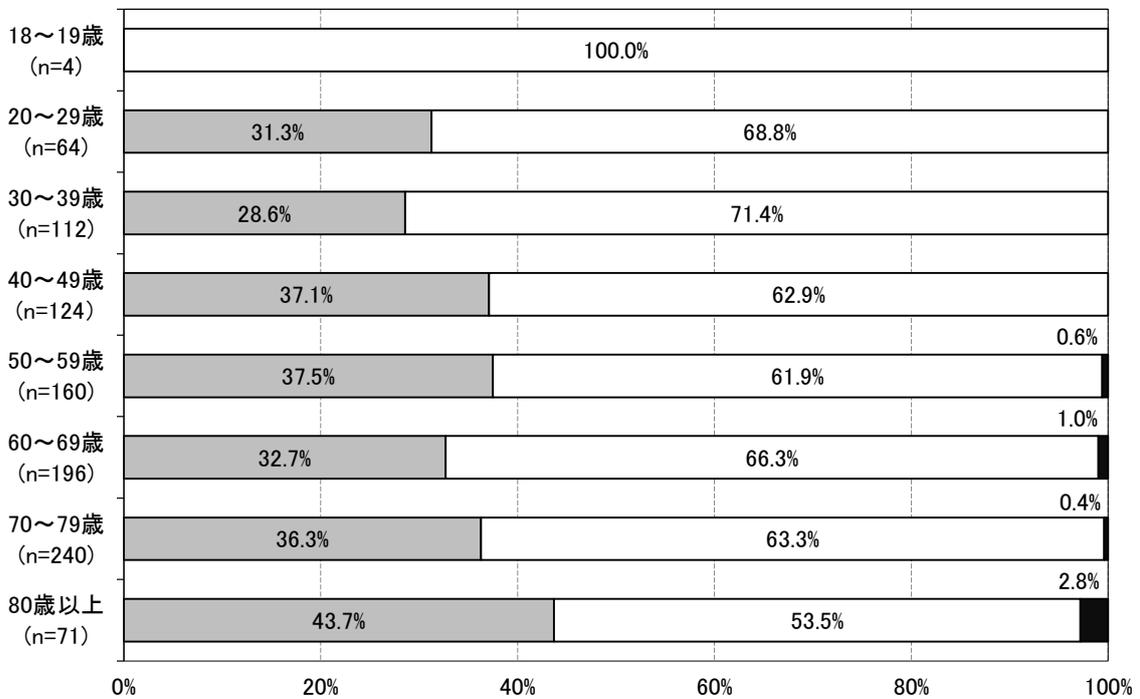
年代別で見ると、「80歳以上」で「はい」と回答された方の割合が43.7%と最も多く、次いで「50～59歳」(37.5%)、「40～49歳」(37.1%)となっている。

地域別で見ると、「中心部」で「はい」と回答された方の割合が38.6%と最も多く、次いで「河北部」(37.3%)、「東部」・「河西部」(35.1%)となっている。

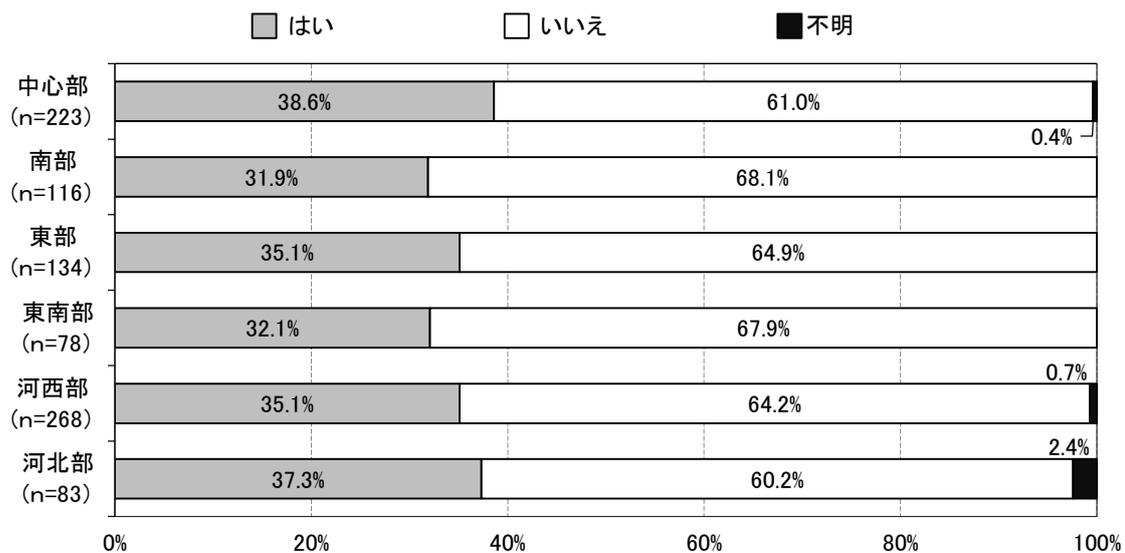
<全体>



<年代別>



<地域別>



問 11 「感震ブレーカー」の設置状況

問 11 あなたは、地震が発生し揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動で止める「感震ブレーカー」を設置していますか？

1. はい

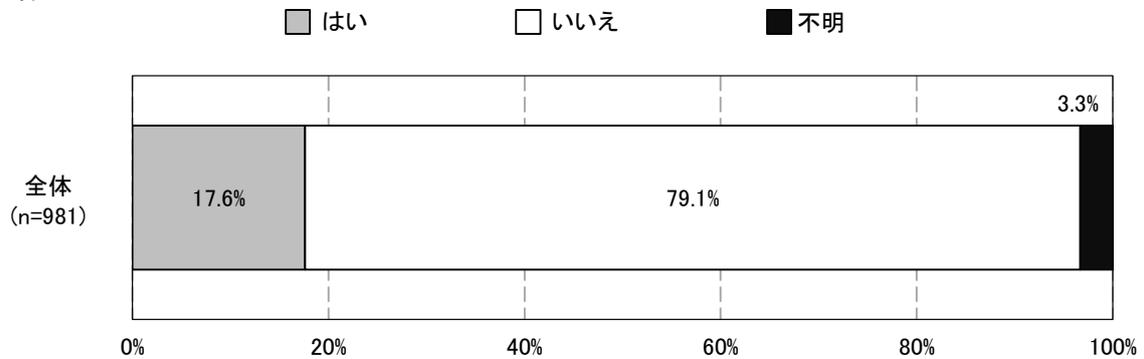
2. いいえ

感震ブレーカーの設置状況について、「はい」と回答された方の割合は17.6%、「いいえ」は79.1%となっている。

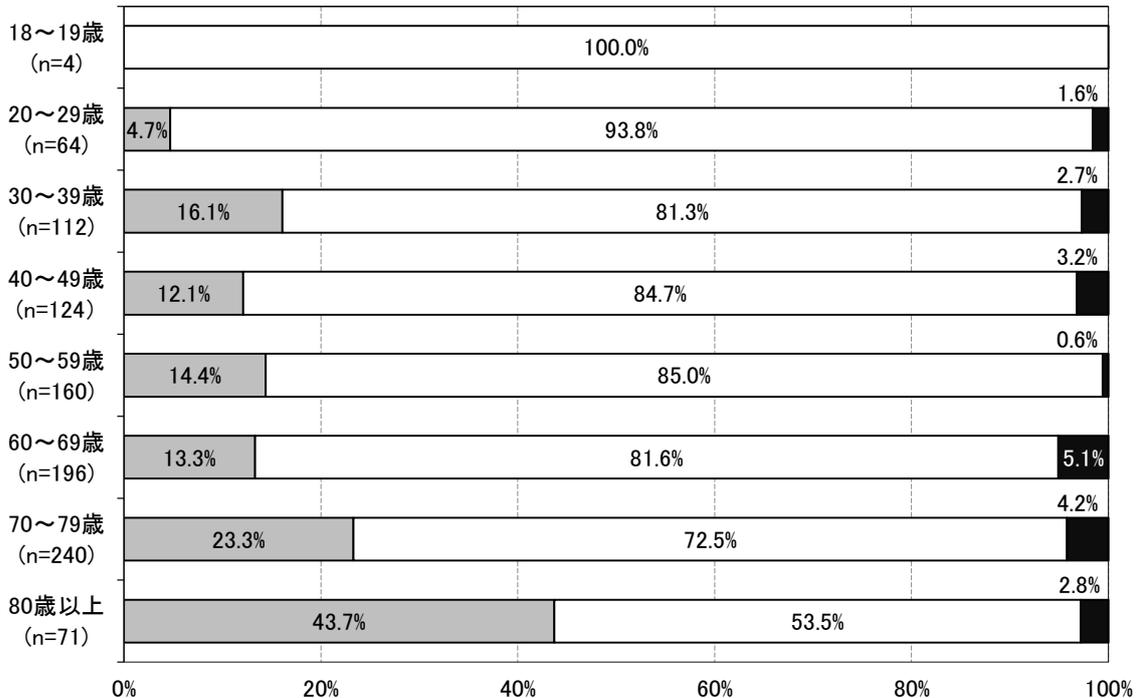
年代別で見ると、「80歳以上」で「はい」と回答された割合が43.7%と最も多く、次いで「70～79歳」(23.3%)となっており、70歳代以上の年代において、より設置している傾向が見られる。

地域別で見ると、「東南部」で「はい」と回答された方の割合が20.5%と最も多く、次いで「中心部」(19.3%)、「南部」(19.0%)となっている。

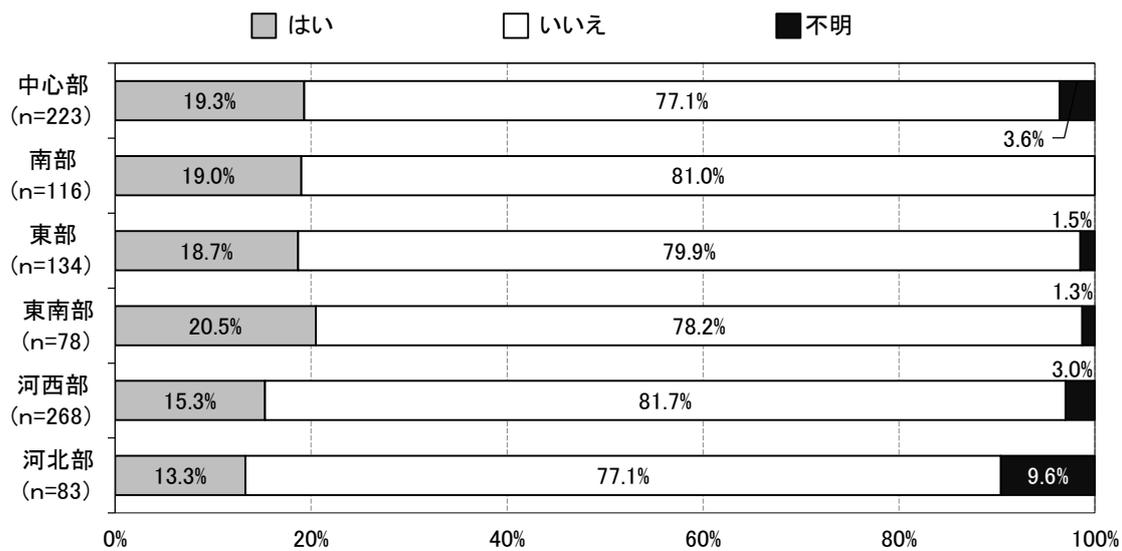
<全体>



<年代別>



<地域別>



2. 防災行政無線から放送している気象警報について

問 12 気象警報が発表された時の放送の必要性

問 12 あなたは、気象警報が『発表』された時に放送が必要だと思われますか？

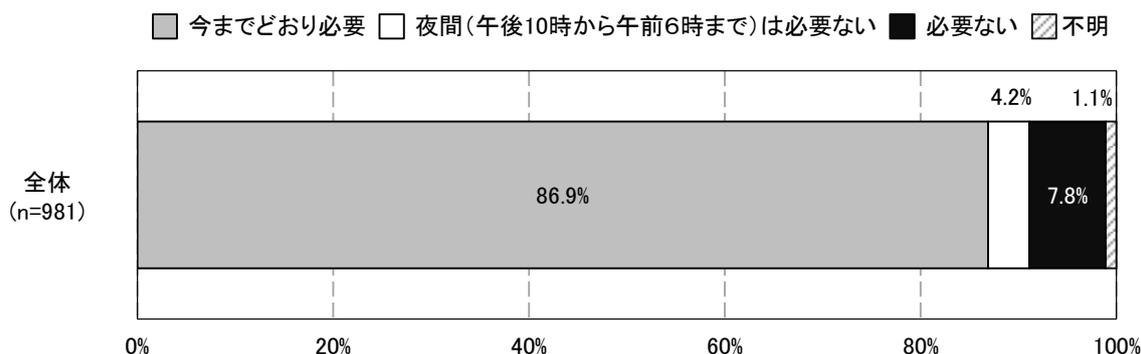
1. 今までどおり必要
2. 夜間（午後 10 時～午前 6 時まで）は必要ない
3. 必要ない

気象警報が『発表』された時の放送の必要性について、「今までどおり必要」と回答された方の割合は 86.9%、「夜間（午後 10 時から午前 6 時まで）は必要ない」は 4.2%、「必要ない」は 7.8%となっている。

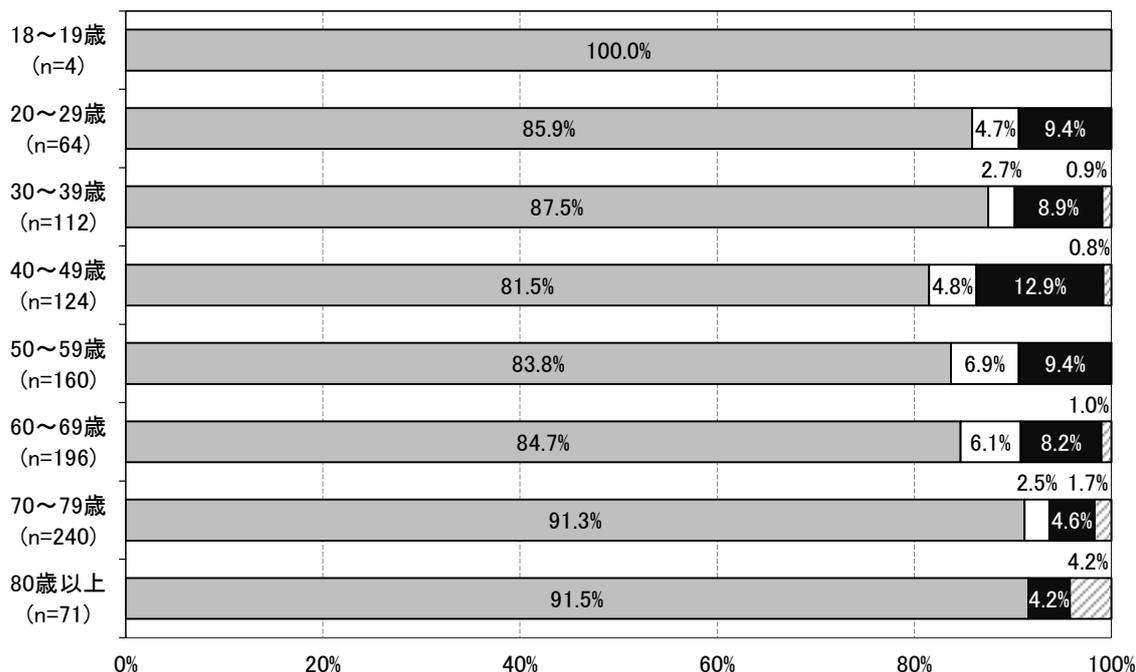
年代別で見ると、「80 歳以上」で「今までどおり必要」と回答された方の割合が 91.5%と最も多く、次いで「70～79 歳」（91.3%）、「30～39 歳」（87.5%）となっている。（回答数が少ない「18～19 歳」を除く）

地域別で見ると、「南部」・「東部」で「今までどおり必要」と回答された方の割合が 88.8%と最も多く、次いで「河西部」（88.1%）となっている。

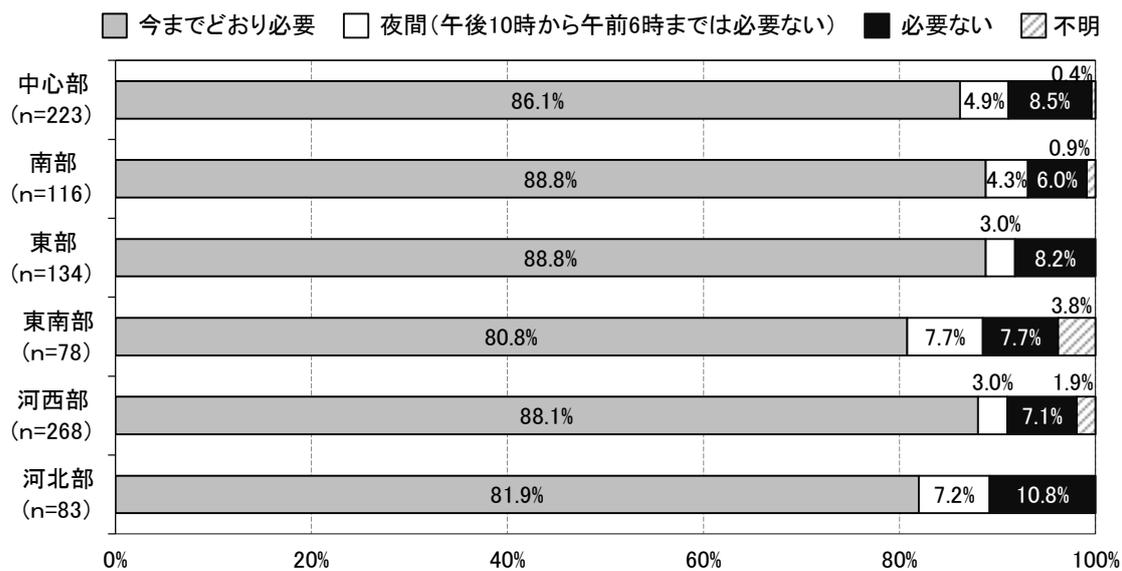
<全体>



<年代別>



<地域別>



問 13 気象警報が解除された時の放送の必要性

問 13 あなたは、気象警報が『解除』された時に放送が必要だと思われませんか？

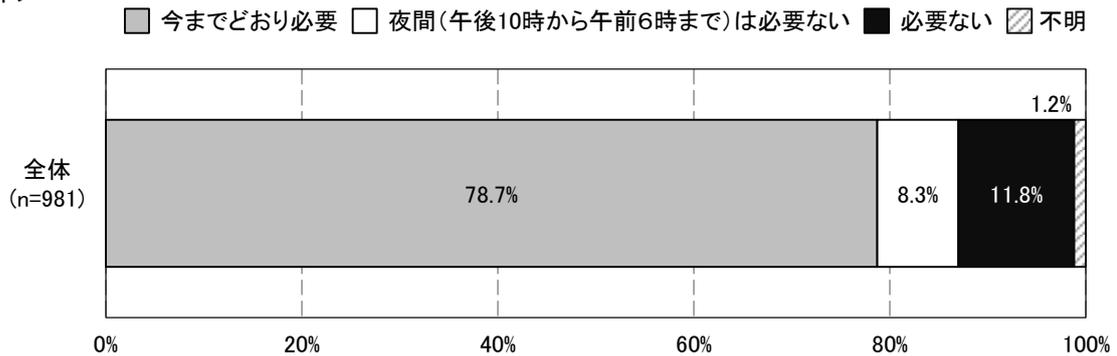
1. 今までどおり必要
2. 夜間（午後 10 時～午前 6 時まで）は必要ない
3. 必要ない

気象警報が『解除』された時の放送の必要性について、「今までどおり必要」と回答された方の割合は 78.7%、「夜間（午後 10 時から午前 6 時まで）は必要ない」は 8.3%、「必要ない」は 11.8%となっている。

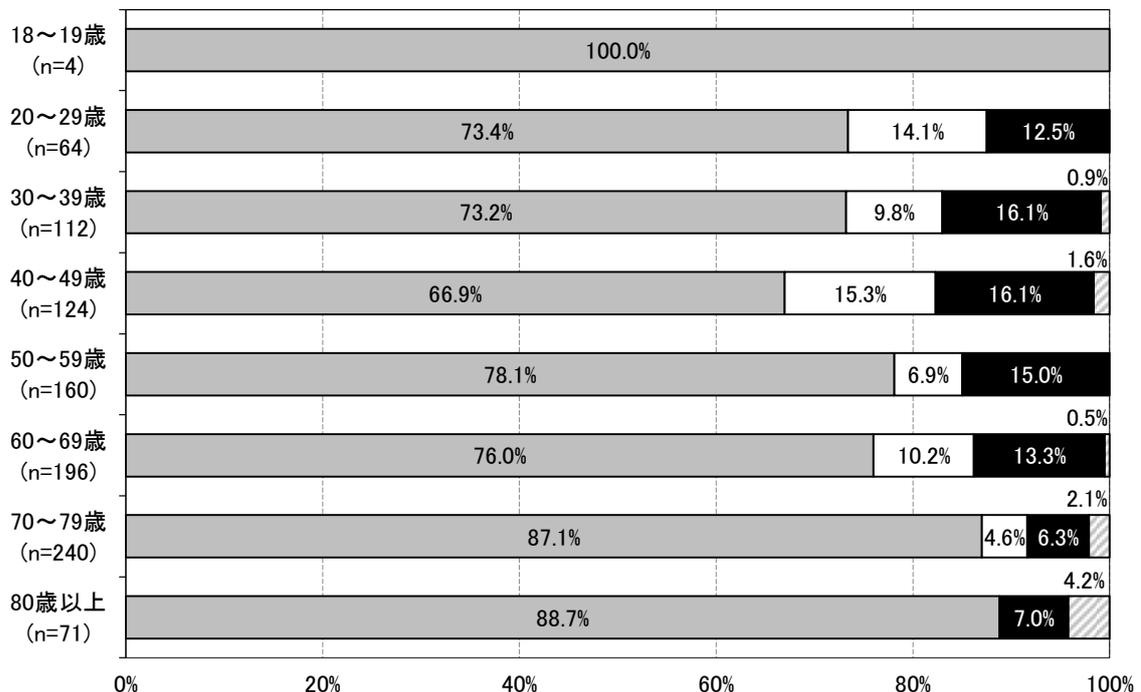
年代別で見ると、「80 歳以上」で「今までどおり必要」と回答された方の割合が 88.7%と最も多く、次いで「70～79 歳」（87.1%）、「50～59 歳」（78.1%）となっている。（回答数が少ない「18～19 歳」を除く）また、全ての年代で「必要ない」と回答された方の割合が、気象警報『発表』時よりも高い結果となっている。

地域別で見ると、「南部」で「今までどおり必要」と回答された方の割合が 82.8%と最も多く、次いで「河西部」（80.6%）、「東部」（79.1%）となっている。また、全ての地域で「必要ない」と回答された方の割合が、気象警報『発表』時よりも高い結果となっている。

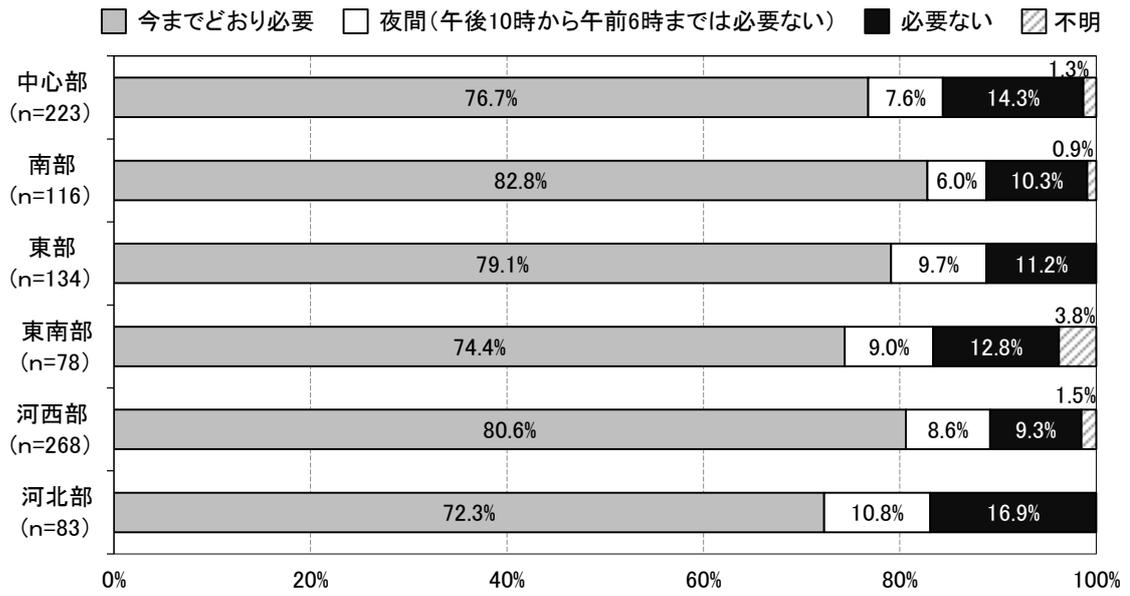
<全体>



<年代別>



<地域別>



3. 行政が発表する避難情報について

問 14 避難勧告が廃止され、避難指示に一本化されたことの認知度

問 14 あなたは、「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に一本化されたことをご存知ですか？

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない
3. 知らない

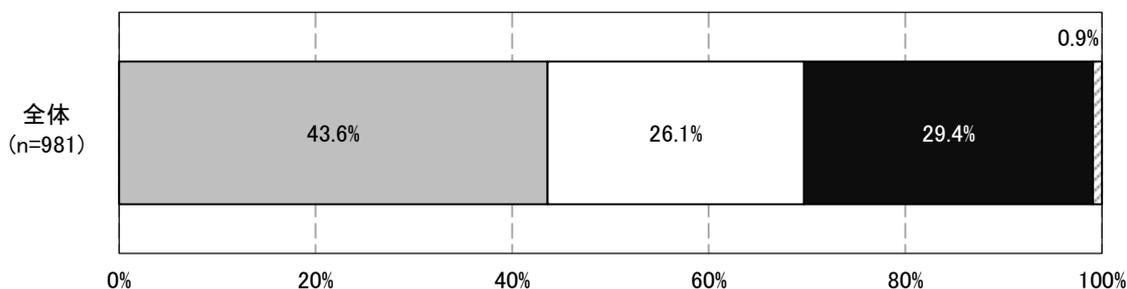
避難勧告が廃止され、避難指示に一本化されたことの認知度について、「知っている」と回答された方の割合は 43.6%、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」は 26.1%、「知らない」は 29.4%となっている。

年代別で見ると、「70～79 歳」で「知っている」と回答された方の割合が 60.8%と最も多くなっている。一方で、18～49 歳では「知らない」と回答された方の割合が 4 割を超え「知っている」と回答された方の割合を上回っている。

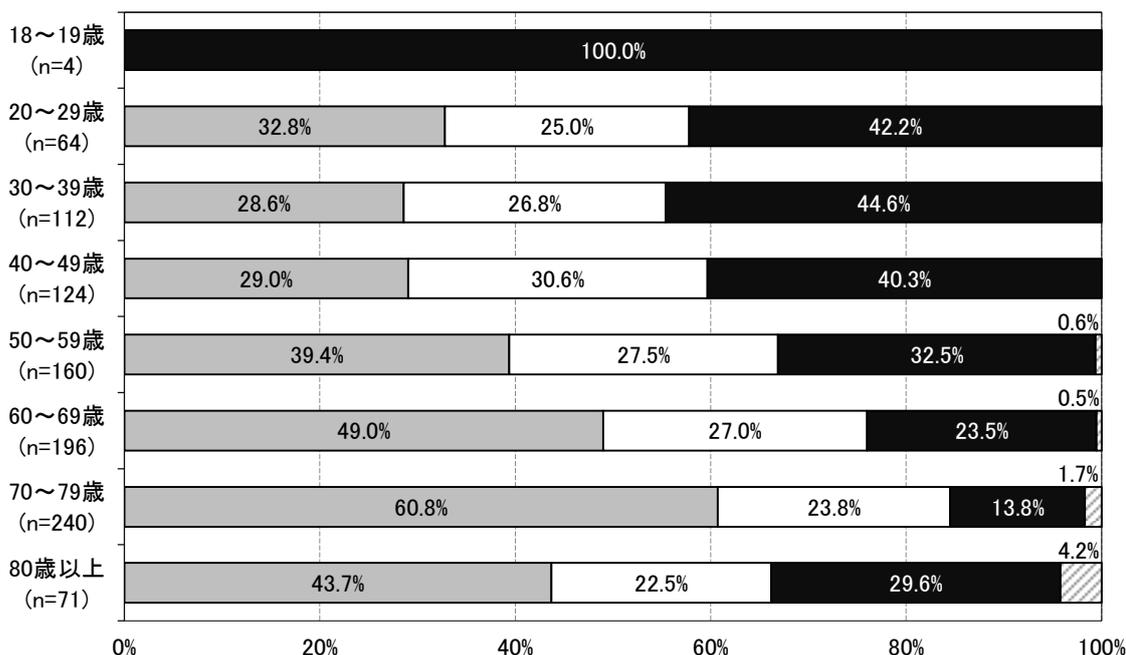
地域別で見ると、「東南部」のみ「知っている」と回答された方の割合が 35.9%と 4 割未満となっているが、「東南部」以外の地域では 4 割を超える結果となっている。

<全体>

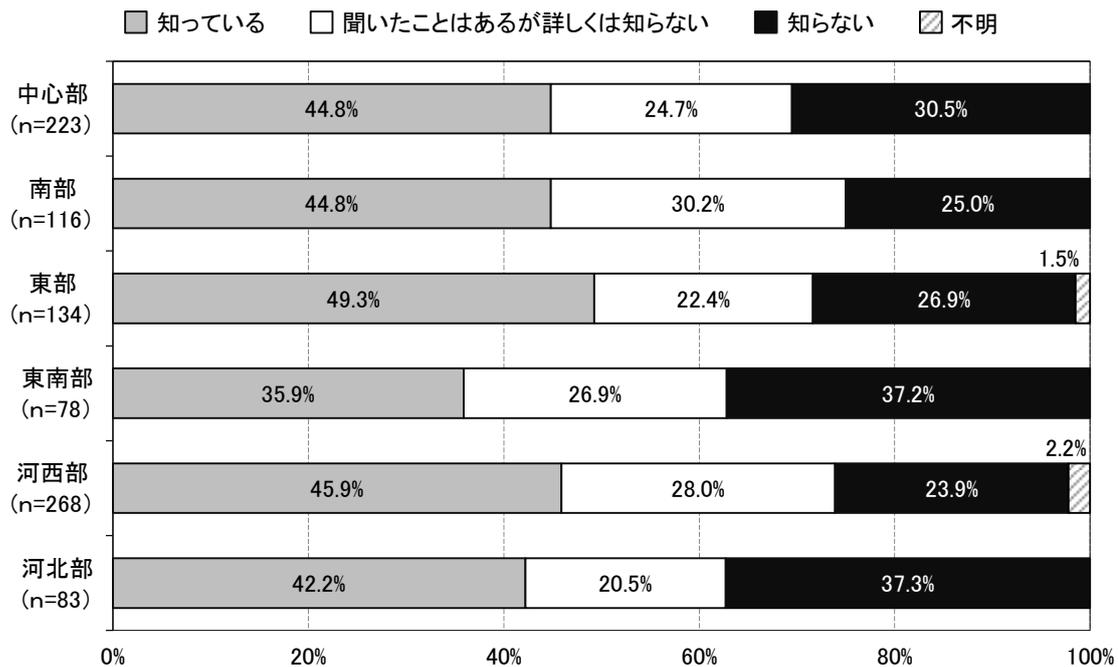
■ 知っている □ 聞いたことはあるが詳しくは知らない ■ 知らない ▨ 不明



<年代別>



<地域別>



4. 庁外で利用できる行政サービスの利用状況について

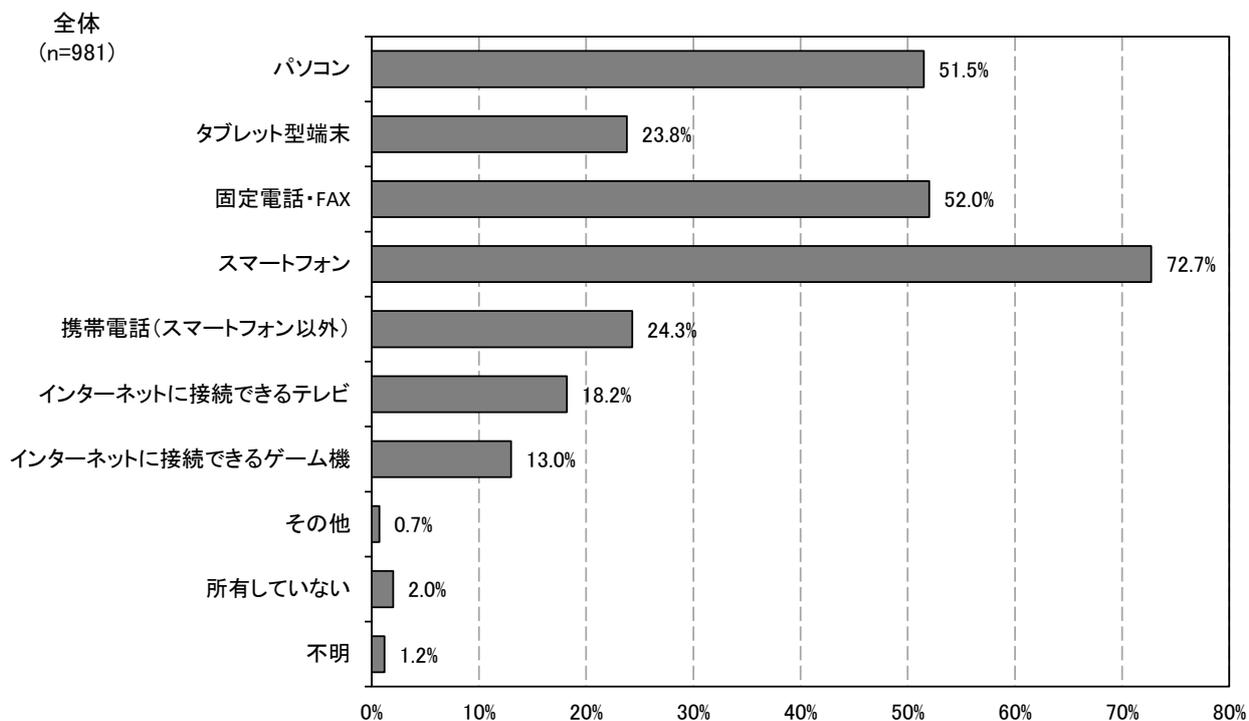
問 15 所有している情報通信機器

問 15 あなたが、現在所有している情報通信機器はありますか？

あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. パソコン | 5. 携帯電話（スマートフォン以外） |
| 2. タブレット型端末 | 6. インターネットに接続できるテレビ |
| 3. 固定電話・FAX | 7. インターネットに接続できるゲーム機 |
| 4. スマートフォン | 8. その他 |
| | 9. 所有していない |

所有している情報通信機器については、「スマートフォン」と回答された方の割合が 72.7%と最も多く、次いで「固定電話・FAX」(52.0%)、「パソコン」(51.5%)となっている。



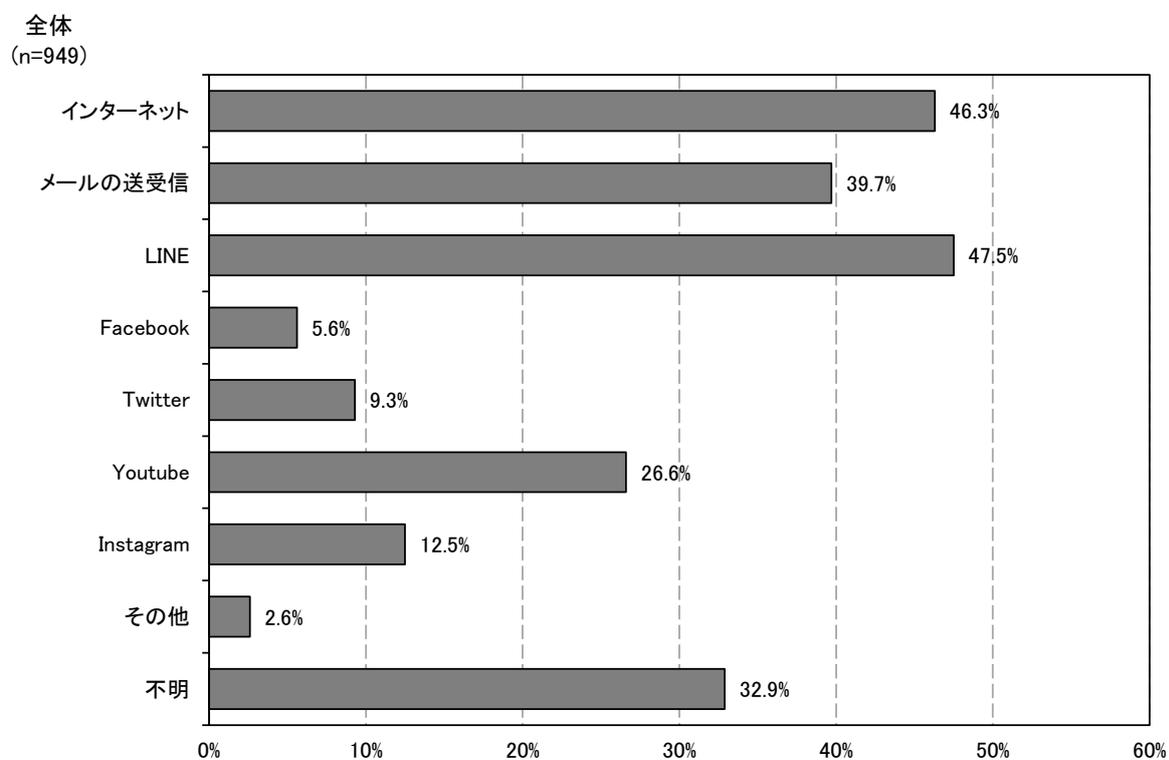
その他：「ラジオ」、「テレビ」など

問 15-1 情報通信機器を使って活用しているもの

問 15-1 問 15 で「9. 所有していない」以外を回答された方のみお答えください。
あなたが、情報通信機器を使って普段からよく活用しているものは何ですか？
あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. インターネット（ホームページの閲覧） | 5. Twitter |
| 2. メールの送受信 | 6. Youtube |
| 3. LINE | 7. Instagram |
| 4. Facebook | 8. その他 |

情報通信機器を使って普段からよく活用しているものについては、「LINE」と回答された方の割合が47.5%と最も多く、次いで「インターネット（ホームページの閲覧）」(46.3%)、「メールの送受信」(39.7%)となっている。



その他：「通話」、「会議」など

問 16-1 インターネット・マイナンバーカードのサービス・機能の利用状況

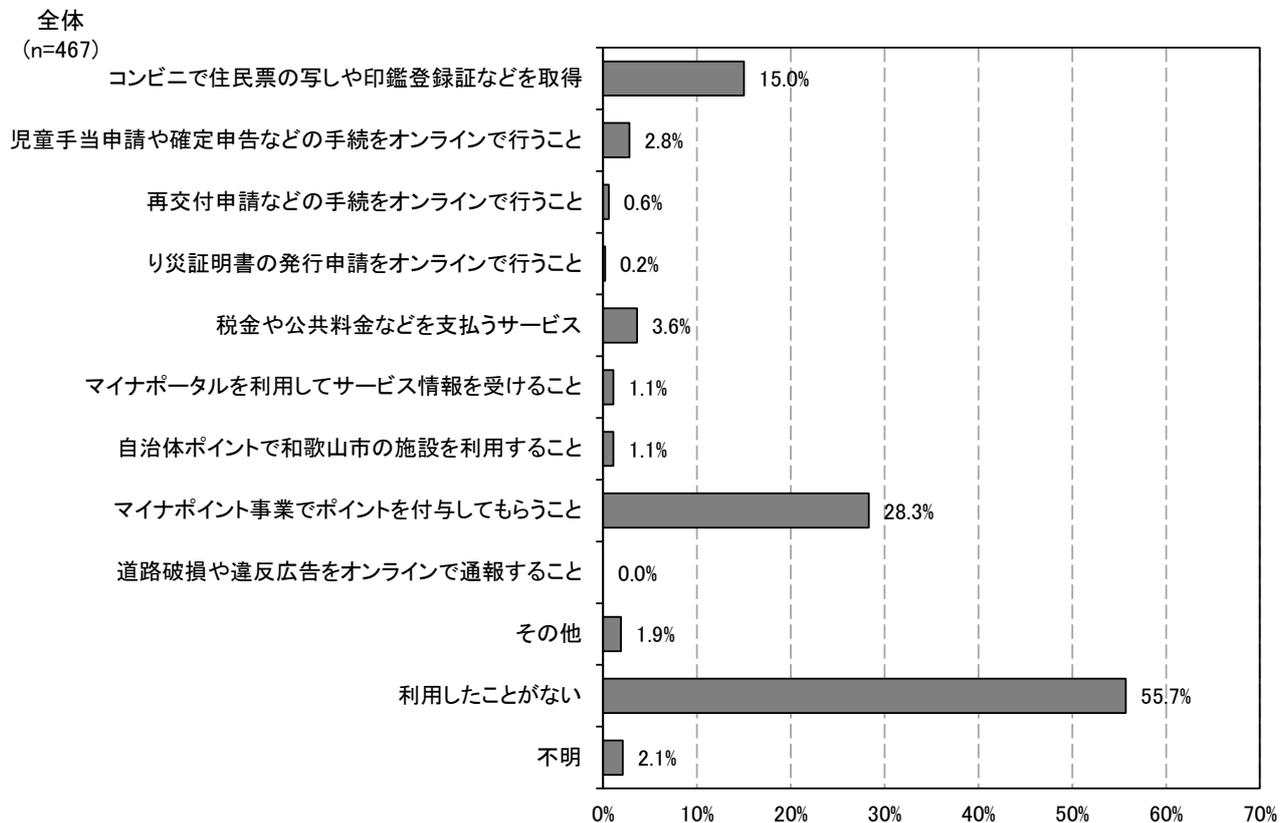
問 16-1 問 16 で「1. 所持している」と回答された方のみお答えください。

インターネット又はマイナンバーカードを利用して受けられるサービスや機能で、利用したことはありますか？あてはまるものを全てお選びください。

1. コンビニで住民票の写しや印鑑登録証などを取得
2. 児童手当の申請や確定申告などの行政手続を自宅等からオンラインで行うこと
3. 介護保険負担割当証や被保険者証の再交付申請などの行政手続を自宅等からオンラインで行うこと
4. リ災証明書の発行申請を自宅等からオンラインで行うこと
5. 税金や公共料金などを支払うサービス※
6. マイナポータルを利用して、自分にぴったりのサービスに関する情報を受けること
7. 自治体ポイントで和歌山市立図書館や和歌山城天守閣などの利用をすること
8. マイナポイント事業でポイントを付与してもらうこと
9. 道路破損や違反広告をオンラインで通報すること
10. その他
11. 利用したことがない

※和歌山市では、令和3年4月より税金や保険料、水道料金などの支払いをキャッシュレス決済で支払うことが可能になりました。

インターネット又はマイナンバーカードを利用して受けられるサービスや機能で、利用したことがあるものについては、「利用したことがない」と回答された方の割合が 55.7%と最も多く、次いで「マイナポイント事業でポイントを付与してもらうこと」(28.3%)、「コンビニで住民票の写しや印鑑登録証などを取得」(15.0%)となっている。



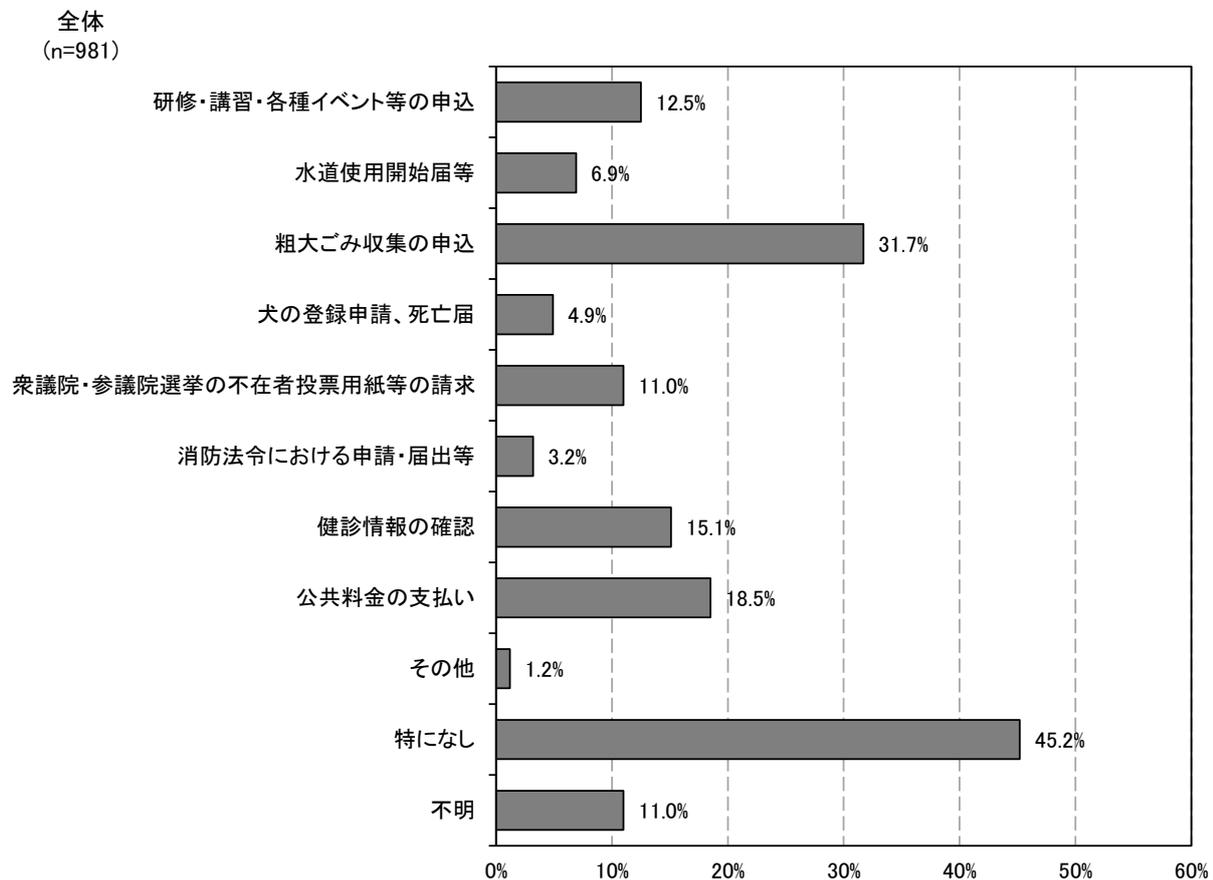
その他：「身分証明書の代わりとして」、「確定申告」など

問 17 インターネット・マイナンバーカードのサービス・機能で利用したいもの

問 17 インターネット又はマイナンバーカードを利用して受けられるサービスや機能で、今後利用したいと思うものを全てお選びください。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 研修・講習・各種イベント等の申込 | 6. 消防法令における申請・届出等 |
| 2. 水道使用開始届等 | 7. 健診情報の確認 |
| 3. 粗大ごみ収集の申込 | 8. 公共料金の支払い |
| 4. 犬の登録申請、死亡届 | 9. その他 |
| 5. 衆議院・参議院選挙の不在者投票用紙等の請求 | 10. 特になし |

インターネット又はマイナンバーカードを利用して受けられるサービスや機能で、今後利用したいと思うものについては、「特になし」と回答された方の割合が 45.2%と最も多く、次いで「粗大ごみ収集の申込」(31.7%)、「公共料金の支払い」(18.5%)となっている。



その他：「健康保険証の代わりとして」、「選挙の投票」など

5. 在宅医療について

問 18 在宅医療の認知度

問 18 あなたは、在宅医療についてご存知ですか？

1. はい

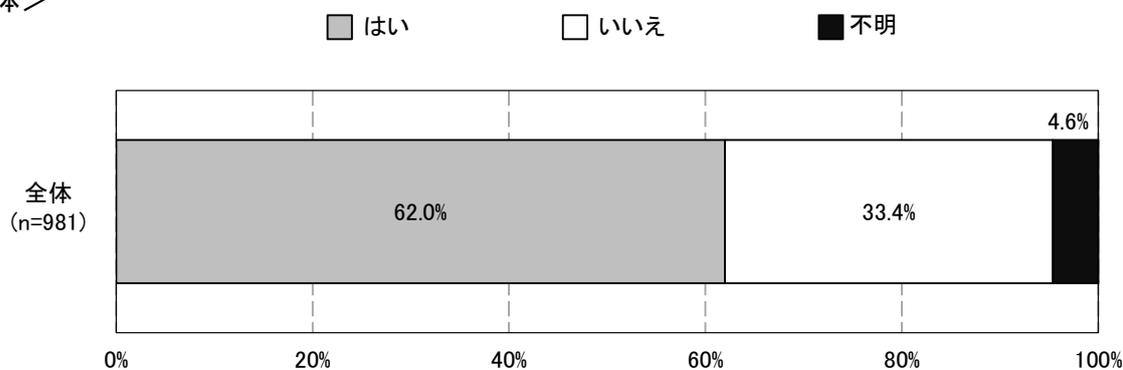
2. いいえ

在宅医療の認知度について、「はい」と回答された方の割合は62.0%、「いいえ」は33.4%となっている。

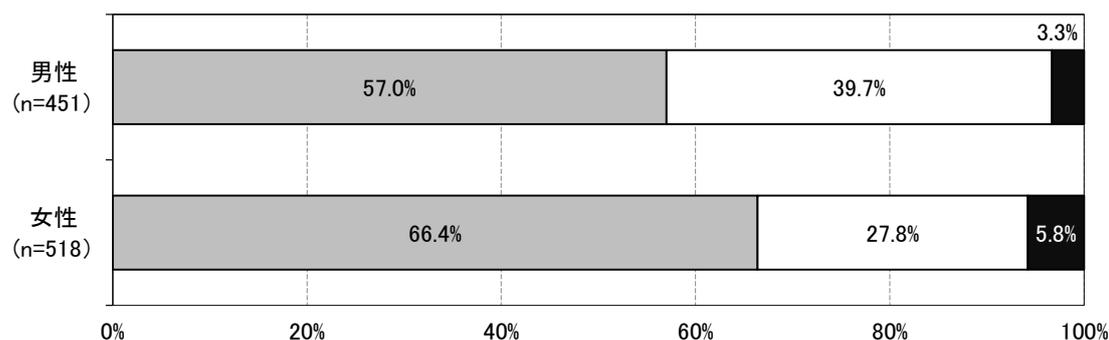
男女別で見ると、「はい」と回答された方の割合は男性で57.0%、女性で66.4%となっている。

年代別で見ると、「20～29歳」で「はい」と回答された方の割合が70.3%と最も多く、次いで「60～69歳」(64.3%)、「50～59歳」(63.1%)となっている。

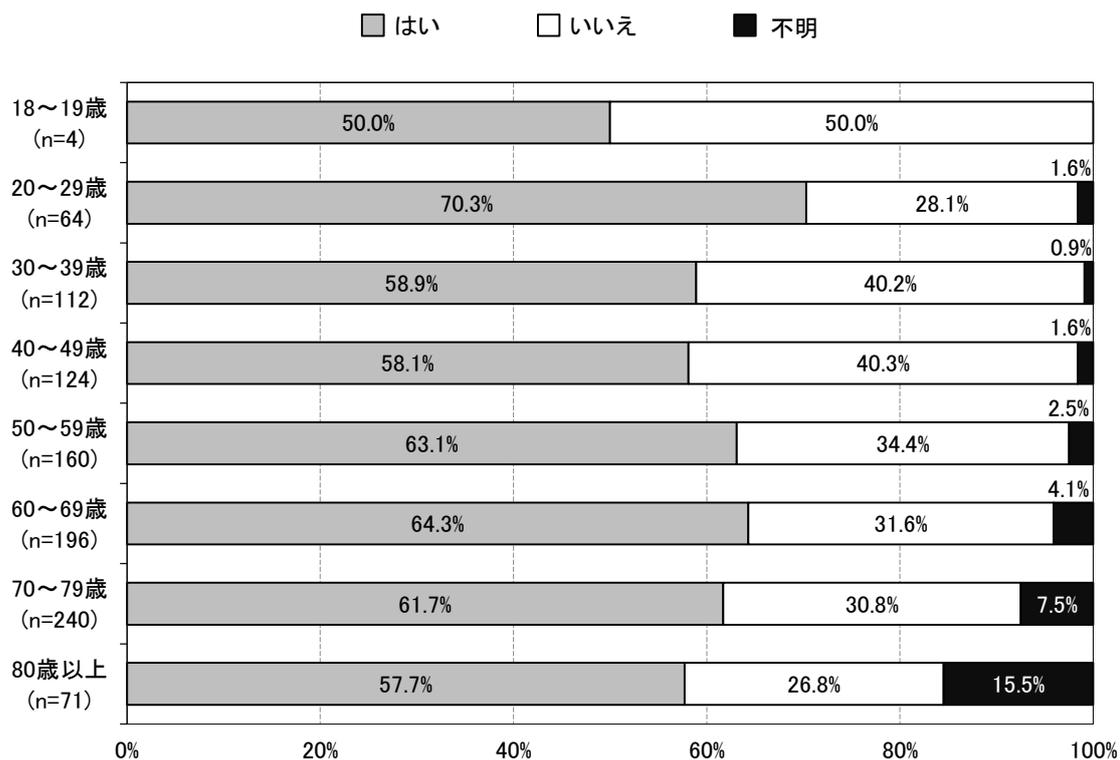
<全体>



<男女別>



<年代別>



問 19 医療・介護が必要になった時に過ごしたい場所

問 19 あなたは、医療や介護が将来必要になったとき、主にどこで過ごしたいですか？
最もあてはまるものを1つお選びください。

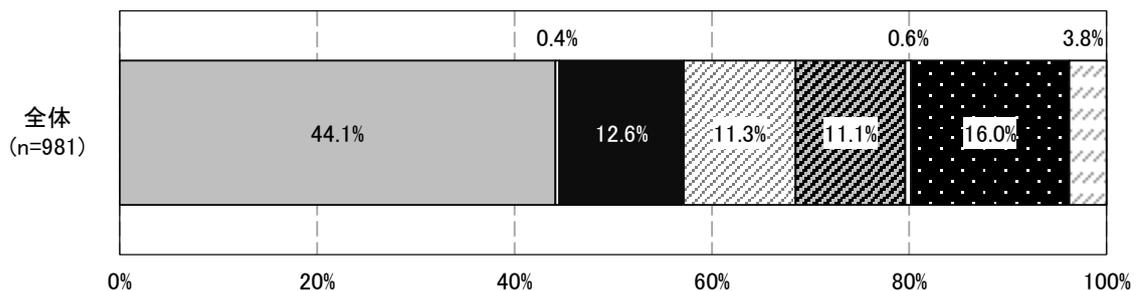
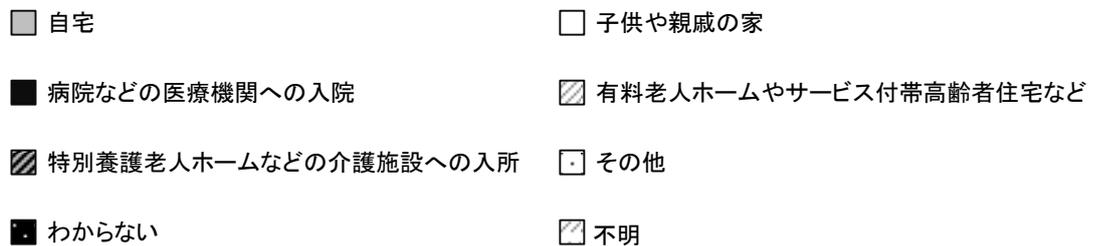
1. 自宅
2. 子供や親戚の家
3. 病院などの医療機関への入院
4. 有料老人ホームやサービス付高齢者住宅など
5. 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所
6. その他
7. わからない

医療・介護が必要になった時に過ごしたい場所については、「自宅」と回答された方の割合が 44.1%と最も多く、次いで「わからない」(16.0%)、「病院などの医療機関への入院」(12.6%)となっている。

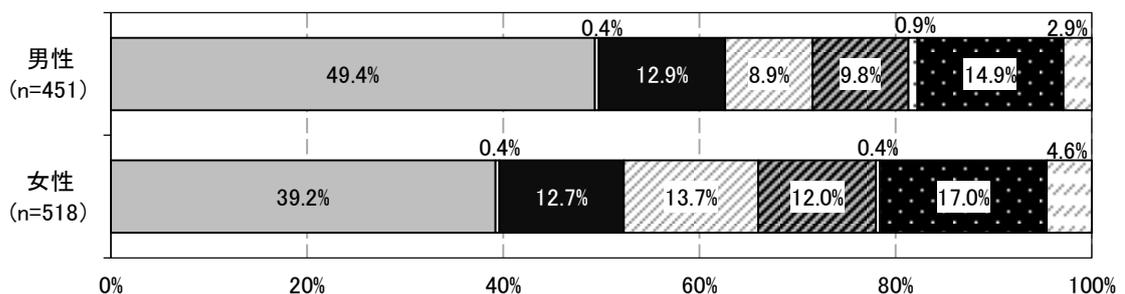
男女別でみると、「自宅」と回答された方の割合は男性で 49.4%、女性で 39.2%となっており、女性のほうが低くなっている。

年代別でみると、「60～69 歳」で「自宅」と回答された方の割合が 35.7%と最も低くなっている一方で、「病院などの医療機関への入院」が 19.4%と他の年代に比べ多くなっている。

<全体>

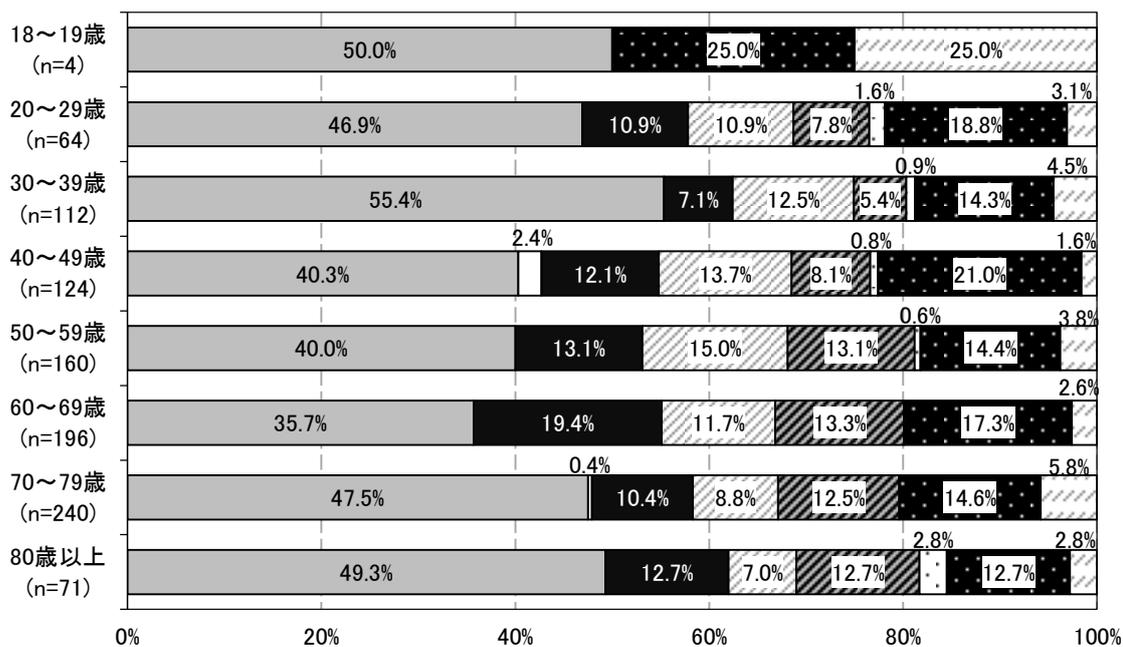


<男女別>



<年代別>

- 自宅
- 病院などの医療機関への入院
- ▨ 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所
- わからない
- 子供や親戚の家
- ▨ 有料老人ホームやサービス付高齢者住宅など
- その他
- ▨ 不明



その他：「ターミナルケア施設」、「サービス付き高齢者住宅」など

問 20 希望する自分の最期の過ごし方

問 20 あなたは、自分の最期をどのように過ごしたいと考えていますか？
最もあてはまるものを1つお選びください。

1. なるべく早く医療機関に入院したい
2. 自宅で療養して、最期は医療機関に入院したい
3. 自宅で最期まで療養したい
4. 専門的医療機関（がんセンターなど）で積極的に治療を受けたい
5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい
6. その他
7. わからない

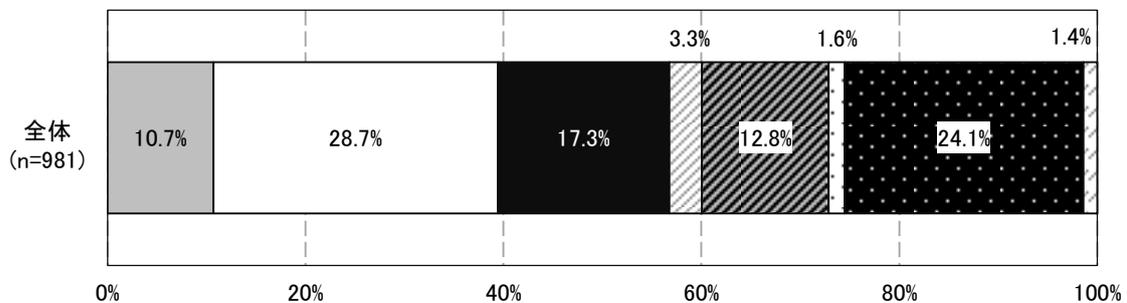
希望する自分の最期の過ごし方については、「自宅で療養して、最期は医療機関に入院したい」と回答された方の割合が 28.7%と最も多く、次いで「わからない」(24.1%)、「自宅で最期まで療養したい」(17.3%)となっている。

男女別で見ると、「自宅で療養して、最期は医療機関に入院したい」と回答された方の割合は男性で 25.1%、女性で 32.2%と男性で低くなっている。

年代別で見ると、「80 歳以上」で「自宅で療養して、最期は医療機関に入院したい」と回答された方の割合が 36.6%と最も多くなっている。

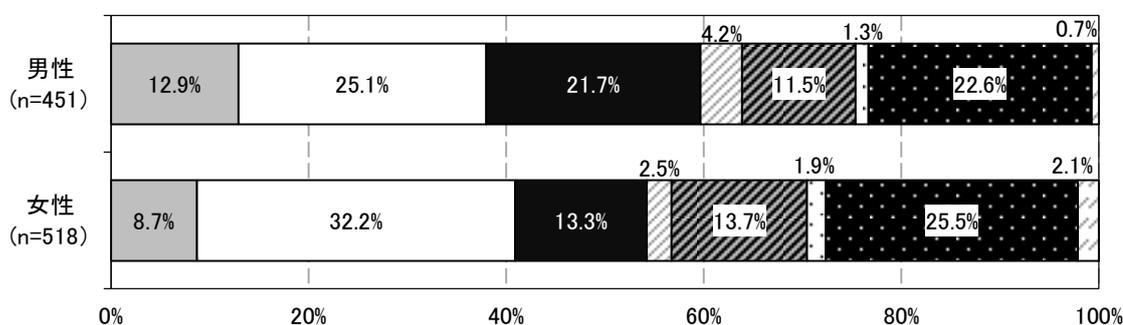
<全体>

- なるべく早く医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、最期は医療機関に入院したい
- 自宅で最期まで療養したい
- 専門的医療機関で積極的に治療を受けたい
- 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい
- その他
- わからない
- 不明

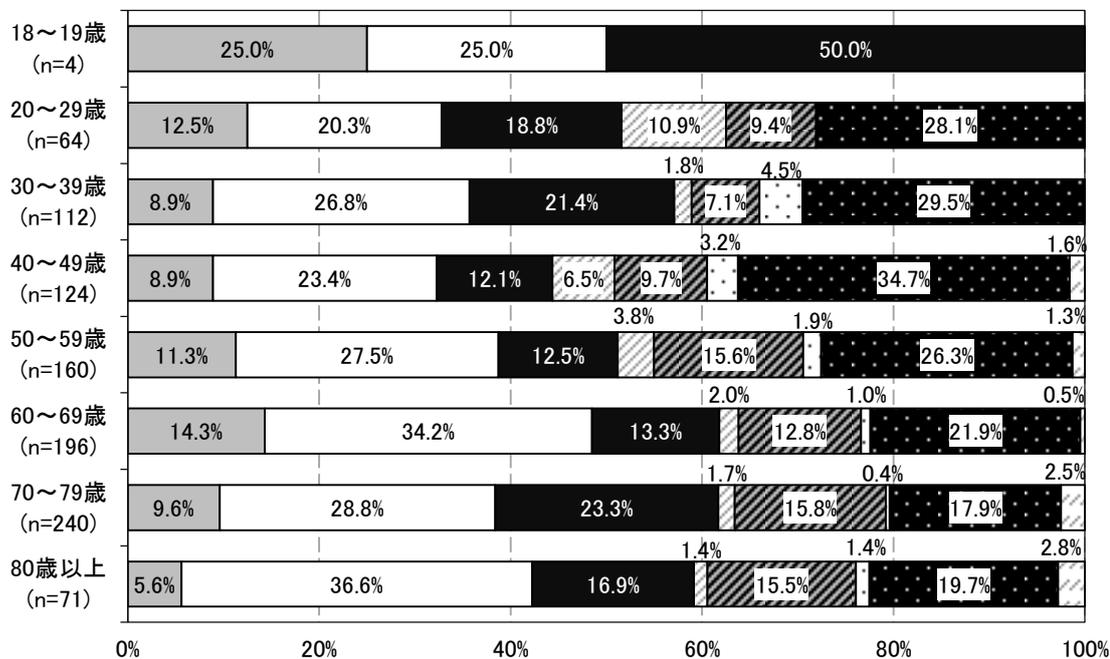


<男女別>

- なるべく早く医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、最期は医療機関に入院したい
- 自宅で最期まで療養したい
- ▨ 専門的医療機関で積極的に治療を受けたい
- ▩ 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい
- その他
- わからない
- 不明



<年代別>



その他：「最低限の治療のみ」、「最期の状況による」など

問 21 「ACP」の認知度

問 21 あなたは、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組「ACP（アドバンス・ケア・プランニング、愛称：人生会議）」についてご存知ですか？

1. はい

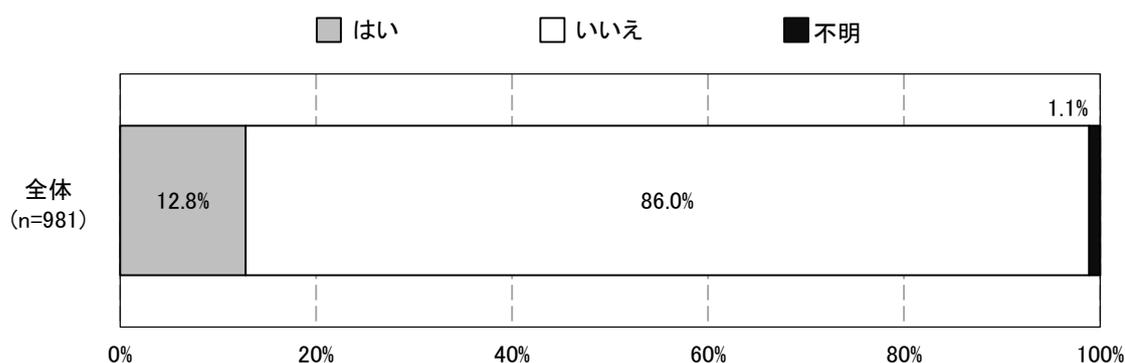
2. いいえ

「ACP」の認知度について、「はい」と回答された方の割合は12.8%、「いいえ」は86.0%となっている。

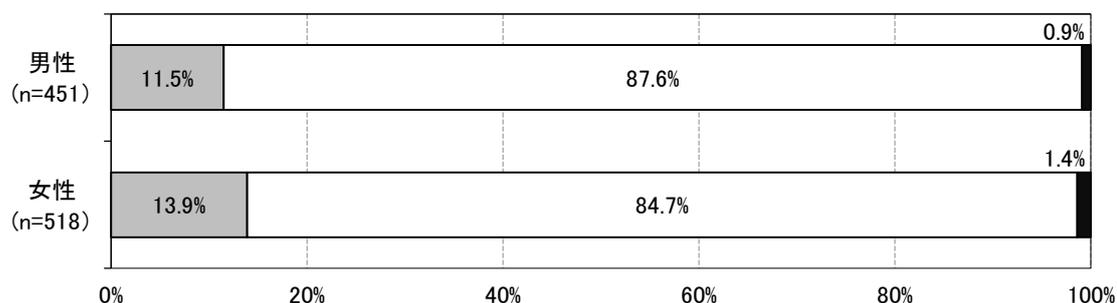
男女別で大きな差はみられない。

年代別で見ると、「20～29歳」で「はい」と回答された方の割合が17.2%と最も多く、次いで「80歳以上」(14.1%)、「50～59歳」(13.1%)となっている。(回答数が少ない「18～19歳」を除く)

<全体>

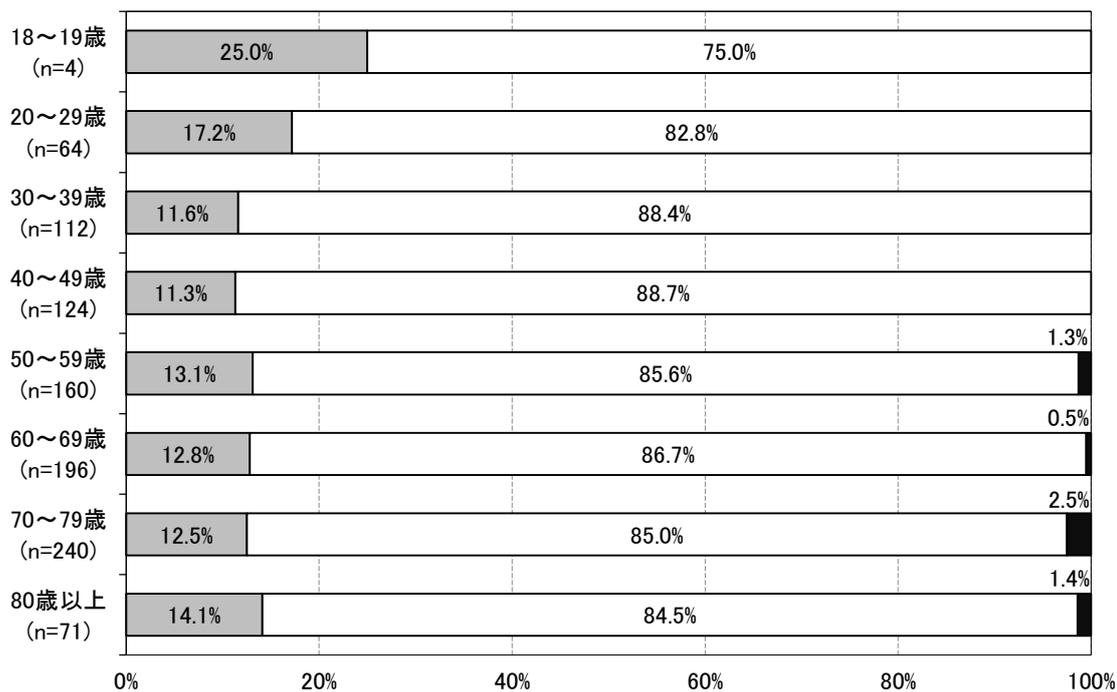


<男女別>



<年代別>

■ はい □ いいえ ■ 不明



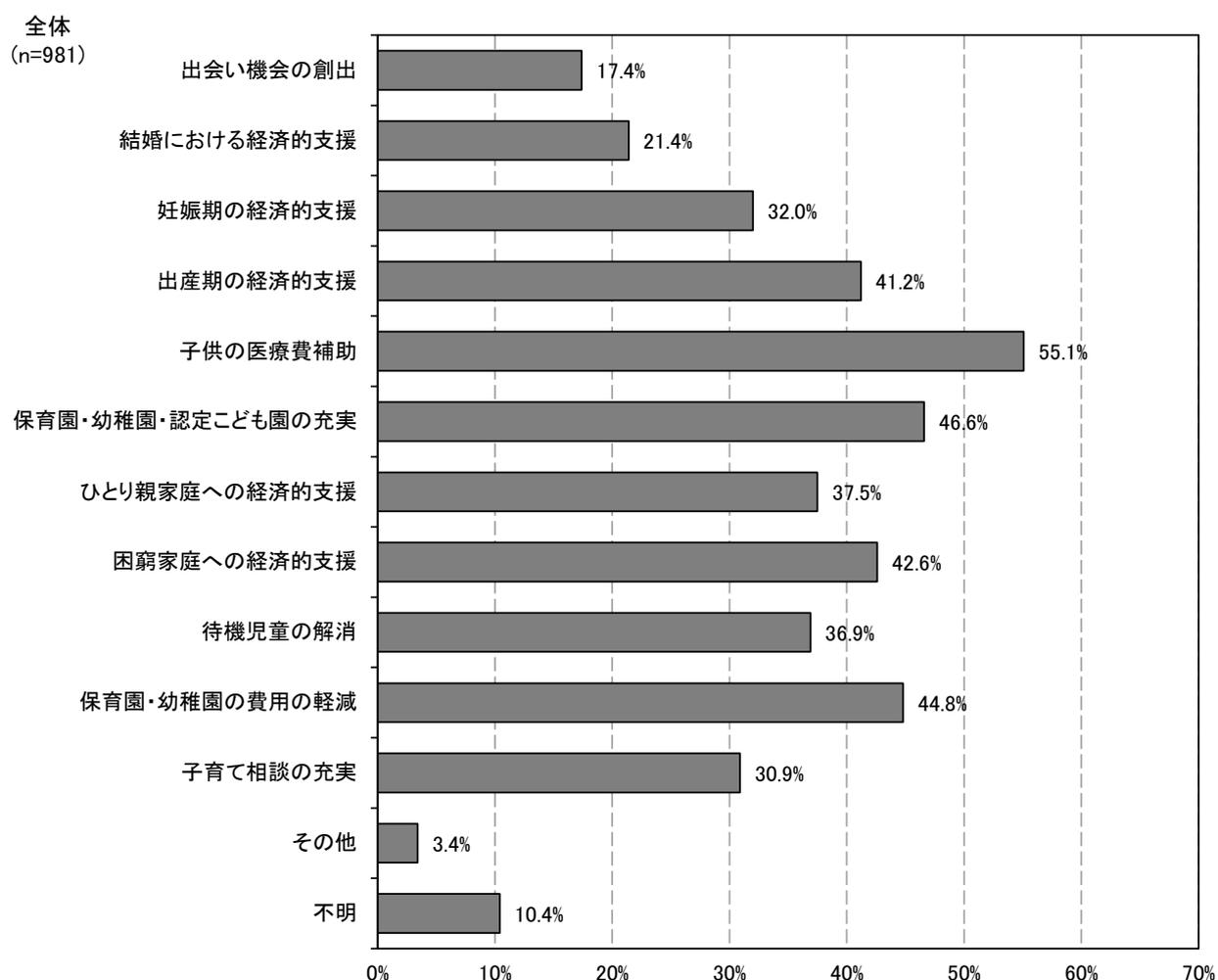
6. 子育て支援施策（結婚から子育ての各ライフステージにおける施策）について

問 22 和歌山市の子育て支援施策で重要だと考えるもの

問 22 あなたが、和歌山市に求める子育て支援施策（結婚から子育ての各ライフステージにおける施策）について、重要だと考えるものを全てお選びください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 出会い機会の創出 | 7. ひとり親家庭への経済的支援 |
| 2. 結婚における経済的支援 | 8. 困窮家庭への経済的支援 |
| 3. 妊娠期の経済的支援 | 9. 待機児童の解消 |
| 4. 出産期の経済的支援 | 10. 保育園・幼稚園の費用の軽減 |
| 5. 子供の医療費補助 | 11. 子育て相談の充実 |
| 6. 保育園・幼稚園・認定こども園の充実 | 12. その他 |

和歌山市の子育て支援施策で重要だと考えるものについては、「子供の医療費補助」と回答された方の割合が 55.1%と最も多く、次いで「保育園・幼稚園・認定こども園の充実」（46.6%）、「保育園・幼稚園の費用の軽減」（44.8%）となっている。



その他：「不妊治療に対する支援」、「出産後の支援」など

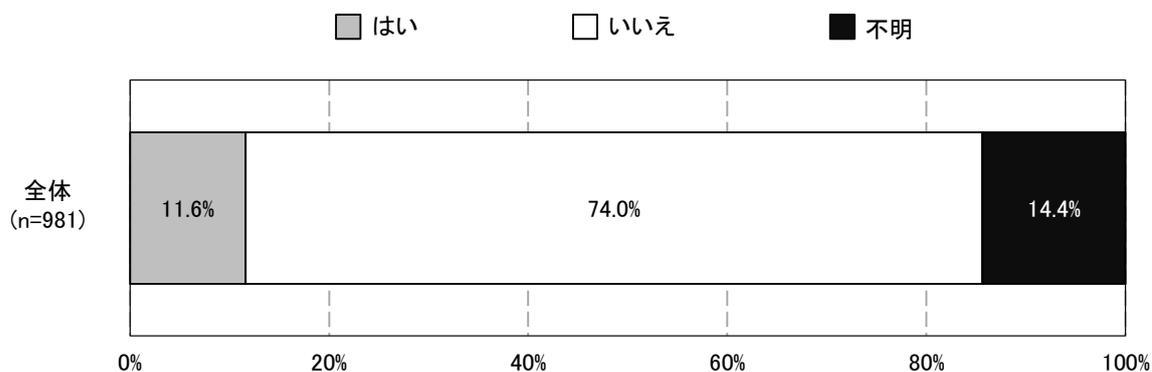
問 23 回答者が、「妊娠期」から「子育て期」の方であるか

問 23 あなたは、「妊娠期」から「子育て期」の方ですか？

1. はい

2. いいえ

回答者が、「妊娠期」から「子育て期」の方であるかについて、「はい」と回答された方の割合は 11.6%、「いいえ」は 74.0%となっている。



問 23-1 「子育てプランナー」の認知度

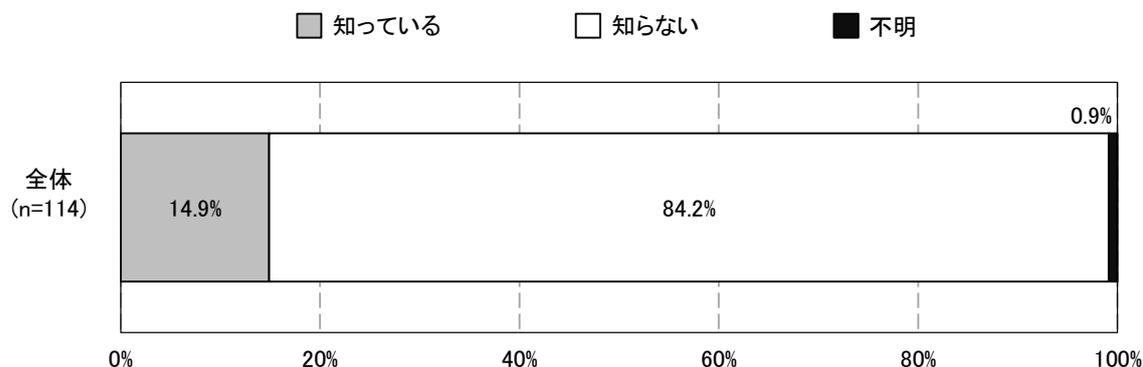
問 23-1 問 23 で「1. はい」を回答された方のみお答えください。

あなたは、「子育てプランナー」を知っていますか？

1. 知っている

2. 知らない

「子育てプランナー」の認知度について、「知っている」と回答された方の割合は 14.9%、「知らない」は 84.2%となっている。



問 23-2 和歌山市からの子育て情報の入手源

問 23-2 問 23 で「1. はい」を回答された方のみお答えください。

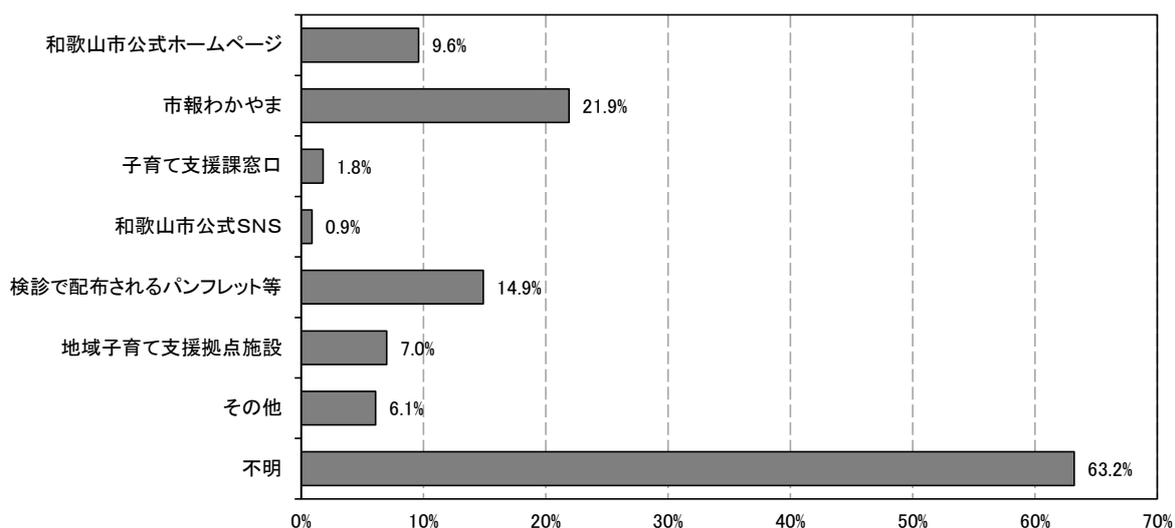
あなたは、和歌山市からの子育て情報を主にどこで入手していますか？

あてはまるものを全てお選びください。

1. 和歌山市公式ホームページ
2. 市報わかやま
3. 子育て支援課窓口
4. 和歌山市公式 SNS
5. 検診で配布されるパンフレット等
6. 地域子育て支援拠点施設
7. その他

和歌山市からの子育て情報の入手源については、「不明」を除くと、「市報わかやま」と回答された方の割合が 21.9%と最も多く、次いで「検診で配布されるパンフレット等」(14.9%)、「和歌山市公式ホームページ」(9.6%)となっている。

全体
(n=114)



その他：「インターネット」、「友人・知人」など

問 24 婚活事業を自治体で実施することについて

問 24 民間でも婚活事業は実施していますが、自治体で実施することについてどう思いますか？

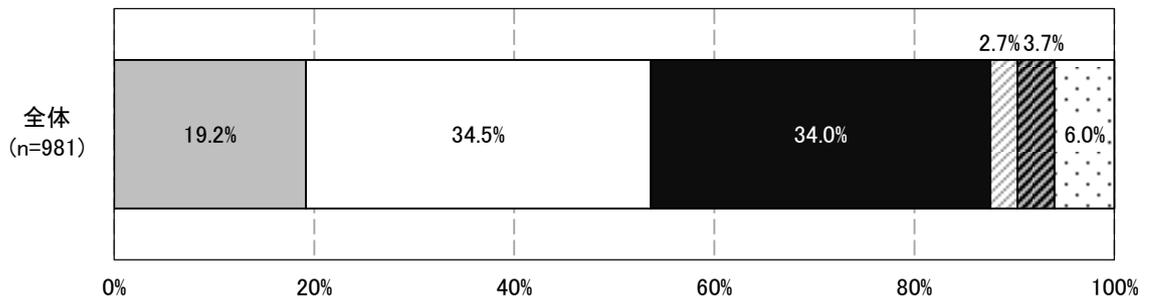
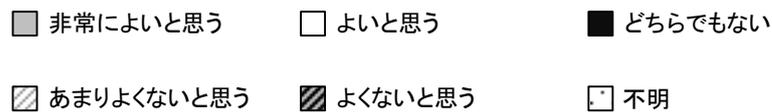
- 1. 非常によいと思う
- 2. よいと思う
- 3. どちらでもない
- 4. あまりよくないと思う
- 5. よくないと思う

婚活事業を自治体で実施することについては、「よいと思う」と回答された方の割合が 34.5%と最も多く、「非常によいと思う」（19.2%）と合わせた割合は 53.7%となっている。

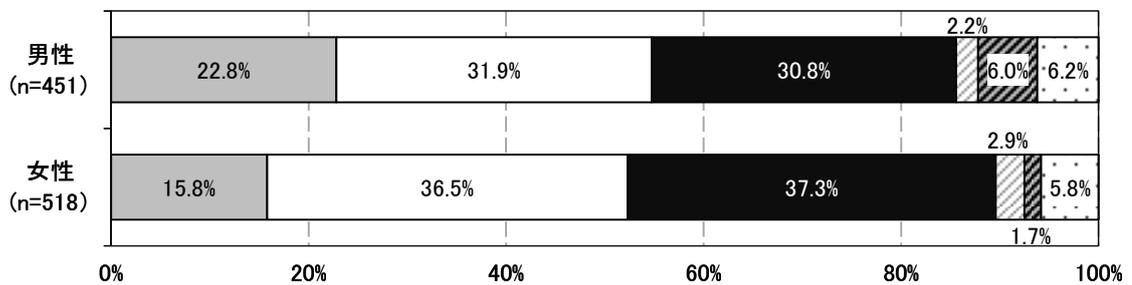
男女別で見ると、「男性」で「非常によいと思う」と回答された方の割合が 22.8%と、女性より 7.0ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「20～29 歳」で「非常によいと思う」と「よいと思う」を合わせた割合が 60.9%と最も多くなっており、以降は年代があがるにつれ概ね低くなる傾向がみられる。

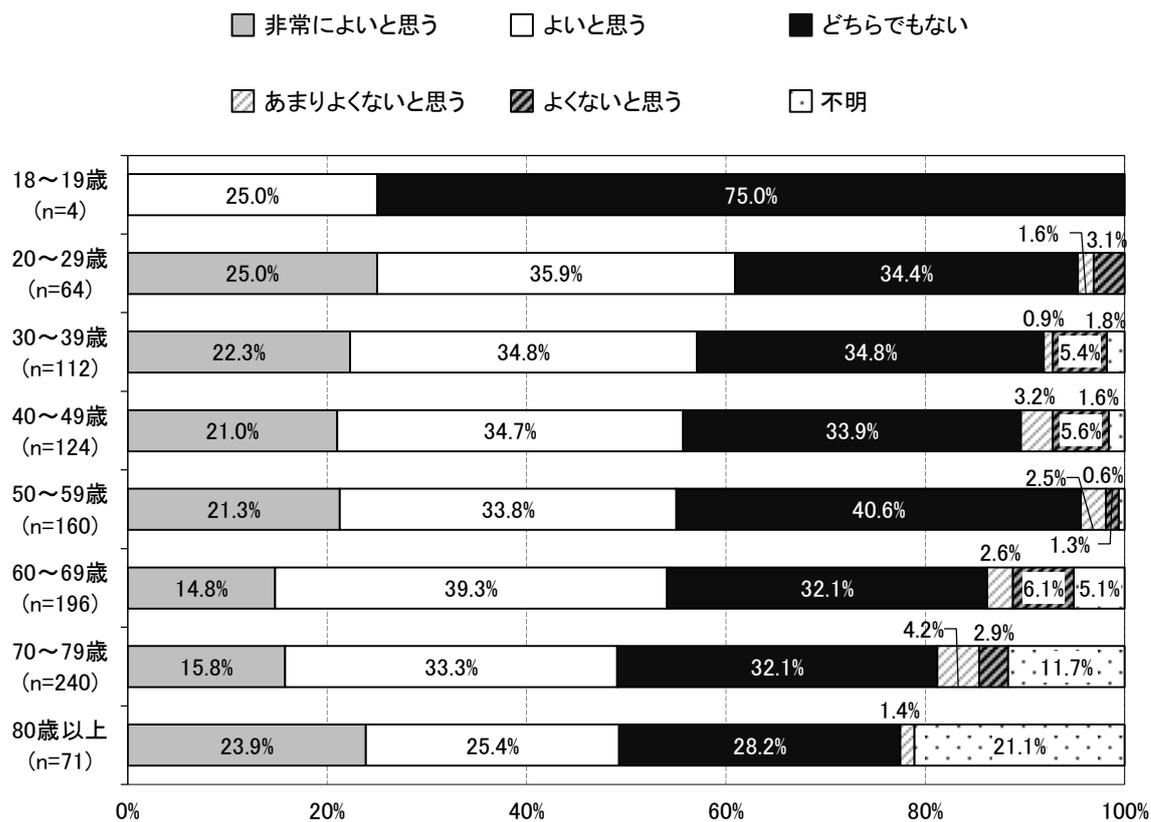
<全体>



<男女別>



<年代別>



問 25 自治体のお見合い事業の参加意向・紹介意向

問 25 自治体でお見合いを中心とした事業を実施した場合、参加したい又は知人や友人に紹介したいと思いますか？

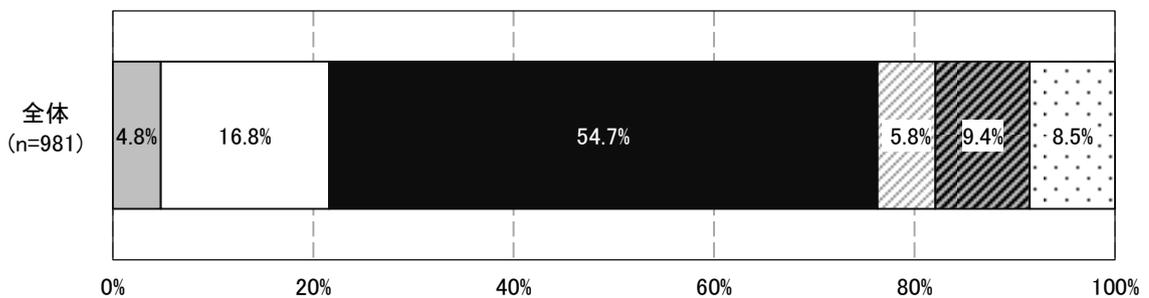
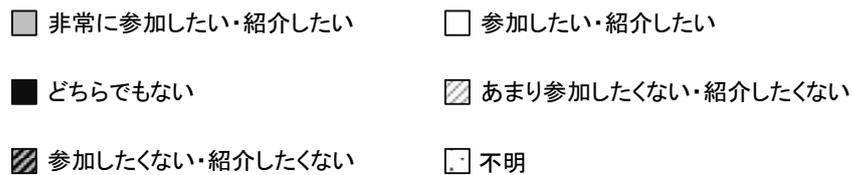
- 1. 非常に参加したい・紹介したい
- 2. 参加したい・紹介したい
- 3. どちらでもない
- 4. あまり参加したくない・紹介したくない
- 5. 参加したくない・紹介したくない

自治体のお見合い事業の参加意向・紹介意向については、「どちらでもない」と回答された方の割合が54.7%と最も多く、「非常に参加したい・紹介したい」(4.8%)と「参加したい・紹介したい」(16.8%)を合わせた割合は21.6%となっている。

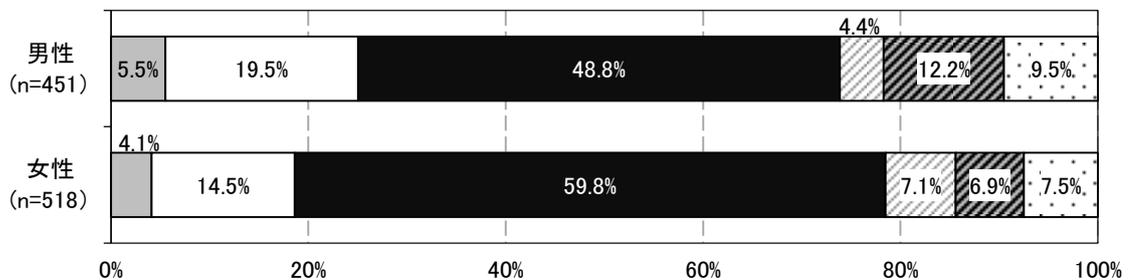
男女別で見ると、「男性」で「非常に参加したい・紹介したい」と「参加したい・紹介したい」を合わせた割合が25.0%と、女性より6.4ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「20～29歳」で「非常に参加したい・紹介したい」と「参加したい・紹介したい」を合わせた割合が31.2%と最も多くなっており、以降は年代があがるにつれ割合が低くなる傾向がみられる。

<全体>

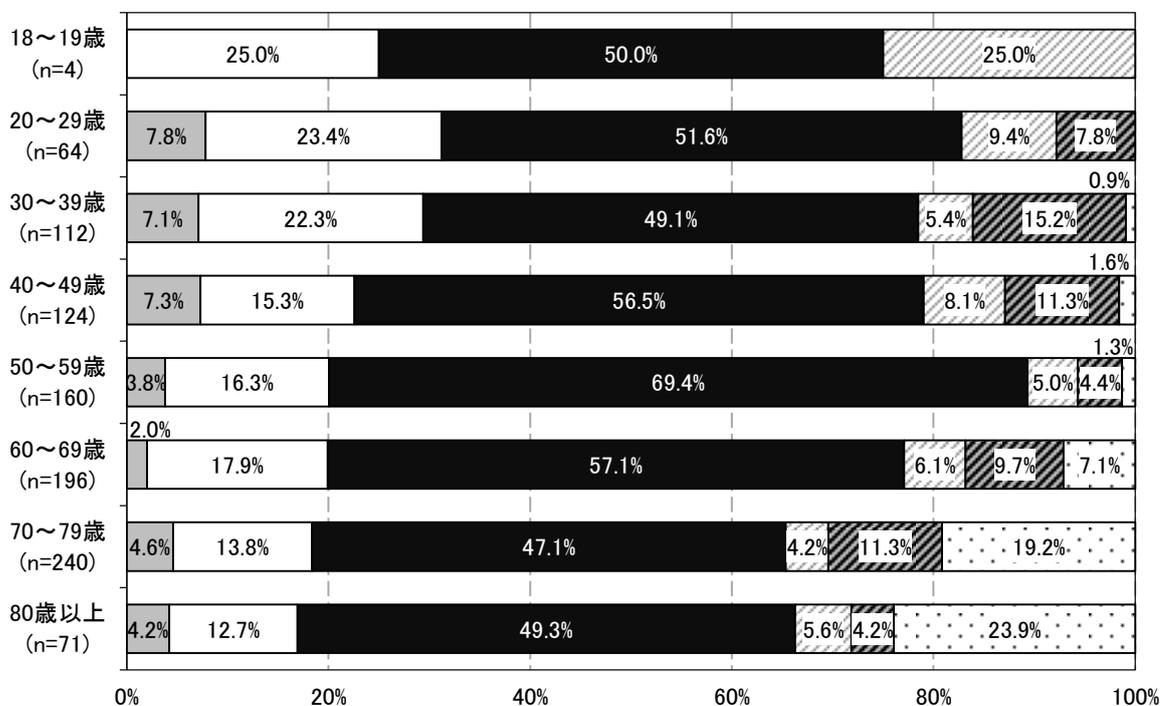


<男女別>



<年代別>

- 非常に参加したい・紹介したい
- 参加したい・紹介したい
- どちらでもない
- ▨ あまり参加したくない・紹介したくない
- ▩ 参加したくない・紹介したくない
- 不明



7. 家庭教育支援について

問 26 子育て・家庭教育での悩み・不安・孤立感の有無

問 26 あなたは、子育てや家庭教育について悩みや不安、孤立感を感じていますか？

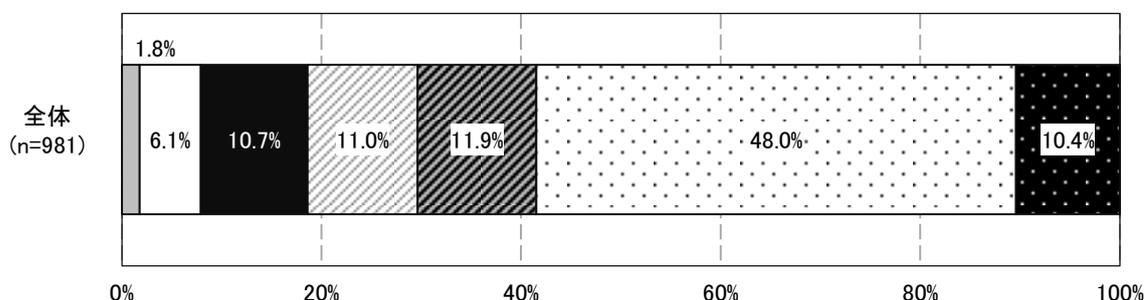
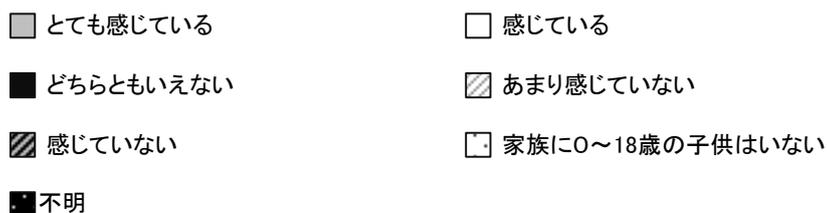
- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. とても感じている | 4. あまり感じていない |
| 2. 感じている | 5. 感じていない |
| 3. どちらともいえない | 6. 0～18歳の子供はいない |

子育て・家庭教育での悩み・不安・孤立感の有無については、「家族に0～18歳の子供はいない」以外では「感じていない」と回答された方の割合が11.9%と最も多くなっている。

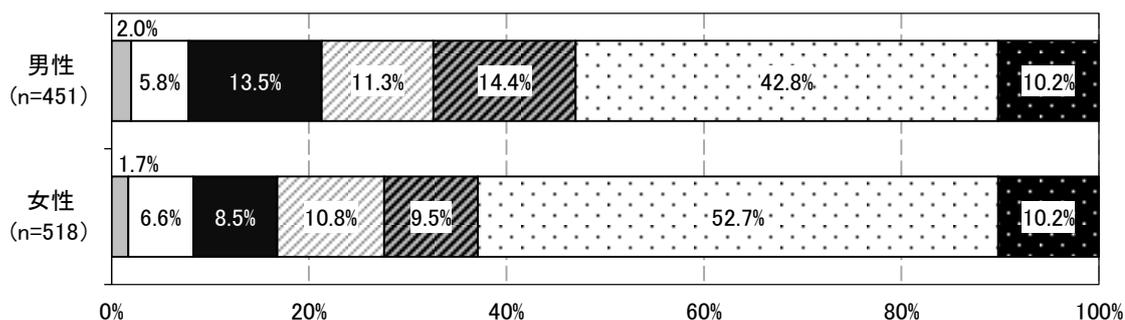
男女別でみると、「とても感じている」と「感じている」を合わせた割合ではあまり差はみられないものの、「男性」で「あまり感じていない」と「感じていない」を合わせた割合が25.7%と、女性より5.4ポイント高くなっている。

年代別でみると、「30～39歳」で「とても感じている」と「感じている」を合わせた割合が20.5%と最も多くなっている。

<全体>

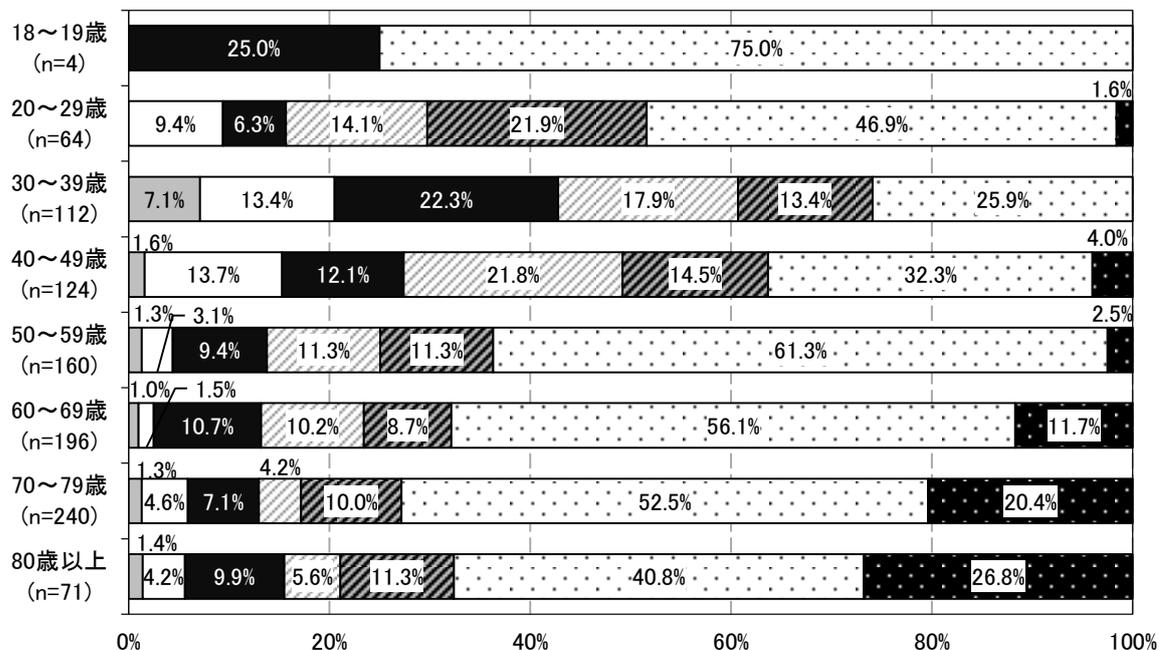


<男女別>



<年代別>

- とても感じている
- 感じている
- どちらともいえない
- あまり感じていない
- 感じていない
- 家族に0～18歳の子供はいない
- 不明



問 26-1 子育て・家庭教育における悩みや不安の内容

問 26-1 問 26 で「1. とても感じている」「2. 感じている」と回答された方のみお答えください。主にどのようなことに悩みや不安、孤立感を感じていますか？
最もあてはまるものを1つお選びください。

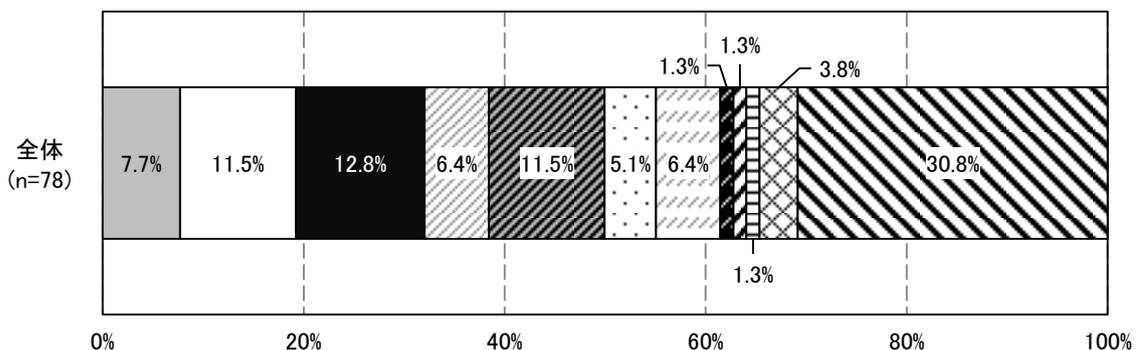
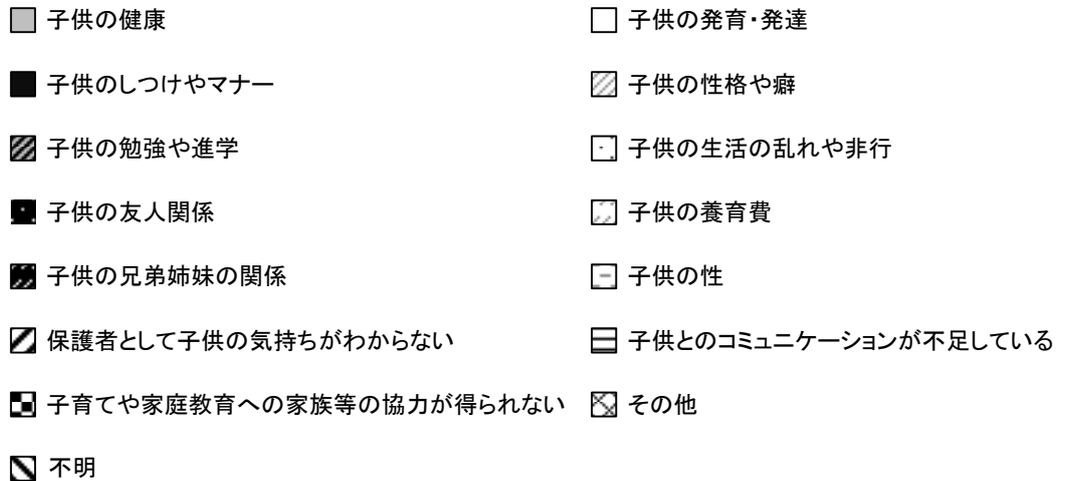
- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. 子供の健康 | 8. 子供の養育費 |
| 2. 子供の発育・発達 | 9. 子供の兄弟姉妹の関係 |
| 3. 子供のしつけやマナー | 10. 子供の性 |
| 4. 子供の性格や癖 | 11. 保護者として子供の気持ちがわからない |
| 5. 子供の勉強や進学 | 12. 子供とのコミュニケーションが不足している |
| 6. 子供の生活の乱れや非行 | 13. 子育てや家庭教育への家族等の協力が得られない |
| 7. 子供の友人関係 | 14. その他 |

子育て・家庭教育における悩みや不安の内容については、「不明」を除くと、「子供のしつけやマナー」と回答された方の割合が 12.8%と最も多く、次いで「子供の発育・発達」と「子供の勉強や進学」がともに 11.5%となっている。

男女別でみると、「男性」では「子供のしつけやマナー」、「女性」では「子供の発育・発達」・「子供の勉強や進学」と回答された方の割合が多くなっている。

年代別でみると、「不明」を除くと、「30～39 歳」で「子供の発育・発達」、「40～49 歳」で「子供の勉強や進学」が最も高くなっている。

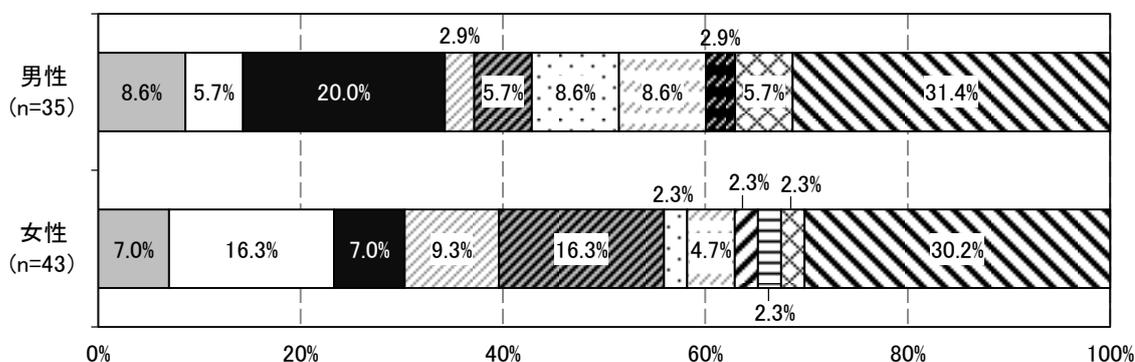
<全体>



その他：「子育て疲れ」など

<男女別>

- 子供の健康
- 子供のしつけやマナー
- ▨ 子供の勉強や進学
- 子供の友人関係
- ▨ 子供の兄弟姉妹の関係
- ▨ 保護者として子供の気持ちがわからない
- ▨ 子育てや家庭教育への家族等の協力が得られない
- ▨ 不明
- 子供の発育・発達
- ▨ 子供の性格や癖
- 子供の生活の乱れや非行
- ▨ 子供の養育費
- 子供の性
- ▨ 子供とのコミュニケーションが不足している
- ▨ その他



<年代別>



※「18~19歳」は回答者がいなかったため、集計から除外している。

問 27 子育てする親・家庭のサポートに必要なこと

問 27 あなたは、子育て中の親や家庭をサポートするために、どのようなことが必要だと考えますか？最もあてはまるものを1つお選びください。

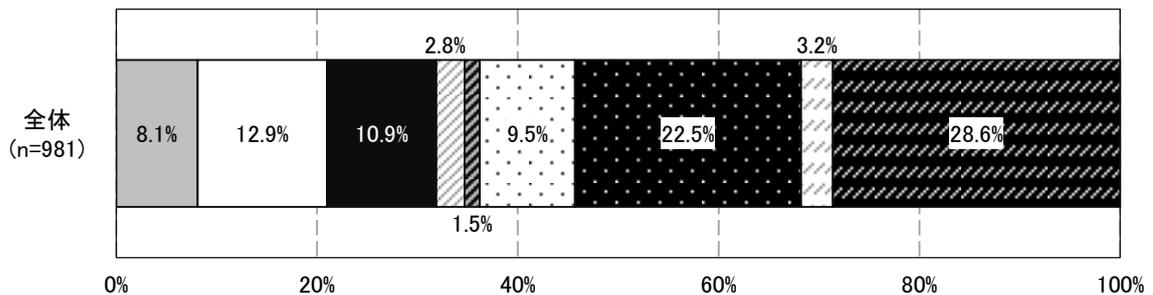
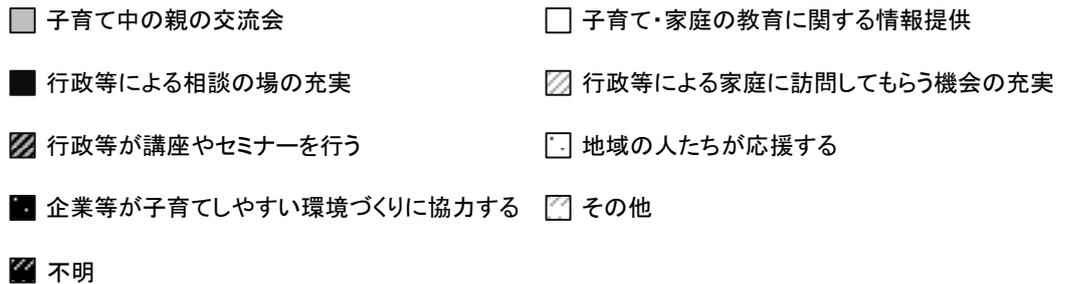
- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 子育て中の親の交流会 | 5. 行政等が講座やセミナーを行う |
| 2. 子育て・家庭の教育に関する情報提供 | 6. 地域の人たちが応援する |
| 3. 行政等による相談の場の充実 | 7. 企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する |
| 4. 行政等による家庭に訪問してもらう機会の充実 | 8. その他 |

子育てする親・家庭のサポートに必要なことについては、「不明」を除くと、「企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する」と回答された方の割合が22.5%と最も多く、次いで「子育て・家庭の教育に関する情報提供」（12.9%）、「行政等による相談の場の充実」（10.9%）となっている。

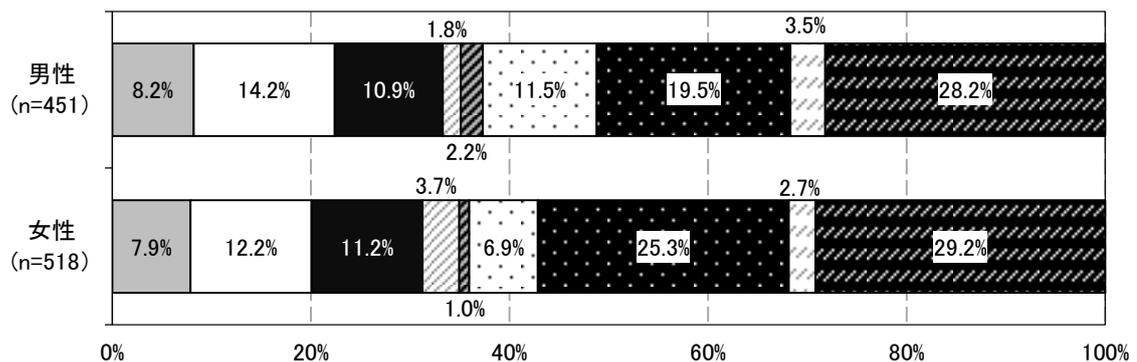
男女別でみると、「女性」で「企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する」と回答された方の割合が25.3%と男性より5.8ポイント高くなっている。

年代別でみると、「20～29歳」・「30～39歳」で「企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する」と回答された方の割合が3割を超えている。

<全体>



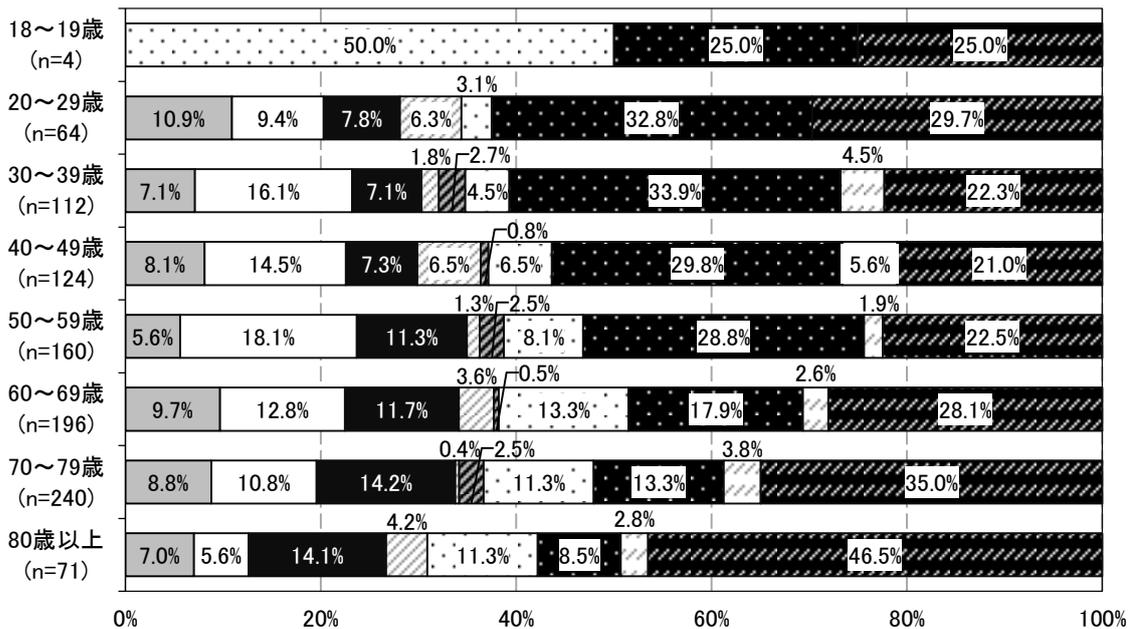
<男女別>



その他：「子育て相談窓口」、「経済的支援」など

<年代別>

- 子育て中の親の交流会
- 行政等による相談の場の充実
- ▨ 行政等が講座やセミナーを行う
- 企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する
- 不明
- 子育て・家庭の教育に関する情報提供
- ▨ 行政等による家庭に訪問してもらう機会の充実
- 地域の人たちが応援する
- ▨ その他



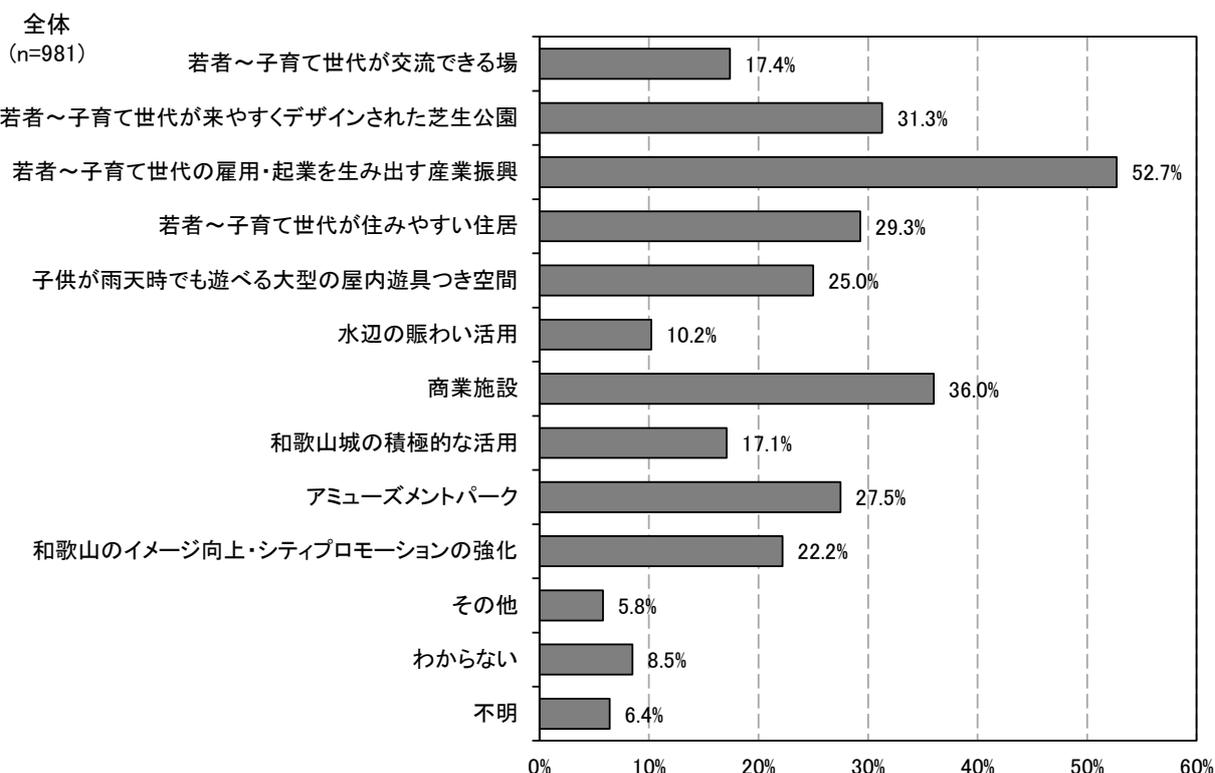
8. “まちなかエリア”（南海和歌山市駅～JR和歌山駅周辺）の活性化について

問 28 若者や子育て世代にとっても住みよい街にするために必要なこと・足りないこと

問 28 本市では、“まちなかエリア”において「医療福祉系の大学誘致」や「再開発」、「リノベーションまちづくり」などを進めています。若者や子育て世代にとっても住みよい街にするためには、どのようなまちづくりが必要で、何が足りないと思いますか？
あてはまるものを全てお選びください。

1. 若者～子育て世代が交流できる場
2. 若者～子育て世代も来やすいようにデザインされた居心地よい芝生公園（カフェ付き、緑豊かな空間・農地付きなど）
3. 若者～子育て世代の雇用・起業を生み出す産業振興
4. 若者～子育て世代が住みやすい住居
5. 子供が雨天時でものびのび遊べる大型の屋内遊具つき空間
6. 水辺の賑わい活用
7. 商業施設（物販店、飲食店など）
8. 和歌山城の積極的な活用
9. 県外から人を呼べるようなアミューズメントパーク
10. 和歌山のイメージ向上・シティプロモーションの強化
11. その他
12. わからない

若者や子育て世代にとっても住みよい街にするために必要なこと・足りないことについては、「若者～子育て世代の雇用・起業を生み出す産業振興」と回答された方の割合が52.7%と最も多く、次いで「商業施設（物販店、飲食店など）」（36.0%）、「若者～子育て世代も来やすいようにデザインされた居心地よい芝生公園（カフェ付き、緑豊かな空間・農地付きなど）」（31.3%）となっている。



その他：「交通利便性の向上」、「駐車場の充実」、「働く場」など

問 29 回答者が考える「和歌山らしさ」

問 29 これから続く人口減少社会において「持続可能なまちづくり」や「地方創生」を進めるためには、「その土地らしさ」や地方の特徴・個性を生かすことが大切だと言われています。そのような中、あなたが考える「和歌山らしさ」とは何でしょうか？できる範囲で具体的にお答えください。

「和歌山らしさ」について 424 人の回答者より、493 件の意見があった。
その概要については、以下のとおりである。

【「和歌山らしさ」の概要】

大項目	小項目	件数
1 環境		233
	1 豊かな自然	194
	2 温暖な気候	30
	3 美しい景観	4
	4 温泉	2
	5 木の国わかやま	2
	6 公園	1
2 特産		94
	1 新鮮で美味しい食材	60
	2 特産品・名産品	22
	3 農林水産業	9
	4 商店街	2
5 企業による還元	1	
3 観光		22
	1 観光地・観光資源	11
	2 和歌山城	8
3 世界遺産	3	
4 交通		16
1 交通環境・交通アクセスの良さ	16	
5 まち		53
	1 田舎さ・都会過ぎないところ	22
	2 住みよいまち	19
3 まちの雰囲気(のんびり)	12	
6 ひと		41
	1 人間性・人柄(おだやか・優しい)	27
2 人と人とのつながり	14	
7 文化・教育		26
	1 文化・伝統	11
	2 歴史	10
	3 方言	3
4 教育環境	2	
8 その他		8
	1 変化のなさ・保守的	4
	2 物価(安い・高い)	2
	3 コロナ対応の迅速さ	1
4 コロナ感染者の少なさ	1	
		493

9. 和歌山城天守閣について

問 30 日本の城の天守閣への入場経験

問 30 あなたは、和歌山城を含む日本の城の天守閣に入場したことはありますか？

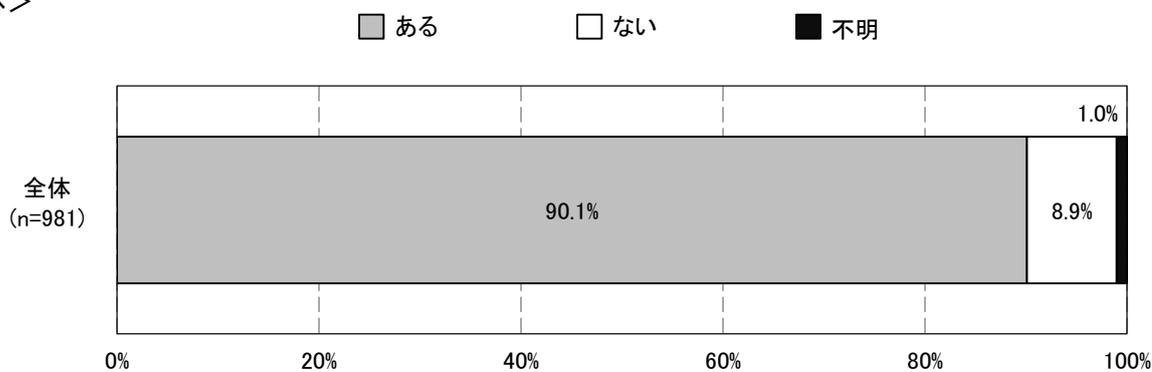
1. ある

2. ない

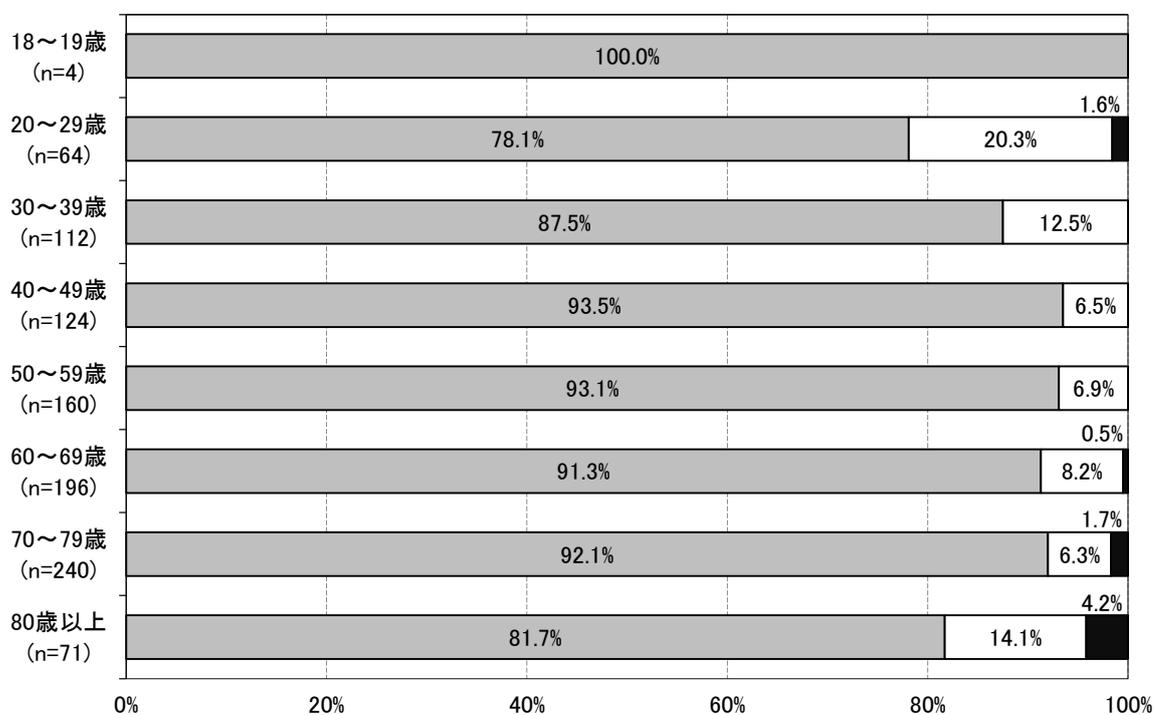
日本の城の天守閣への入場経験について、「ある」と回答された方の割合は 90.1%と、9 割以上の方が日本の城の天守閣への入場経験がある結果となっている。

年代別でみると、「20～29 歳」で「ある」と回答された方の割合が 78.1%と最も低くなっている。

<全体>



<年代別>



問 31 和歌山城の天守閣への入場経験

問 31 問 30 で「1. ある」と回答された方のみお答えください。
あなたは、和歌山城の天守閣に入場したことはありますか？

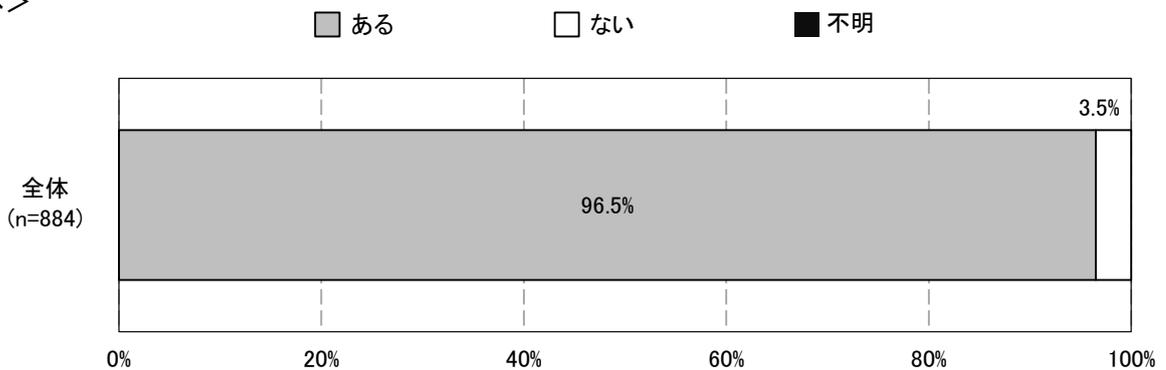
1. ある

2. ない

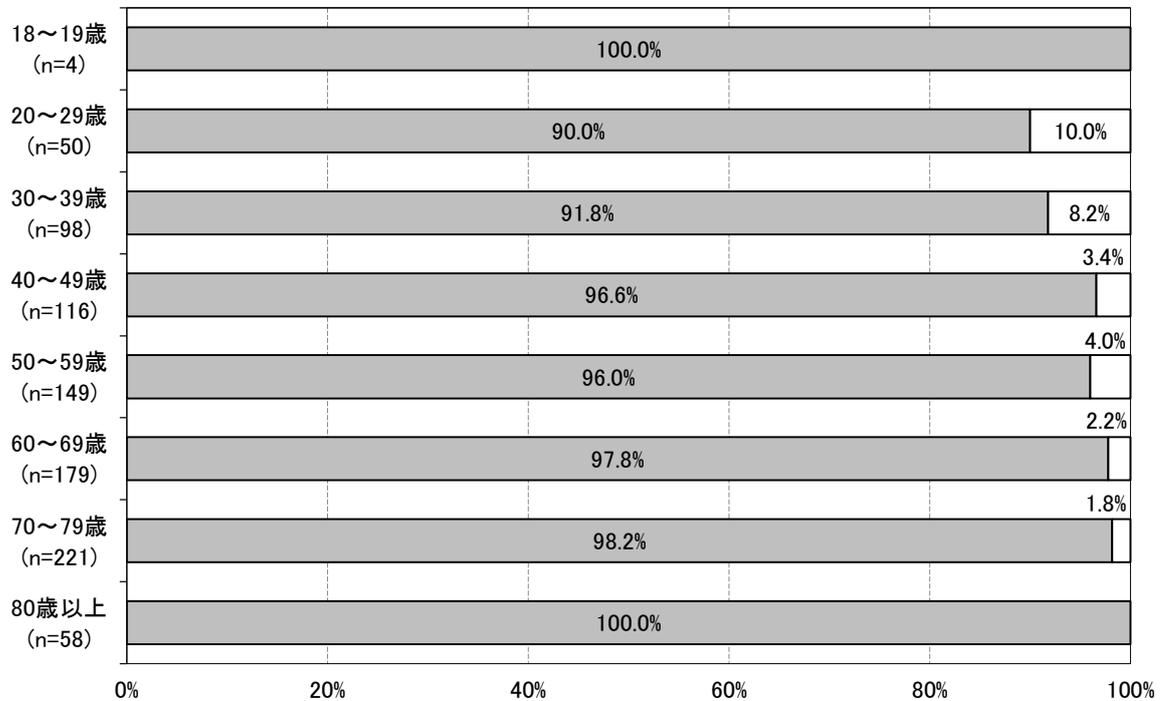
和歌山城の天守閣への入場経験について、「ある」と回答された方の割合は 96.5%と、9 割以上の方が和歌山城の天守閣への入場経験がある結果となっている。

年代別でみると、「20～29 歳」で「ある」と回答された方の割合が 90.0%と最も低くなっている。

<全体>



<年代別>



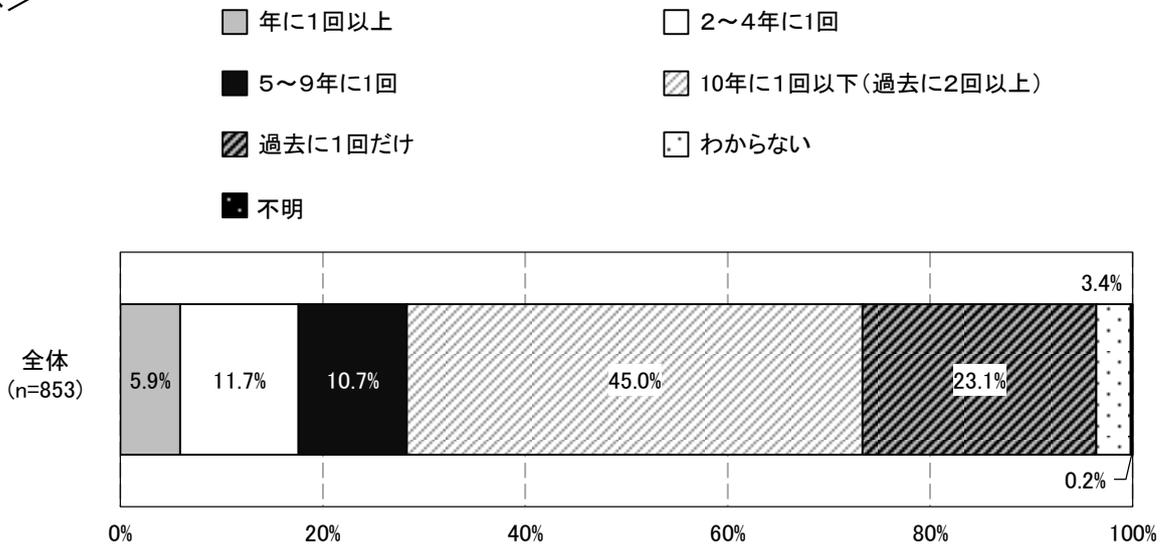
問 31-1 和歌山城の天守閣へ入場する頻度

問 31-1 問 31 で「1. ある」と回答された方のみお答えください。
 和歌山城の天守閣へ入場する頻度について、あてはまるものを1つお選びください。

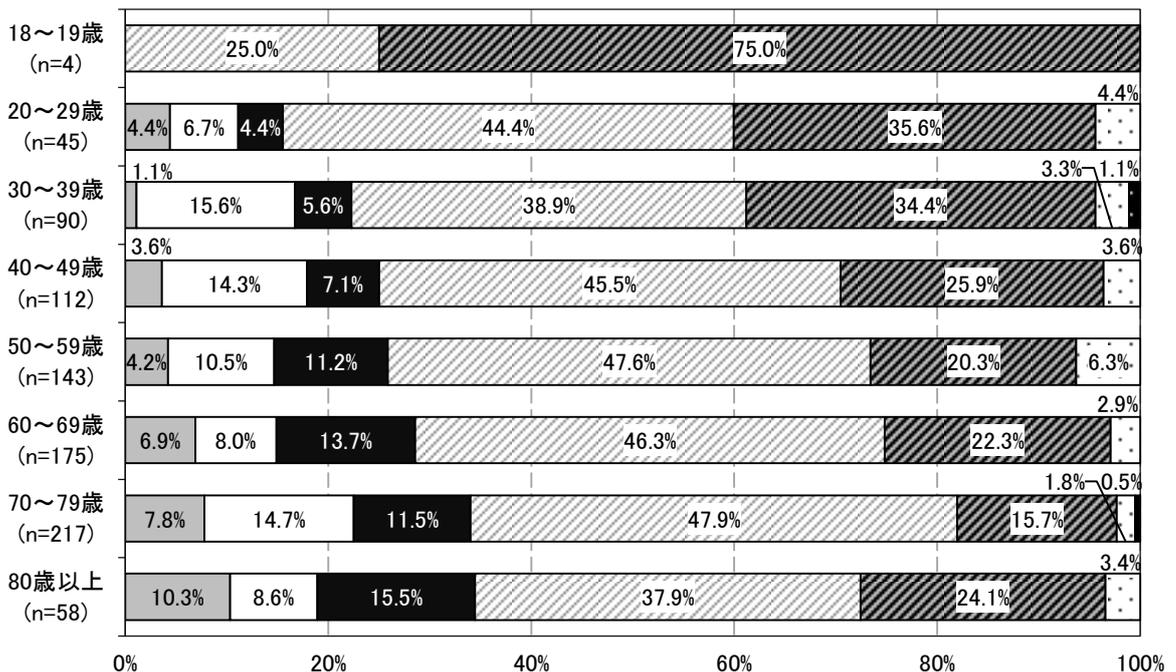
- | | |
|------------|----------------------|
| 1. 年に1回以上 | 4. 10年に1回以下（過去に2回以上） |
| 2. 2～4年に1回 | 5. 過去に1回だけ |
| 3. 5～9年に1回 | 6. わからない |

和歌山城の天守閣へ入場する頻度については、「10年に1回以下（過去に2回以上）」が45.0%と最も多くなっており、次いで「過去に1回だけ」（23.1%）、「2～4年に1回」（11.7%）となっている。
 年代別で見ると、「80歳以上」で「年に1回以上」と回答された方の割合が10.3%と1割を占めている。

<全体>



<年代別>



問 31-2 和歌山城の天守閣へ入場した感想

問 31-2 問 31 で「1. ある」と回答された方のみお答えください。

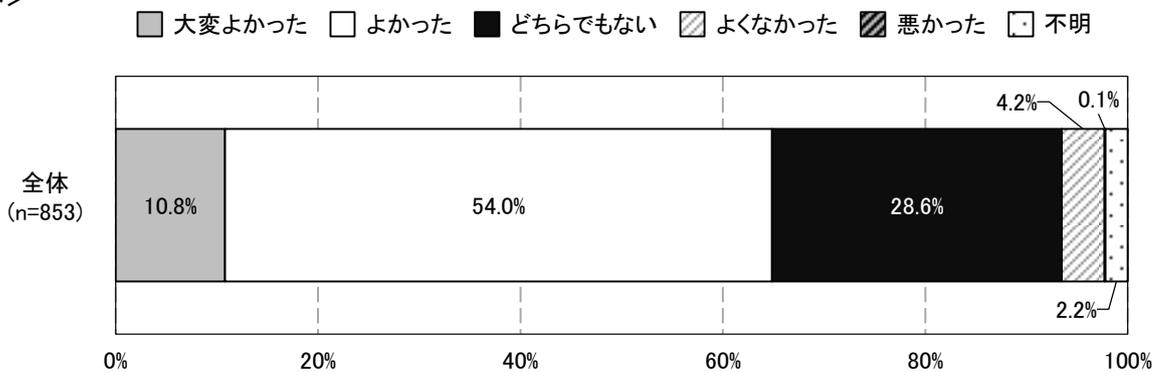
和歌山城の天守閣へ入場した感想について、あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 大変よかった
- 2. よかった
- 3. どちらでもない
- 4. よくなかった
- 5. 悪かった

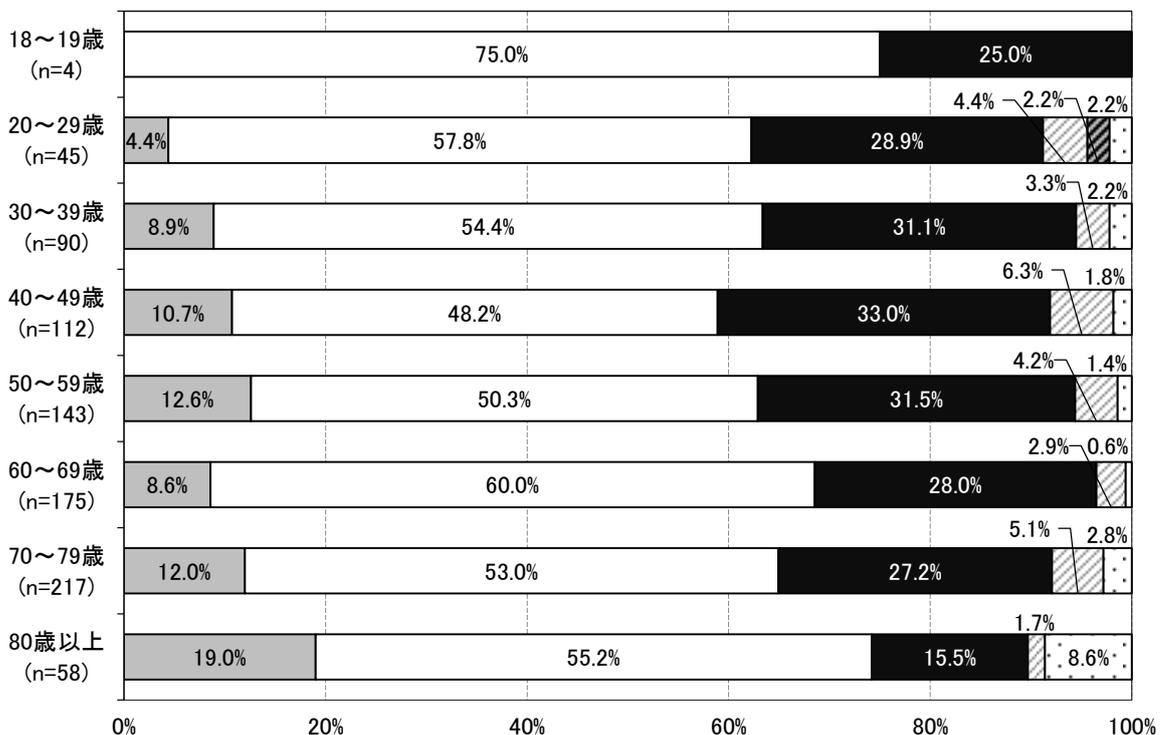
和歌山城の天守閣へ入場した感想については、「よかった」が54.0%と最も多くなっており、「大変よかった」(10.8%)と合わせると64.8%となっている。

年代別で見ると、「80歳以上」で「大変よかった」と回答された方の割合が19.0%と2割近くとなっている。

<全体>



<年代別>



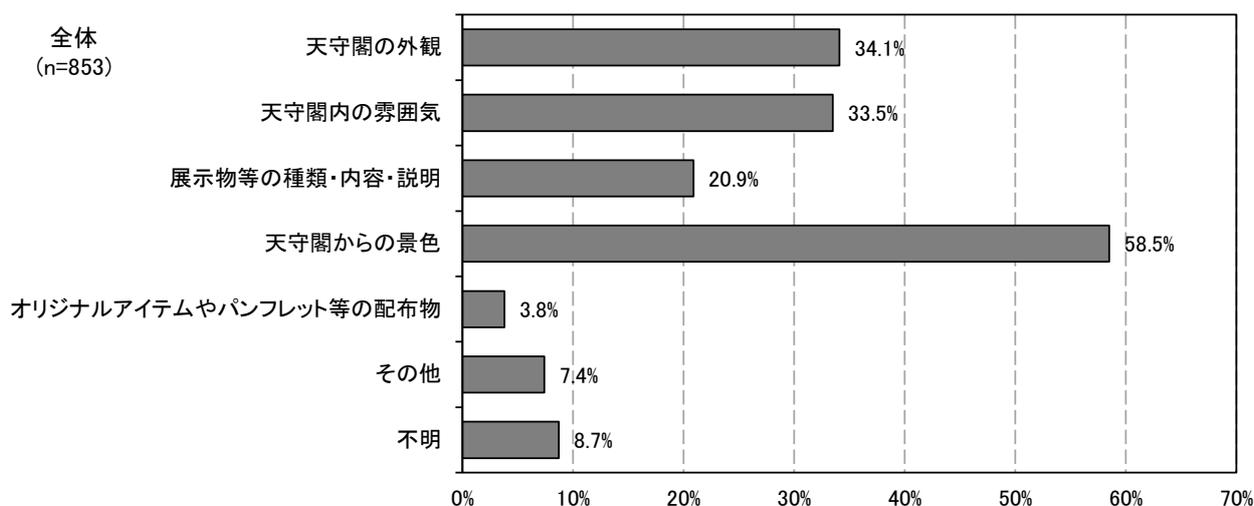
問 31-3 感想の理由

問 31-3 問 31 で「1. ある」と回答された方のみお答えください。
問 31-2 で回答いただいた主な理由を全てお選びください。

1. 天守閣の外観
2. 天守閣内の雰囲気
3. 展示物等の種類・内容・説明
4. 天守閣からの景色
5. オリジナルアイテム（御城印等）やパンフレット等の配布物
6. その他

感想の理由については、「天守閣からの景色」が 58.5%と最も多くなっており、次いで「天守閣の外観」(34.1%)、「天守閣内の雰囲気」(33.5%)となっている。

問 31-2 とのクロス集計でみると、「大変よかった」・「よかった」と回答された方で「天守閣からの景色」が概ね 8 割を占め、次いで「天守閣の外観」が 4 割以上と多くなっている。一方で、「よくなかった」と回答された方では「天守閣内の雰囲気」・「展示物等の種類・内容・説明」がそれぞれ 4 割以上と多くなっている。



その他：「歴史を感じることができた」、「景観がよかった」など

<問 31－ 2 とのクロス集計>

(%)

	回答者数 (人)	天守閣の外観	天守閣内の雰囲気	展示物等の種類・内容・説明	天守閣からの景色	オリジナルアイテムや パンフレット等の配布物	その他	不明
大変よかった	92	55.4	48.9	32.6	82.6	9.8	6.5	0.0
よかった	461	43.2	30.4	17.4	79.2	1.1	2.6	1.1
どちらでもない	244	14.3	33.2	20.9	23.0	5.7	14.8	20.1
よくなかった	36	16.7	52.8	47.2	2.8	11.1	19.4	11.1
悪かった	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※各項目の最も高い割合の欄を■+太字で、2番目に高い割合を□で網かけをしている。(その他・無回答を除く)

※「悪かった」は回答者数が少なく2位が6項目あるため、2位の網掛けを省略している。

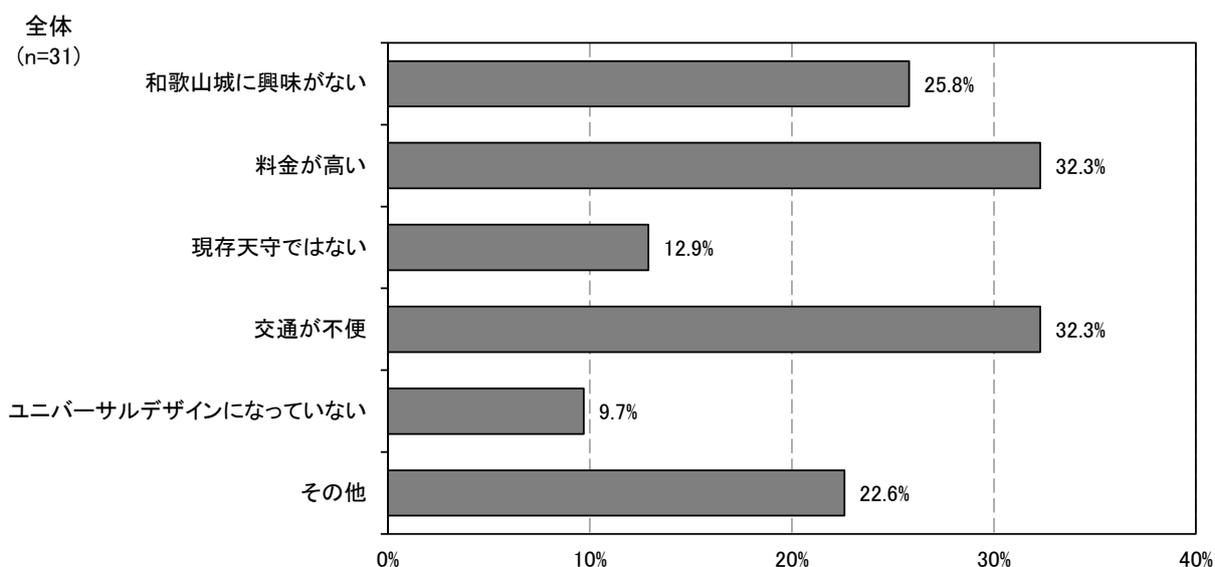
問 31-4 和歌山城の天守閣へ入場したことがない理由

問 31-4 問 31 で「2. ない」と回答された方のみお答えください。

和歌山城天守閣に入場したことがない理由は何ですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 和歌山城に興味がない
2. 料金が高い
3. 現存天守ではない（鉄筋コンクリート造だから）
4. 交通が不便（駐車場が少ない）
5. ユニバーサルデザイン（バリアフリー、多言語化等）になっていない
6. その他

和歌山城の天守閣へ入場したことがない理由については、「料金が高い」と「交通が不便」が 32.3% と最も多くなっており、次いで「和歌山城に興味がない」（25.8%）となっている。



その他：「周りに楽しめるものがない」、「機会がなかった」など

問 32 和歌山城の天守閣をより魅力ある施設にしていくために必要なこと

問 32 和歌山城の天守閣をより魅力ある施設としていくために、特に必要だと思うことは何ですか？
あてはまるものを全てお選びください。

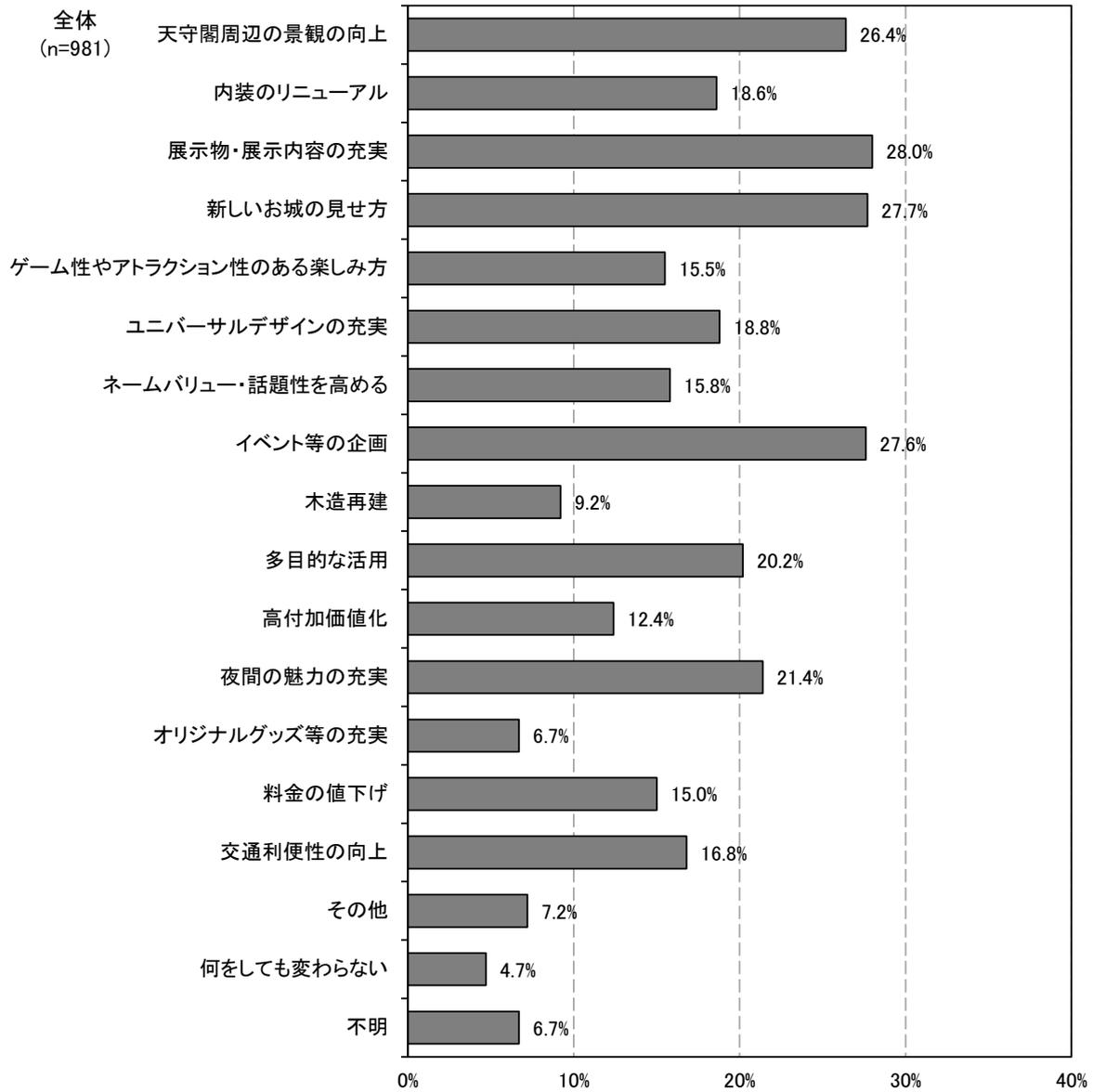
1. 天守閣周辺の景観の向上（外壁の修復、周辺障害物の除却等）
2. 内装のリニューアル
3. 展示物・展示内容の充実
4. 新しいお城の見せ方（ARやVRの活用）
5. ゲーム性やアトラクション性のある楽しみ方
6. ユニバーサルデザインの充実（バリアフリー、多言語化等）
7. ネームバリュー・話題性を高める
8. イベント等の企画
9. 木造再建
10. 多目的な活用（イベントや企画展示等）
11. 高付加価値化（城泊、ダイニング、結婚式等）
12. 夜間の魅力の充実
13. オリジナルグッズ等の充実
14. 料金の値下げ
15. 交通利便性の向上
16. その他
17. 何をしても変わらない（何をしても行きたくならない）

和歌山城の天守閣をより魅力ある施設にしていくために必要なことについては、「展示物・展示内容の充実」が28.0%と最も多くなっており、次いで「新しいお城の見せ方（ARやVRの活用）」（27.7%）、「イベント等の企画」（27.6%）となっている。

年代別でみると、「20～29歳」では「新しいお城の見せ方（ARやVRの活用）」・「夜間の魅力の充実」、「30～39歳」では「イベント等の企画」、「40～49歳」では「新しいお城の見せ方（ARやVRの活用）」、「50～59歳」では「展示物・展示内容の充実」、「60～69歳」では「展示物・展示内容の充実」・「イベント等の企画」、「70歳以上」では「天守閣周辺の景観の向上（外壁の修復、周辺障害物の除却等）」がそれぞれ最も高くなっている。（回答数が少ない「18～19歳」を除く）

問31-1とのクロス集計でみると、「年に1回以上」では「イベント等の企画」、「2～4年に1回」・「10年に1回以下（過去に2回以上）」では「展示物・展示内容の充実」、「5～9年に1回」では「天守閣周辺の景観の向上（外壁の修復、周辺障害物の除却等）」、「過去に1回だけ」では「新しいお城の見せ方（ARやVRの活用）」がそれぞれ最も高くなっている。

<全体>



その他：「駐車場の充実」、「和歌山城周りの店の充実」など

<年代別>

(%)

	回答者数(人)	天守閣周辺の景観の向上	内装のリニューアル	展示物・展示内容の充実	新しいお城の見せ方(A RやV Rの活用)	ゲーム性やアトラクション性のある楽しみ方	ユニバーサルデザインの実現(イベントや企画展示等)	ネームバリュー・話題性を高める	イベントの等の企画	木造再建
18~19歳	4	50.0	50.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0
20~29歳	64	17.2	10.9	20.3	39.1	34.4	26.6	23.4	35.9	6.3
30~39歳	112	20.5	13.4	24.1	32.1	29.5	25.0	12.5	38.4	8.9
40~49歳	124	23.4	19.4	29.8	32.3	22.6	15.3	16.1	30.6	10.5
50~59歳	160	28.1	23.8	31.9	31.3	13.1	18.8	16.3	26.9	12.5
60~69歳	196	29.1	24.0	30.1	25.0	12.2	16.8	17.9	30.1	7.7
70~79歳	240	29.6	17.5	29.2	21.7	7.9	18.8	13.3	17.9	8.8
80歳以上	71	25.4	5.6	19.7	18.3	2.8	9.9	15.5	21.1	9.9
	回答者数(人)	多目的な活用(イベントや企画展示等)	高付加価値化(城泊、ダイニング、結婚式等)	夜間の魅力の充実	オリジナルグッズ等の充実	料金の値下げ	交通利便性の向上	その他	何をしていても変わらない(何をしても行きたくならない)	不明
18~19歳	4	50.0	0.0	50.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
20~29歳	64	28.1	10.9	39.1	6.3	23.4	14.1	4.7	7.8	0.0
30~39歳	112	28.6	25.0	30.4	8.9	21.4	23.2	5.4	1.8	3.6
40~49歳	124	19.4	16.1	26.6	3.2	17.7	19.4	10.5	4.0	0.8
50~59歳	160	15.6	13.1	26.3	11.3	20.0	16.9	11.3	6.9	3.1
60~69歳	196	22.4	12.8	16.3	6.1	10.7	17.3	7.7	4.1	5.6
70~79歳	240	16.7	5.8	13.3	6.3	9.6	14.2	5.4	4.2	10.8
80歳以上	71	14.1	9.9	9.9	2.8	9.9	11.3	2.8	7.0	25.4

※各項目の最も高い割合の欄を **■**+太字で、2番目に高い割合を **■** で網かけをしている。(その他・無回答を除く)

※18~19歳は回答者数が少なく2位が7項目あるため、2位の網掛けを省略している。

<問 31- 1 とのクロス集計>

	回答者数 (人)	天守閣周辺の景観の向上	内装のリニューアル	展示物・展示内容の充実	Rの活用) 新しいお城の見せ方 (ARやVRの活用)	ゲーム性やアトラクション性のある楽しみ方	ユニバーサルデザインの実 (イベントや企画展示等)	ネームバリュー・話題性を高める	イベントの等の企画	木造再建
年に1回以上	50	36.0	24.0	36.0	26.0	8.0	16.0	20.0	40.0	16.0
2～4年に1回	100	27.0	18.0	39.0	30.0	22.0	21.0	14.0	33.0	9.0
5～9年に1回	91	39.6	28.6	36.3	34.1	9.9	23.1	16.5	26.4	9.9
10年に1回以下	384	28.6	24.5	31.0	29.7	18.5	22.1	18.5	28.6	11.7
過去に1回だけ	197	22.8	12.7	24.9	28.9	16.2	13.7	18.3	27.4	5.6
	回答者数 (人)	多目的な活用 (イベントや企画展示等)	高付加価値化 (城泊、ダイニング、結婚式等)	夜間の魅力の充実	オリジナルグッズ等の充実	料金の値下げ	交通利便性の向上	その他	何をしても変わらない (何をしても行きたくない)	不明
年に1回以上	50	34.0	18.0	26.0	22.0	8.0	18.0	14.0	0.0	4.0
2～4年に1回	100	24.0	10.0	21.0	9.0	17.0	18.0	14.0	1.0	6.0
5～9年に1回	91	23.1	7.7	24.2	7.7	15.4	12.1	8.8	0.0	4.4
10年に1回以下	384	20.1	13.3	23.7	5.7	15.9	18.0	6.3	1.3	3.6
過去に1回だけ	197	19.8	13.2	21.8	6.1	15.2	17.3	5.6	6.1	6.6

※各項目の最も高い割合の欄を **太字** で、2番目に高い割合を **網かけ** をしている。(その他・無回答を除く)

10. 和歌山市の広報について

問 33 市政情報の入手源

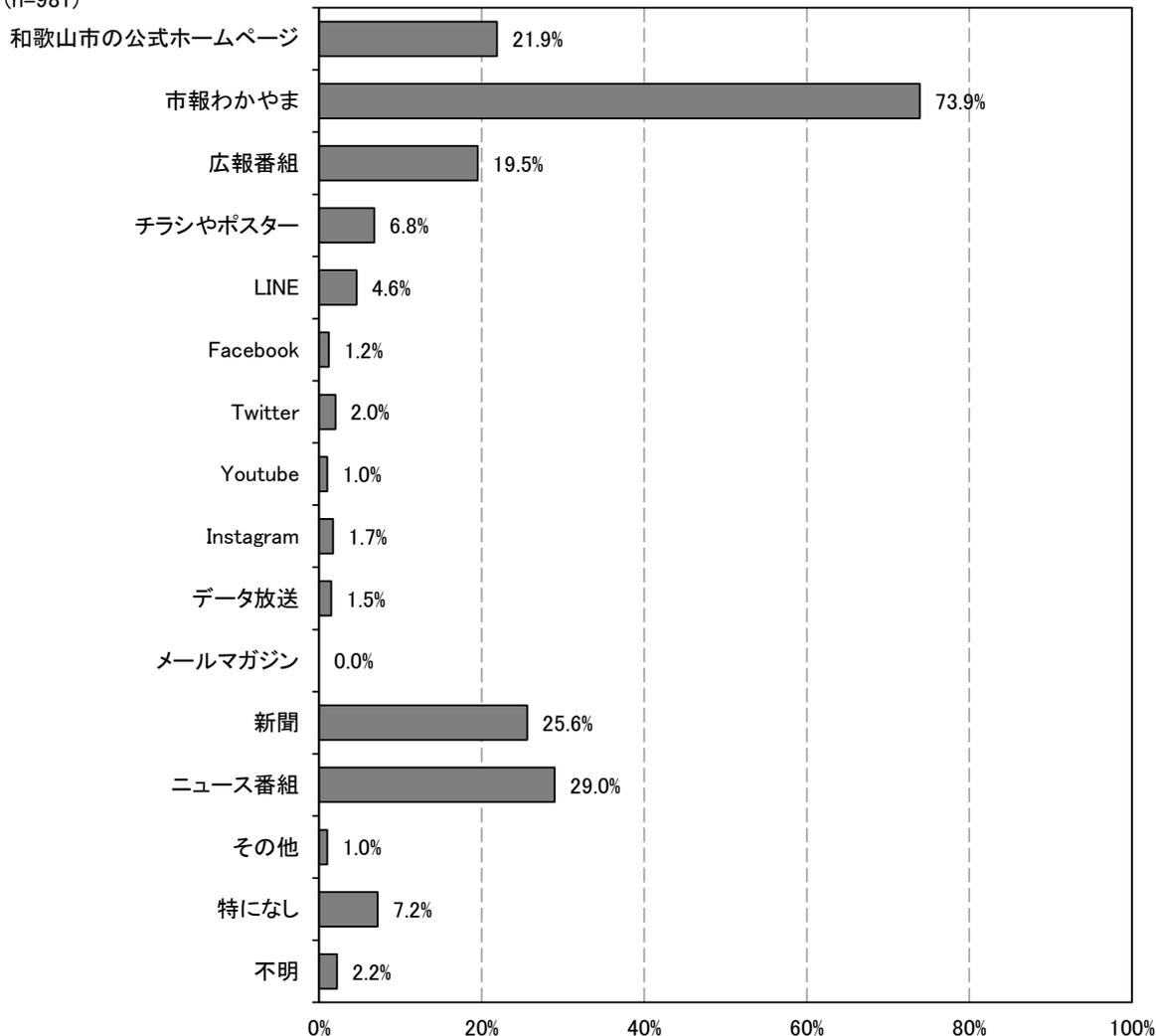
問 33 あなたは、市政の情報を主にどの方法で入手していますか？

あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 和歌山市の公式ホームページ | 9. Instagram |
| 2. 市報わかやま | 10. データ放送 |
| 3. 広報番組（ラジオ・テレビ） | 11. メールマガジン |
| 4. チラシやポスター | 12. 新聞 |
| 5. LINE | 13. ニュース番組（ラジオ・テレビ） |
| 6. Facebook | 14. その他 |
| 7. Twitter | 15. 特になし |
| 8. Youtube | |

市政情報の入手源については、「市報わかやま」が 73.9%と最も多くなっており、次いで「ニュース番組（ラジオ・テレビ）」（29.0%）、「新聞」（25.6%）となっている。

全体
(n=981)



その他：「地方情報誌」、「インターネット」、「友人・知人」など

問 34 和歌山市公式LINEの認知度

問 34 あなたは、和歌山市公式LINEがあることをご存知ですか？

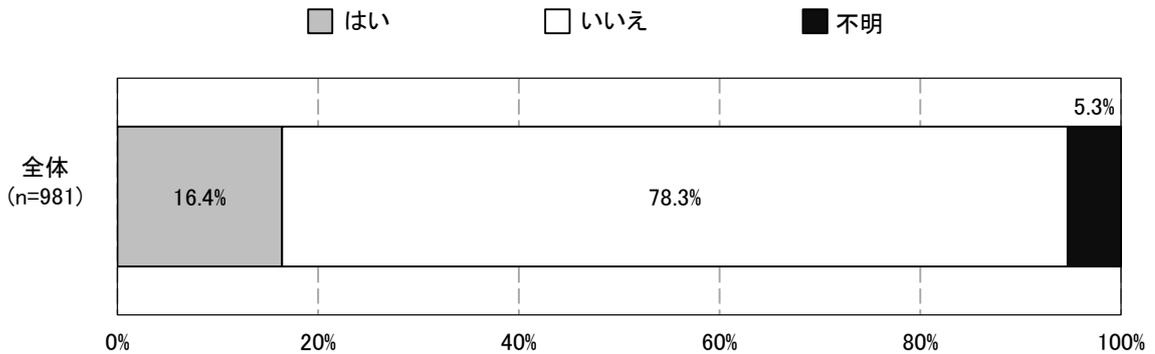
1. はい

2. いいえ

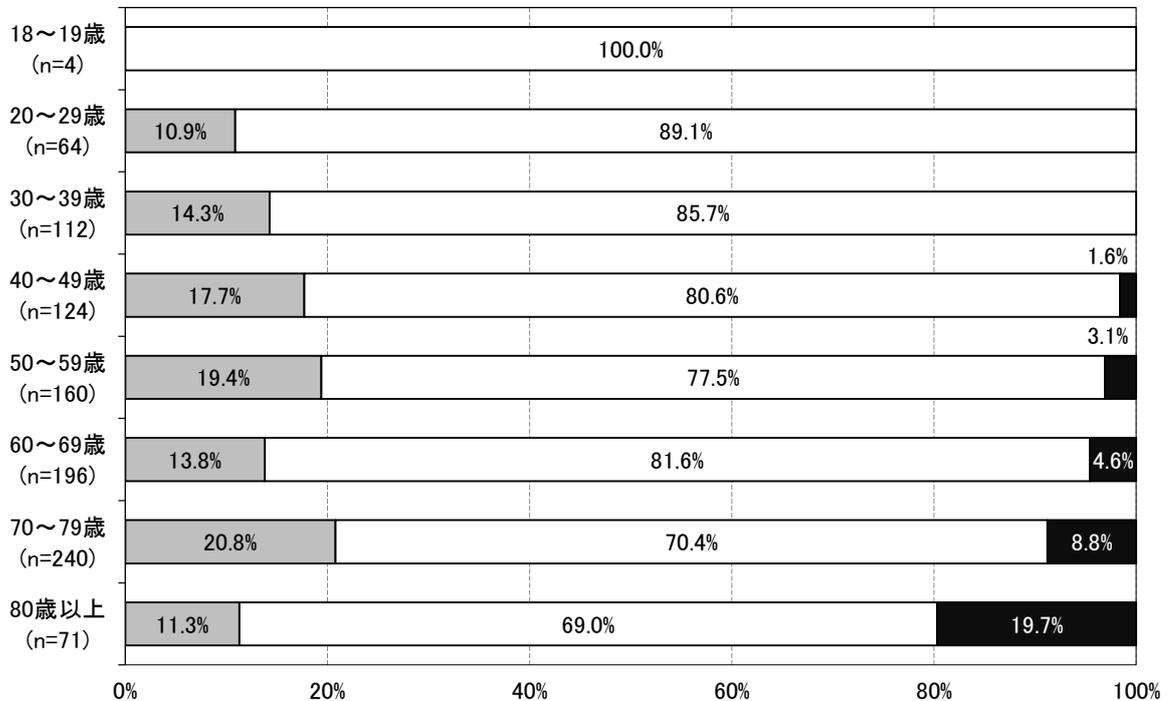
和歌山市公式LINEの認知度について、「はい」と回答された方の割合は16.4%、「いいえ」は78.3%となっている。

年代別で見ると、「70～79歳」で「はい」と回答された方の割合が20.8%と2割を占める結果となっている。

<全体>



<年代別>

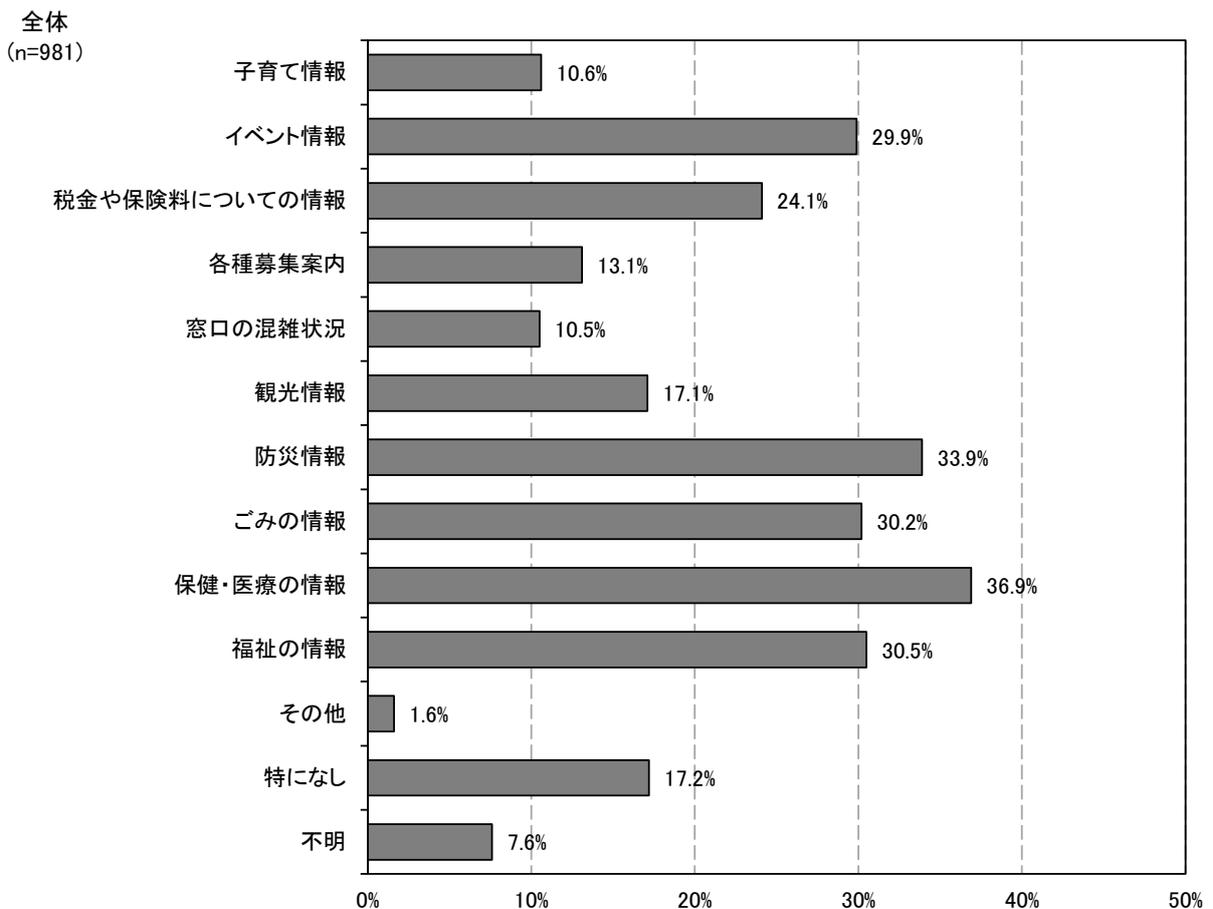


問 35 新型コロナウイルス感染症に関する情報の他で市政に求める情報

問 35 和歌山市公式LINEでは、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報の他、市政に関する情報を提供しています。あなたは、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報以外の市政についてどんな情報を求めていますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 子育て情報 | 8. ごみの情報 |
| 2. イベント情報 | 9. 保健・医療の情報 |
| 3. 税金や保険料についての情報 | 10. 福祉の情報（高齢者・生活支援など） |
| 4. 各種募集案内（講座や採用情報など） | 11. その他 |
| 5. 窓口の混雑状況 | 12. 特になし |
| 6. 観光情報 | |
| 7. 防災情報 | |

新型コロナウイルス感染症に関する情報の他で市政に求める情報については、「保健・医療の情報」が36.9%と最も多くなっており、次いで「防災情報」（33.9%）、「福祉の情報（高齢者・生活支援など）」（30.5%）となっている。



その他：「アンケート」、「選挙情報」、「和歌山城ホールの催し紹介」など

11. あなたの身の回りの状況やお考えについて

問 36 ご自身の状況や考え方について

問 36 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

- (1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？
- (2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？
- (3) あなたの、かかりつけ医はありますか？
- (4) お子様の、かかりつけ医はありますか？ (0~14歳のお子様がいいらっしゃる方のみ)
- (5) あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？
- (6) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？
- (7) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？
- (8) 日頃から芸術・文化活動を行い、又は鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？
- (9) 公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、又は、したいと思いますか？
- (10) 公園を月1回以上利用されますか？
- (11) あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？
- (12) あなたは、週一回以上運動やスポーツ(通勤時の徒歩や自転車、散歩やウォーキング、その他軽い運動・体操などを含む)をしていますか？

1. はい

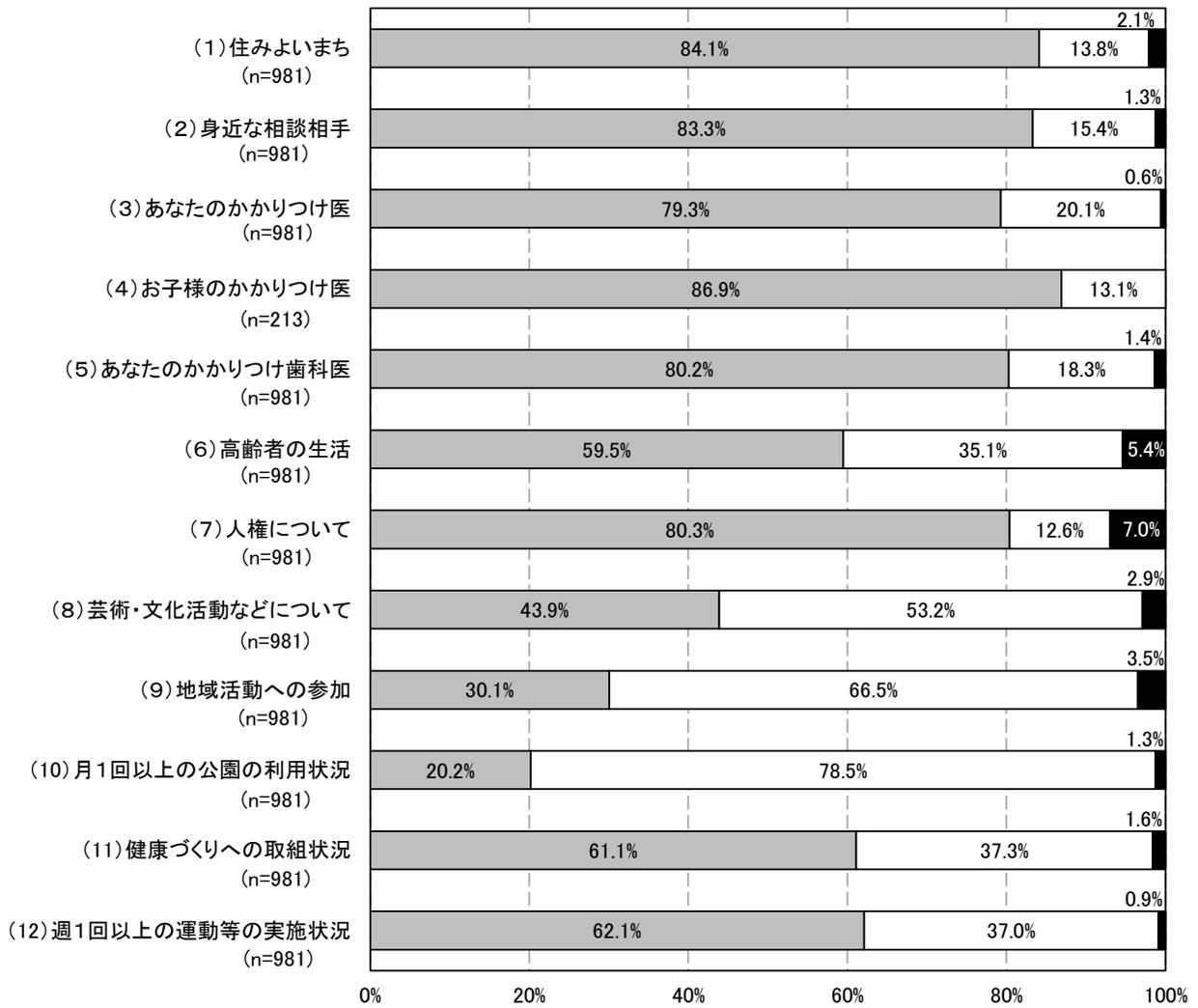
2. いいえ

ご自身の状況や考え方について、二者択一回答の設問(1)～(12)をみると、「はい」の割合が最も高い質問は、「お子様の、かかりつけ医はありますか？」で86.9%となっている。

他に質問で「はい」が80%を超えるのは、「和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？」(84.1%)、「身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？」(83.3%)、「あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？」(80.3%)、「あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？」(80.2%)となっている。

「いいえ」の割合が「はい」の割合に比べ高い質問は、「公園を月1回以上利用されますか？」(78.5%)、「公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、又は、したいと思いますか？」(66.5%)、「日頃から芸術・文化活動を行い、又は鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？」(53.2%)となっている。

■ はい □ いいえ ■ 不明



問36 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(13) あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん等のいずれか）を受けていますか？

- 1. 定期的に受けている
- 2. 定期的には受けていない
- 3. 一度も受けたことがない

※定期的な検診とは、「肺がん・大腸がん」は1年に1回、「胃がん・子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

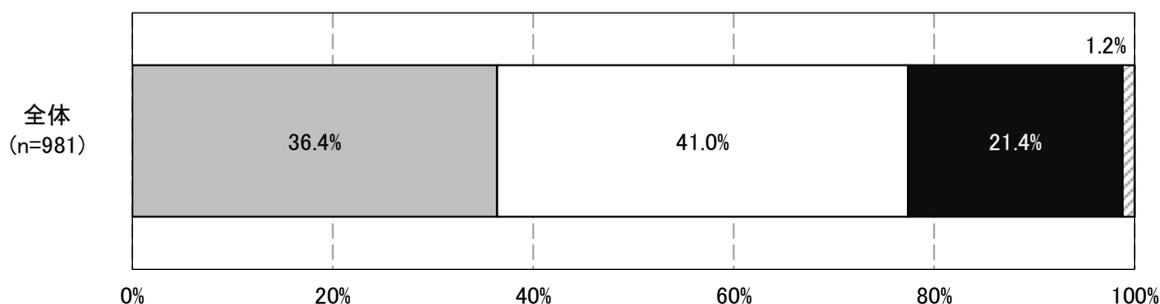
がん検診の受診状況について、「定期的には受けていない」と回答された方の割合が41.0%と最も多くなっている一方で、「定期的に受けている」と回答された方の割合は36.4%となっている。また、「一度も受けたことがない」は21.4%と2割以上の方はがん検診を一度も受けたことがない結果となっている。

男女別にみると、男性では「一度も受けたことがない」割合が27.3%と女性より10.9ポイント高くなっている。一方で、「定期的に受けている」と回答された方の割合は、男性が36.1%、女性が36.3%と大きな差は見られない。

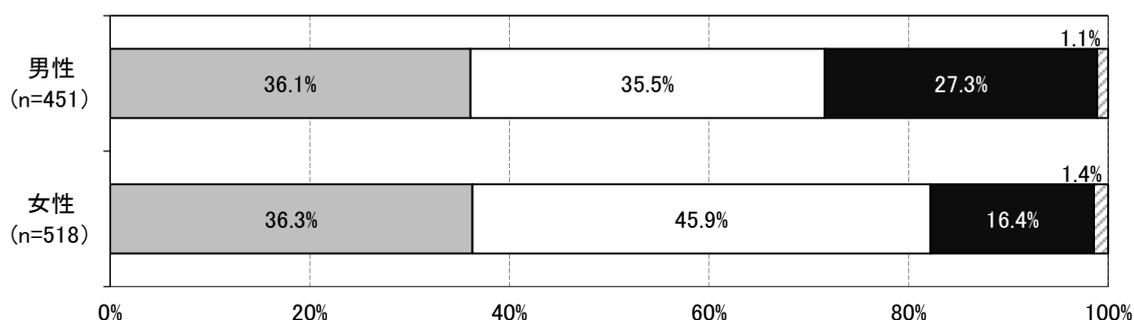
年代別にみると、年齢が上がるにつれて「一度も受けたことがない」割合が減少する傾向がみられる。また、「50～69歳」では「定期に受けている」割合が4割を超える結果となっている。

<全体>

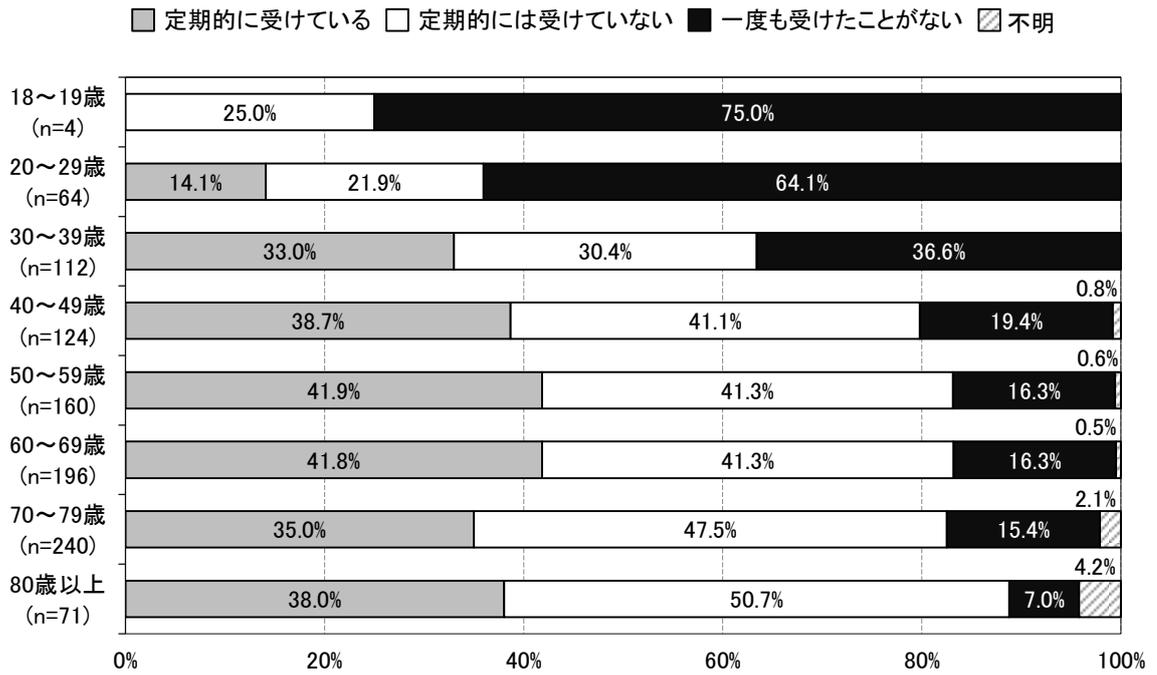
■ 定期的に受けている □ 定期的には受けていない ■ 一度も受けたことがない ▨ 不明



<男女別>



<年代別>



12. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について

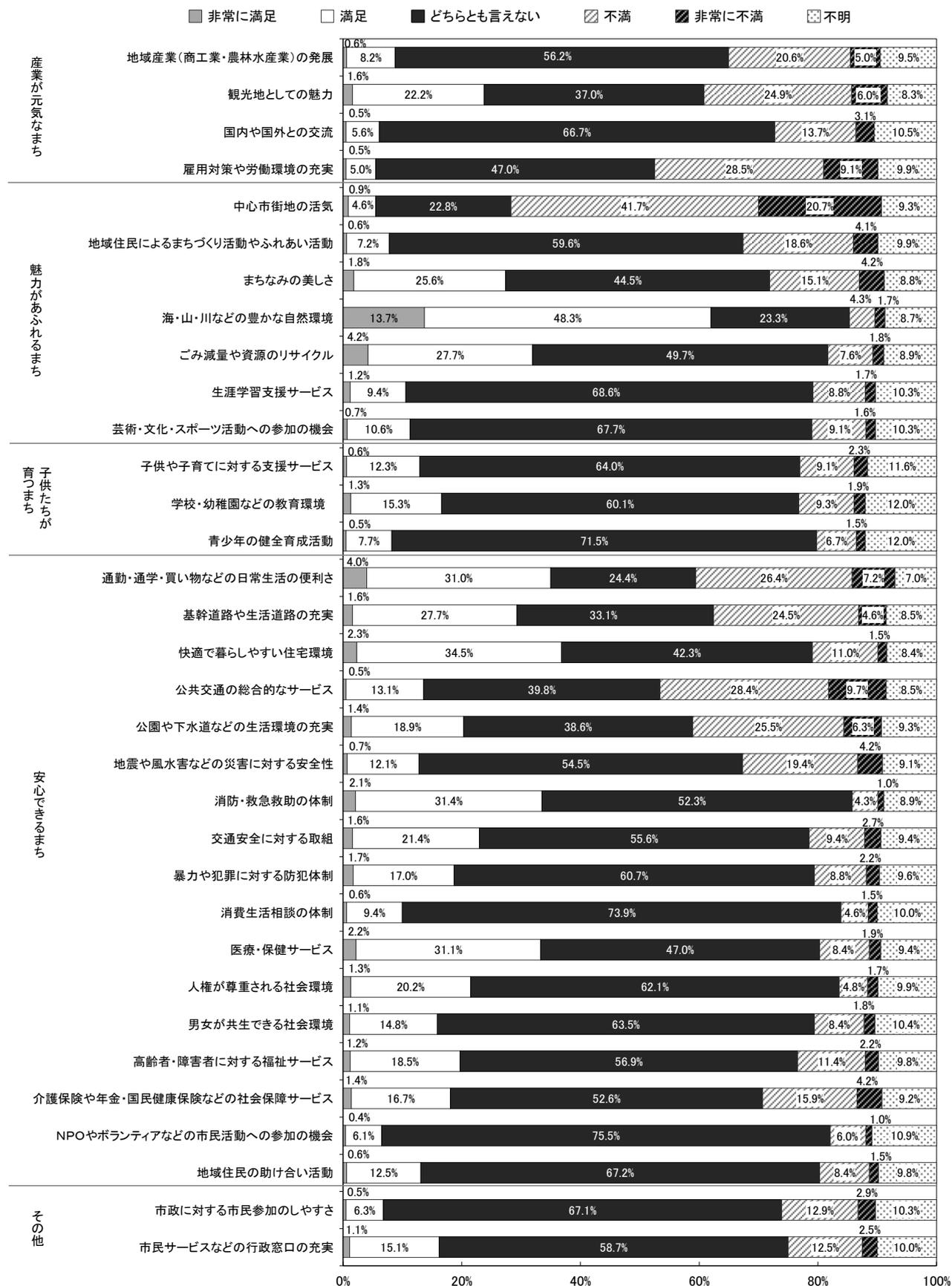
問 37 和歌山市の取組に対する満足度と重要度

問 37 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

- 満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満
 重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない
 5. 全く重要ではない

安定した雇用を生み出す産業が元気なまち (以下「産業が元気なまち」という)	地域産業（商工業・農林水産業）の発展
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	雇用対策や労働環境の充実
住みたいと選ばれる魅力があふれるまち (以下「魅力があふれるまち」という)	中心市街地の活気
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動
	まちなみの美しさ
	海・山・川などの豊かな自然環境
	ごみ減量や資源のリサイクル
	生涯学習支援サービス
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
子供たちがいきいきと育つまち (以下「子供たちが育つまち」という)	子供や子育てに対する支援サービス
	学校・幼稚園などの教育環境
	青少年の健全育成活動
誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち (以下「安心できるまち」という)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	基幹道路や生活道路の充実
	快適で暮らしやすい住宅環境
	公共交通の総合的なサービス
	公園や下水道などの生活環境の充実
	地震や風水害などの災害に対する安全性
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消費生活相談の体制
	医療・保健サービス
	人権が尊重される社会環境
	男女が共生できる社会環境
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	
地域住民の助け合い活動	
その他	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

【満足度】



【満足度・不満足度】

＜全体＞

和歌山市の取組の満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）の上位5項目は順に、「海・山・川などの豊かな自然環境」（62.0%）、「快適で暮らしやすい住宅環境」（36.8%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（35.0%）、「消防・救急救助の体制」（33.5%）、「医療・保険サービス」（33.3%）となっている。「魅力があふれるまち」、「安心できるまち」に関する項目が上位を占める結果となっている。

不満足度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）の上位5項目は順に、「中心市街地の活気」（62.4%）、「公共交通の総合的なサービス」（38.1%）、「雇用対策や労働環境の充実」（37.6%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（33.6%）、「公園や下水道などの生活環境の充実」（31.8%）となっている。「魅力があふれるまち」、「安心できるまち」、「産業が元気なまち」に関する項目の不満足度が高い傾向にある。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=981)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 62.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 36.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.0%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.5%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 33.3%

【不満足度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=981)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 62.4%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 38.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 37.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 33.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 31.8%

＜男女別満足度＞

満足度の上位5位について男女別にみると、いずれも1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっており、2位以降は「医療・保健サービス」、「快適で暮らしやすい住宅環境」、「消防・救急救助の体制」、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」などの「安心できるまち」に関する項目が占める結果となっている。また、男性では4位に「ごみ減量や資源のリサイクル」（33.0%）が入っている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=451)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 60.8%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 35.5%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 34.4%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 33.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 32.6%
女性 (n=518)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 63.1%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 40.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.2%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.1%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 31.6%

注：同率の項目は並記している。※注は以降のページも同様である。

<男女別不満度>

不満度の上位5位について男女別にみると、いずれも1位は「中心市街地の活気」となっており、2位以降は「雇用対策や労働環境の充実」、「公共交通の総合的なサービス」、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」などの“産業が元気なまち”、“安心できるまち”に関する項目が占める結果となっている。また、男性では4位に「観光地としての魅力」(34.3%)、女性では5位に「公園や下水道などの生活環境の充実」(29.8%)が入っている。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=451)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 67.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 41.9%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 41.2%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 34.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 34.1%
女性 (n=518)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 58.1%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 35.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 33.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 32.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 29.8%

<年代別満足度>

満足度の上位5位の項目について年代別にみると、いずれの年代も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。「80歳以上」では「医療・保健サービス」が同率1位となっている。2位は、「20～29歳」及び「50～59歳」では「快適で暮らしやすい住宅環境」、「30～39歳」、「40～49歳」、「70～79歳」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「60～69歳」では「消防・救急救助の体制」となっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=4)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 75.0%				
20～29歳 (n=64)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 82.9%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 59.4%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 48.4%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 45.4%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 40.6%
30～39歳 (n=112)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 69.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 36.6%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 35.8%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 34.0%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 31.2%
40～49歳 (n=124)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 70.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 38.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 ・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 37.9%		・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 33.0%
50～59歳 (n=160)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 62.5%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 39.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 34.4%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 33.8%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 33.7%
60～69歳 (n=196)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 59.7%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 36.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 34.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 32.1%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 30.1%
70～79歳 (n=240)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 53.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.5%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.8%		・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 31.6%
80歳以上 (n=71)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 45.1%		・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 40.8%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 35.2%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 31.0%

注：18～19歳については回答数が少なく、3位は同率項目が12項目あるため省略している。

<年代別不満度>

不満度の上位5位の項目について年代別にみると、1位はいずれの年代も「中心市街地の活気」となっている。2位については、「18～19歳」では「国内や国外との交流」、「20～29歳」では「観光地としての魅力」、「40～49歳」及び「60～69歳」では「雇用対策や労働環境の充実」、「50～59歳」では「基幹道路や生活道路の充実」の項目が、全体と比べて順位が高くなっている。「30～39歳」、「70～79歳」、「80歳以上」では「公共交通の総合的なサービス」となっており、全体と同様の項目が並ぶ結果となった。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=4)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 75.0%	・国内や国外との交流 【産業が元気なまち】 50.0%			
20～29歳 (n=64)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 53.2%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 46.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の 便利さ 【安心できるまち】 40.7%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 37.5%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 36.0%
30～39歳 (n=112)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 61.6%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 42.0%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 38.4%		・通勤・通学・買い物などの日常生活の 便利さ 【安心できるまち】 36.7%
40～49歳 (n=124)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 70.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 47.6%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 46.0%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 41.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の 便利さ 【安心できるまち】 ・公園や下水道などの生活環境の 充実 【安心できるまち】 38.7%
50～59歳 (n=160)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 76.9%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 43.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 42.5%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 41.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の 便利さ 【安心できるまち】 38.8%
60～69歳 (n=196)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 72.4%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 44.4%	・公園や下水道などの生活環境の 充実 【安心できるまち】 39.3%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 38.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の 便利さ 【安心できるまち】 33.2%
70～79歳 (n=240)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 51.3%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 34.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 28.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の 便利さ 【安心できるまち】 28.0%	・公園や下水道などの生活環境の 充実 【安心できるまち】 26.3%
80歳以上 (n=71)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 35.2%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 26.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の 便利さ 【安心できるまち】 23.9%	・公園や下水道などの生活環境の 充実 【安心できるまち】 22.5%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 21.1%

注：18～19歳については回答数が少なく、3位は同率項目が5項目あるため省略している。

<地域別満足度>

満足度の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。2位については、「中心部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「東部」では「消防・救急救助の体制」、「東南部」では「まちなみの美しさ」、「河北部」では「ごみ減量や資源のリサイクル」の項目が、全体と比べて順位が高くなっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=223)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 64.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 44.4%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 37.6%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 35.4%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 34.9%
南部 (n=116)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 59.5%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 37.1%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 33.6%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 31.9%	
東部 (n=134)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 57.5%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 38.1%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 35.0%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 32.8%	
東南部 (n=78)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 65.4%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 30.8%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 29.5%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 28.2%	
河西部 (n=268)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 61.5%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 39.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 38.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 35.8%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 33.9%
河北部 (n=83)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 68.7%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 40.9%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 38.5%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 36.1%	

<地域別不満度>

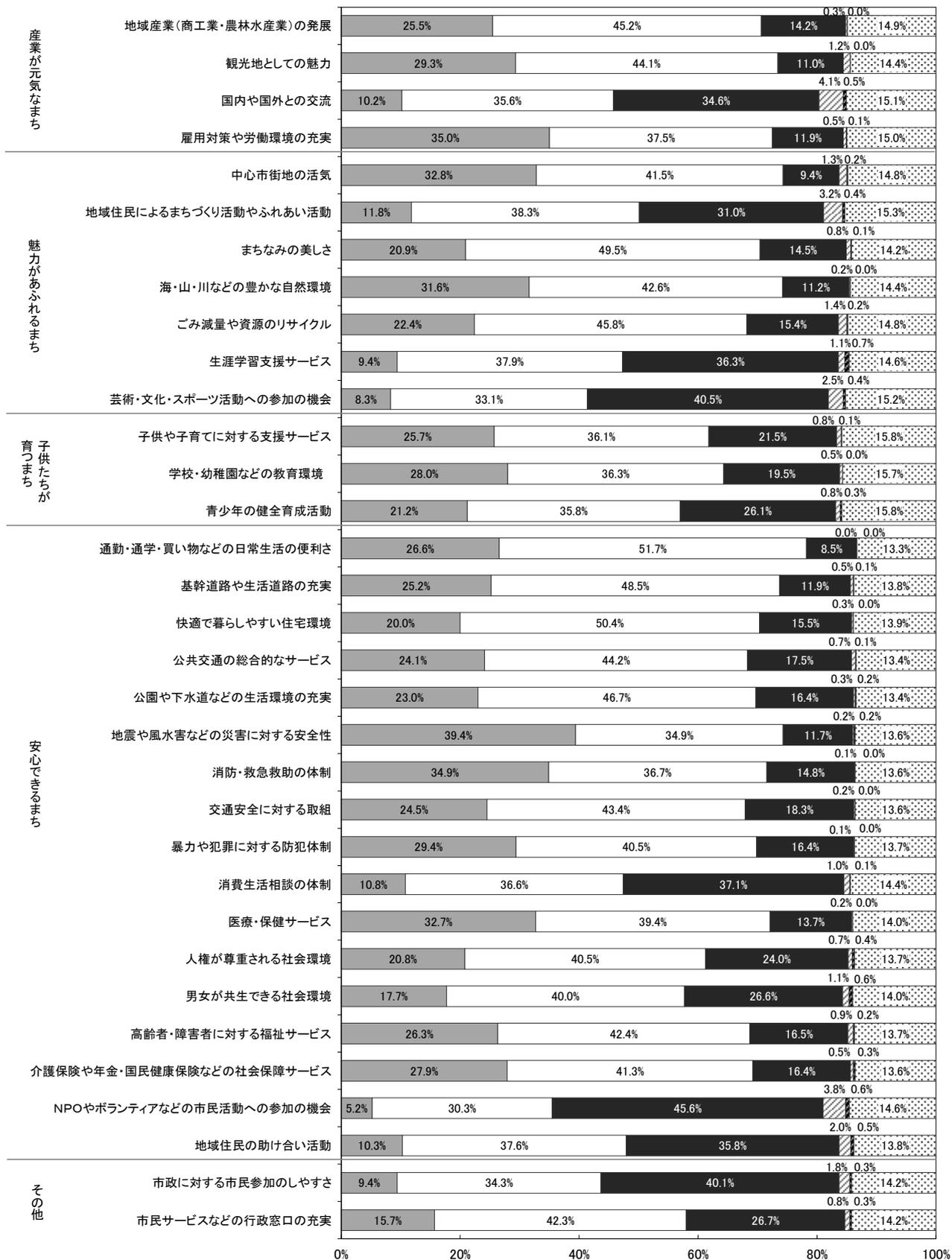
不満度の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も1位は「中心市街地の活気」となっている。2位については、「中心部」及び「河西部」では「雇用対策や労働環境の充実」、「東部」では「公園や下水道などの生活環境の充実」、「東南部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」の項目が、全体と比べて順位が高くなっている。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=223)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 60.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 33.2%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 30.9%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 26.0%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 25.6%
南部 (n=116)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 68.1%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 37.9%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 35.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 34.5%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 32.7%
東部 (n=134)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 69.4%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 44.1%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 44.0%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 43.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 38.1%
東南部 (n=78)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 60.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 51.3%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 50.0%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 41.0%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 34.6%
河西部 (n=268)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 60.8%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 36.2%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 31.7%		
河北部 (n=83)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 59.1%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 43.3%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 42.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 40.9%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 36.1%

【重要度】

非常に重要
 重要
 どちらとも言えない
 あまり重要ではない
 全く重要ではない
 不明



【重要度】

<全体>

和歌山市の取組の重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）の上位5項目は順に、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（78.3%）、「中心市街地の活気」（74.3%）、「地震や風水害などの災害に対する安全性」（74.3%）、「海・山・川などの豊かな自然環境」（74.2%）、「基幹道路や生活道路の充実」（73.7%）となっている。“安心できるまち”、“魅力があふれるまち”に関する項目の重要度が高い傾向にある。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=981)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 78.3%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 74.3%		・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 74.2%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 73.7%

<男女別>

重要度の上位5位について男女別にみると、いずれも1位は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっており、2位以降は「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「海・山・川などの豊かな自然環境」などの“安心できるまち”、“魅力があふれるまち”に関する項目が占める結果となっている。また、男性では2位に「中心市街地の活気」及び「基幹道路や生活道路の充実」（76.1%）が入っており、女性では4位に「雇用対策や労働環境の充実」（74.5%）、5位に「観光地としての魅力」（74.2%）が入っている。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=451)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 78.7%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 76.1%		・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 74.1%	
女性 (n=518)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 78.8%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 75.5%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 74.9%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 74.5%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 74.2%

<年代別>

重要度の上位5位の項目について年代別にみると、いずれも1位は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっている。2位については、「30～39歳」では「快適で暮らしやすい住宅環境」、「40～49歳」では「海・山・川などの豊かな自然環境」、「50～59歳」では「観光地としての魅力」、「70～79歳」では「基幹道路や生活道路の充実」、「80歳以上」では「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」の項目が、全体と比べて順位が高くなっている。

【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=4)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 100.0%				
20～29歳 (n=64)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 86.0%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 85.9%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 84.4%		・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 84.3%
30～39歳 (n=112)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 83.9%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 81.3%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 80.4%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 79.5%	
40～49歳 (n=124)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 87.9%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 83.8%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 81.4%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 79.9%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 79.8%
50～59歳 (n=160)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 82.5%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 81.9%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 80.7%		・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 80.6%
60～69歳 (n=196)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 80.1%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 79.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 78.6%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 78.0%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 77.6%
70～79歳 (n=240)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 72.9%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 69.2%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 68.0%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 67.6%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 67.5%
80歳以上 (n=71)	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 54.9%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 53.5%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 50.7%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心できるまち】 49.3%	

注：18～19歳については回答数が少なく、2位は同率項目が29項目あるため省略している。

<地域別>

重要度の上位5位の項目について地域別にみると、「南部」のみ「中心市街地の活気」が1位となっており、他の地域では全体と同じく「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が1位となっている。2位については、「南部」及び「東南部」では「基幹道路や生活道路の充実」、「東部」では「観光地としての魅力」、「東部」及び「河西部」では「海・山・川などの豊かな自然環境」の項目が、全体と比べて順位が高くなっている。

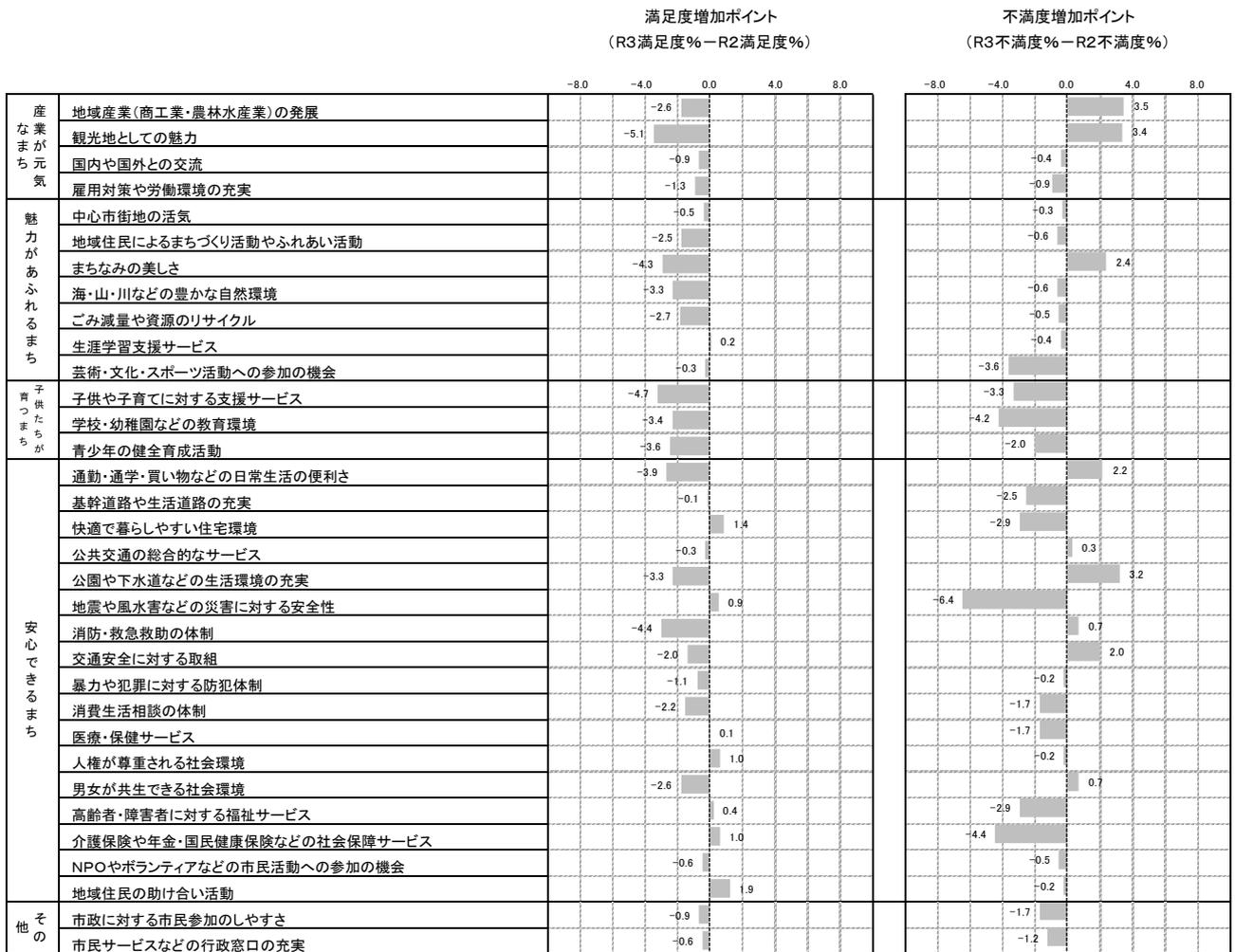
【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=223)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 78.4%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 78.0%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 74.4%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 73.1%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 72.2%
南部 (n=116)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 77.6%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 76.7%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 75.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 75.8%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【産業が元気なまち】 74.1%
東部 (n=134)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 85.1%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 82.1%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 79.9%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 79.9%	
東南部 (n=78)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 85.9%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 78.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 76.9%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 75.7%	
河西部 (n=268)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 76.1%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 74.7%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 74.6%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 74.3%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 73.5%
河北部 (n=83)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 80.7%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 78.3%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 77.1%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 75.9%	

【満足度：前年度の比較】

令和3年度と令和2年度の満足度の変化については、33項目中17項目で満足度が1.0ポイント以上減少する結果となっている。中でも「観光地としての魅力」、「まちなみの美しさ」、「子供や子育てに対する支援サービス」、「消防・救急救助の体制」では4.0ポイント以上減少している。

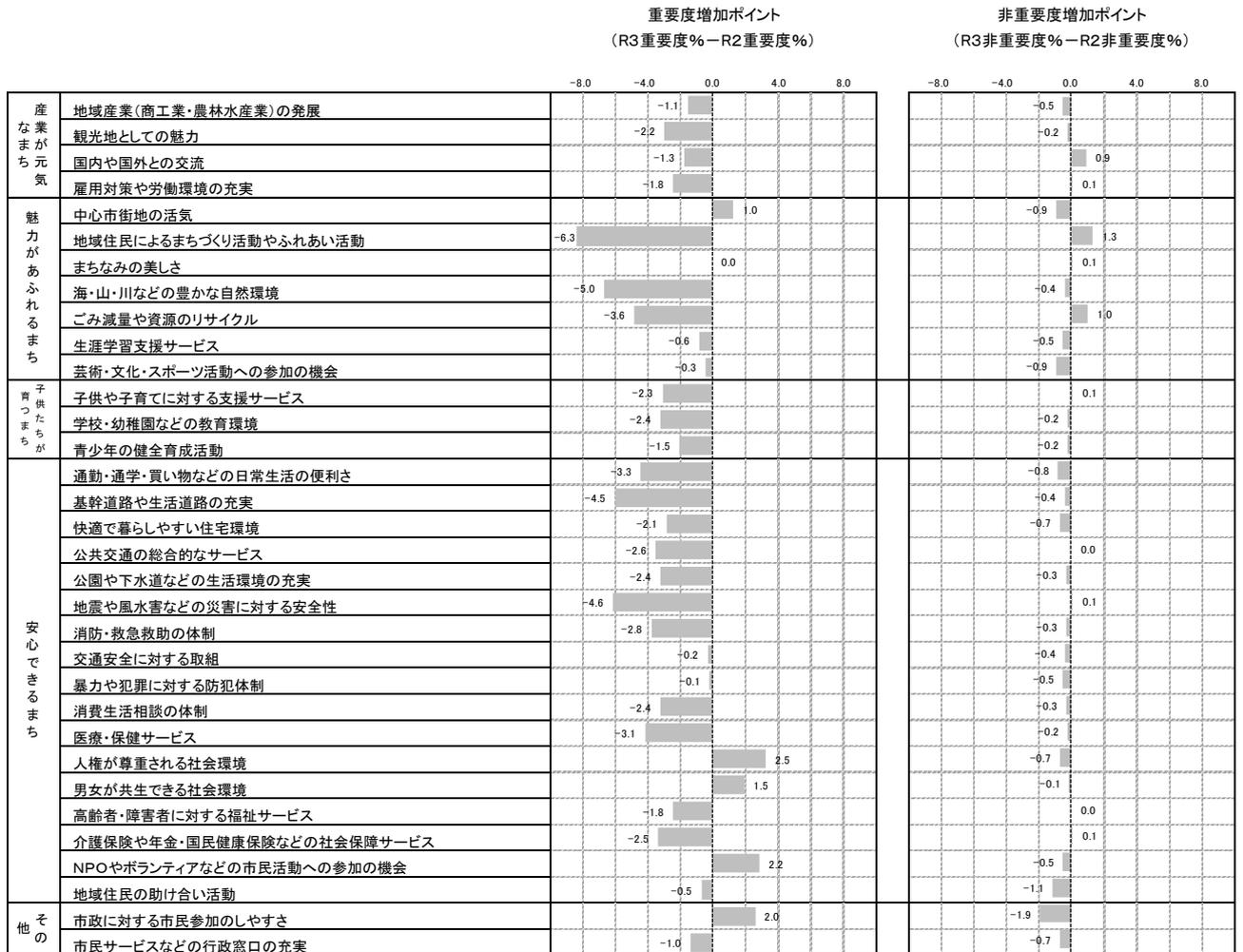
不満度の変化については、33項目中13項目で不満度が1.0ポイント以上減少する結果となっている。特に「地震や風水害などの災害に対する安全性」では6.4ポイント減少しており、「学校・幼稚園などの教育環境」、「介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」でも4.0ポイント以上減少している。一方で、「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「観光地としての魅力」、「公園や下水道などの生活環境の充実」では3.0ポイント以上増加している。



【重要度：前年度の比較】

令和3年度と令和2年度の重要度の変化については、33項目中22項目で重要度が1.0ポイント以上減少する結果となっている。中でも「地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動」、「海・山・川などの豊かな自然環境」では5.0ポイント以上減少している。一方で、「人権が尊重される社会環境」、「NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会」、「市政に対する市民参加のしやすさ」については2.0ポイント以上増加している。

非重要度（「あまり重要ではない」と「全く重要ではない」を合わせた計）の変化については、いずれの項目も2.0ポイント未満の増減に留まっている。



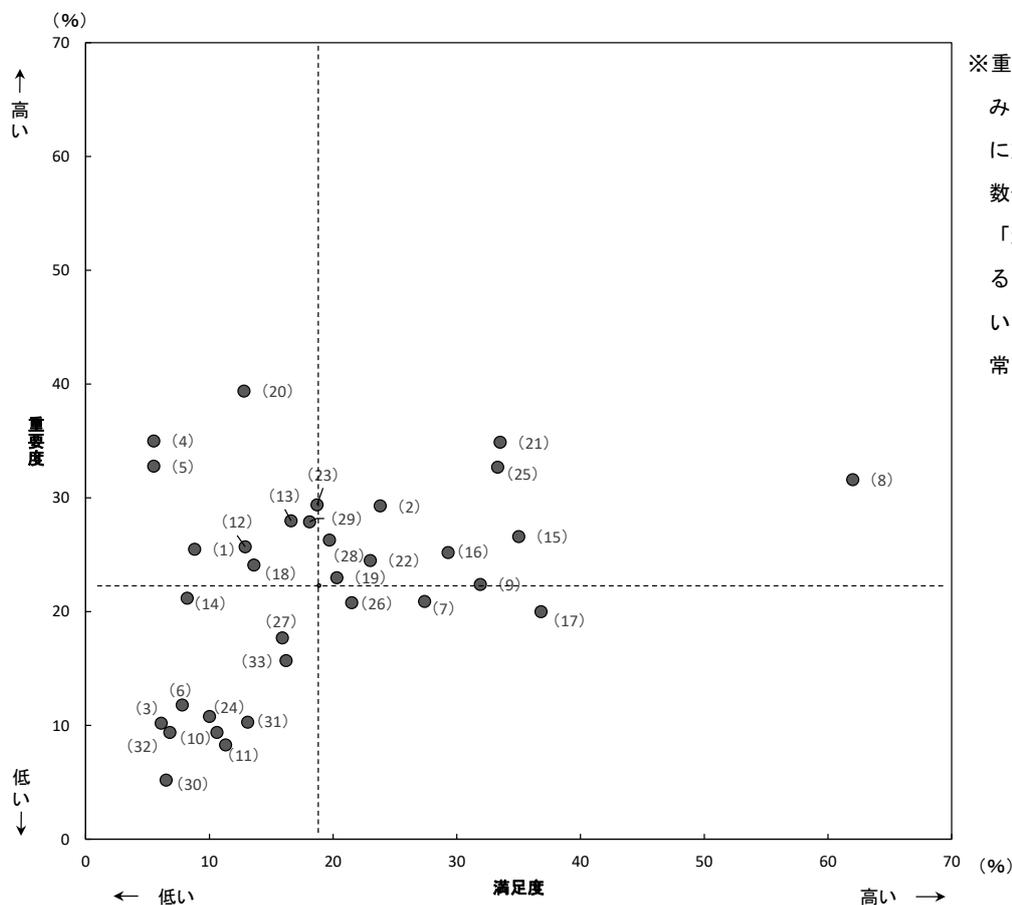
【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が満足度を10ポイント以上上回る項目は、ギャップの大きい順にみると「(4) 雇用対策や労働環境の充実」、「(5) 中心市街地の活気」、「(20) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(1) 地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「(14) 青少年の健全育成活動」、「(12) 子供や子育てに対する支援サービス」、「(13) 学校・幼稚園などの教育環境」、「(23) 暴力や犯罪に対する防犯体制」、「(18) 公共交通の総合的なサービス」の9項目となっており、早急に対策が求められている結果となっている。

満足度が重要度を10ポイント以上上回る項目は「(8) 海・山・川などの豊かな自然環境」、「(17) 快適で暮らしやすい住宅環境」の2項目となっている。

凡例	項目名	満足度計	重要度	(17)	快適で暮らしやすい住宅環境	36.8	20.0
(1)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	8.8	25.5	(18)	公共交通の総合的なサービス	13.6	24.1
(2)	観光地としての魅力	23.8	29.3	(19)	公園や下水道などの生活環境の充実	20.3	23.0
(3)	国内や国外との交流	6.1	10.2	(20)	地震や風水害などの災害に対する安全性	12.8	39.4
(4)	雇用対策や労働環境の充実	5.5	35.0	(21)	消防・救急救助の体制	33.5	34.9
(5)	中心市街地の活気	5.5	32.8	(22)	交通安全に対する取組	23.0	24.5
(6)	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	7.8	11.8	(23)	暴力や犯罪に対する防犯体制	18.7	29.4
(7)	まちなみの美しさ	27.4	20.9	(24)	消費生活相談の体制	10.0	10.8
(8)	海・山・川などの豊かな自然環境	62.0	31.6	(25)	医療・保健サービス	33.3	32.7
(9)	ごみ減量や資源のリサイクル	31.9	22.4	(26)	人権が尊重される社会環境	21.5	20.8
(10)	生涯学習支援サービス	10.6	9.4	(27)	男女が共生できる社会環境	15.9	17.7
(11)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	11.3	8.3	(28)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	19.7	26.3
(12)	子供や子育てに対する支援サービス	12.9	25.7	(29)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	18.1	27.9
(13)	学校・幼稚園などの教育環境	16.6	28.0	(30)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	6.5	5.2
(14)	青少年の健全育成活動	8.2	21.2	(31)	地域住民の助け合い活動	13.1	10.3
(15)	通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ	35.0	26.6	(32)	市政に対する市民参加のしやすさ	6.8	9.4
(16)	基幹道路や生活道路の充実	29.3	25.2	(33)	市民サービスなどの行政窓口の充実	16.2	15.7



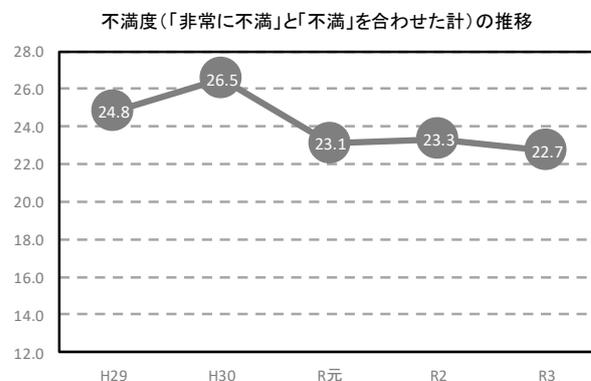
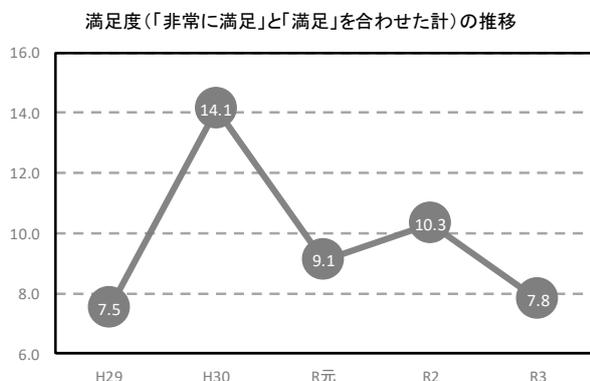
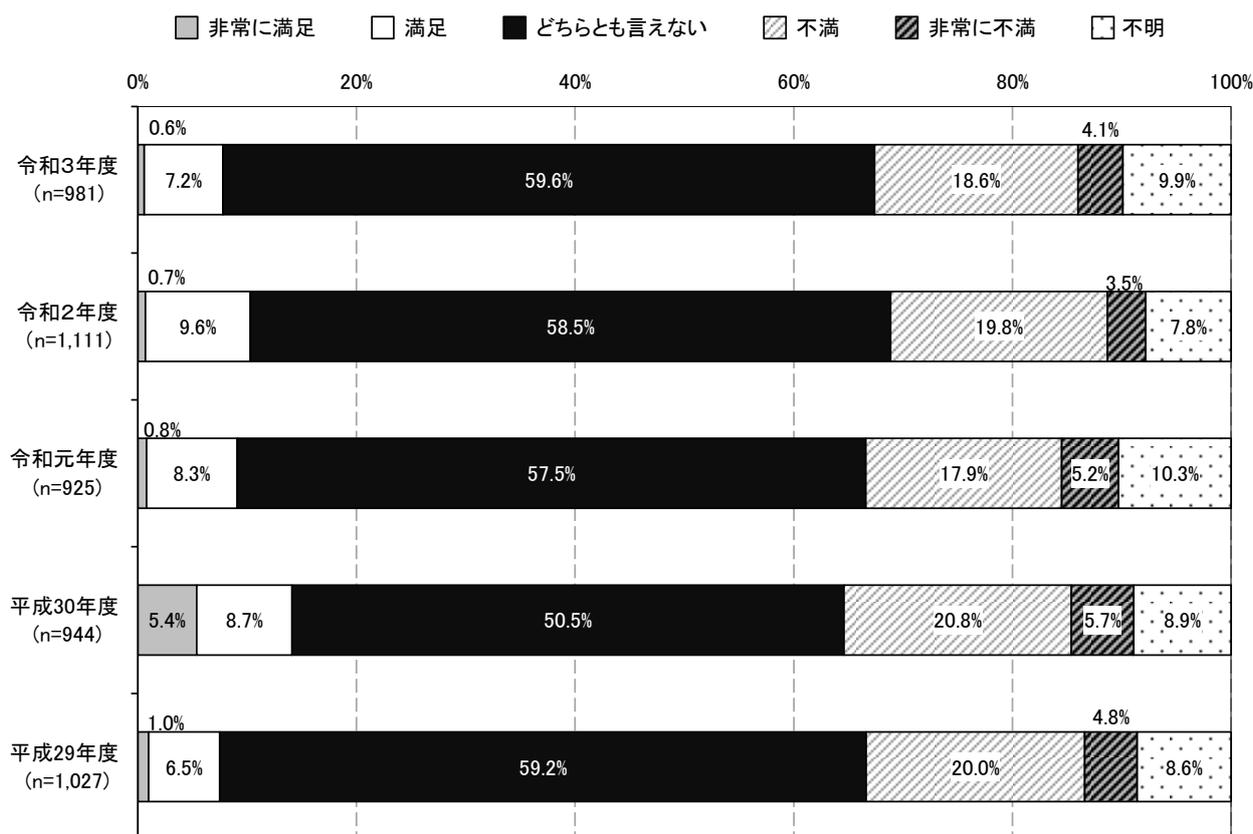
※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。

【満足度・不満度の指標の推移】

＜地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動＞

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画※」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少しているが、不満度も減少している。目標値の達成に向けて、地域住民と連携し、自主的な活動を安定的に実施できるよう支援に努めるとともに、魅力的なまちづくりやその担い手づくりを推進していく必要があると思われる。

満足度目標値	(令和8年度) 20.0%
--------	------------------

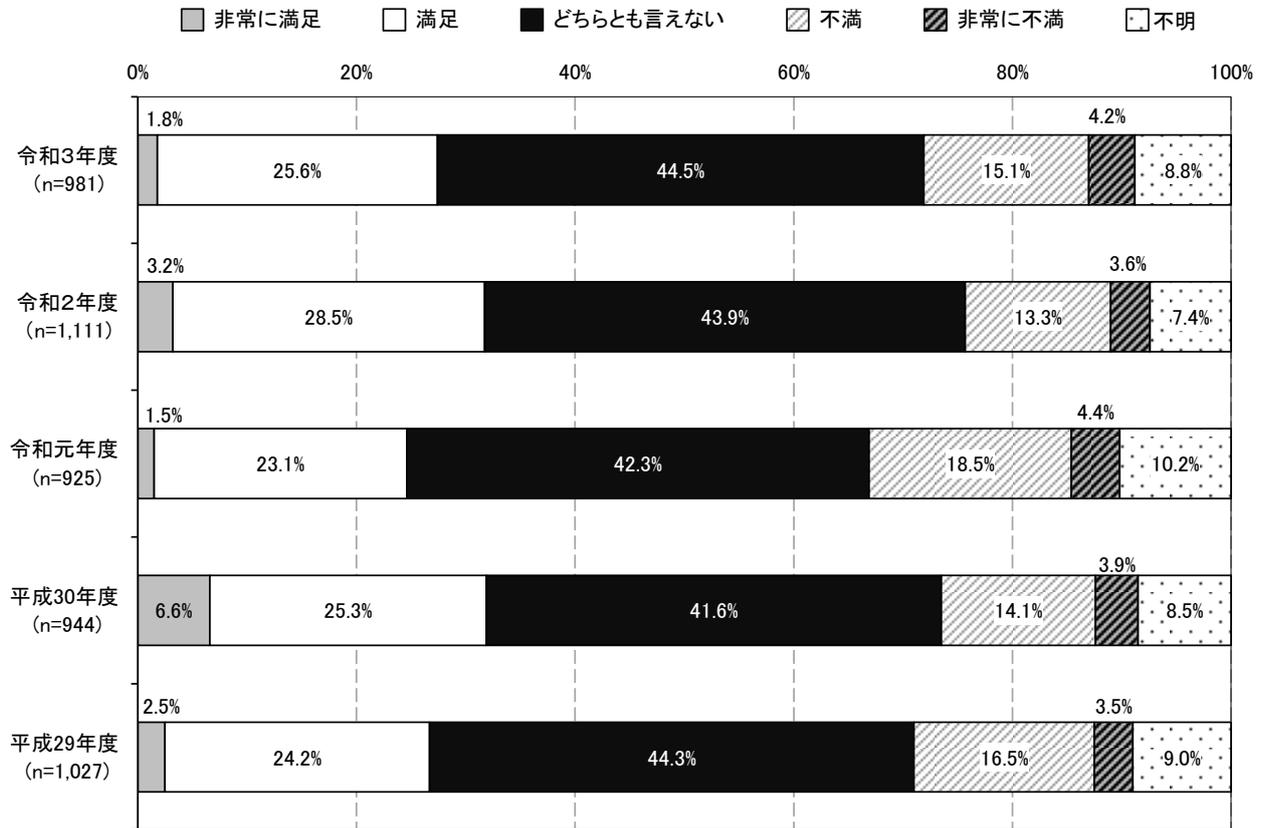


※「第5次和歌山市長期総合計画」とは、平成29年度から令和8年度までのまちづくりの方向性を示すもので、各種個別計画や事業はこの計画に基づいて策定・実施されています。

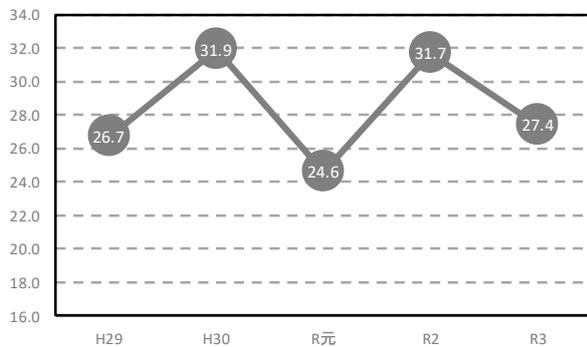
<まちなみの美しさ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。新たな景観拠点の創出や、地域の優れた景観を保全、活用する景観まちづくりを支援するとともに、その仕組みづくりの強化を図る必要があると思われる。

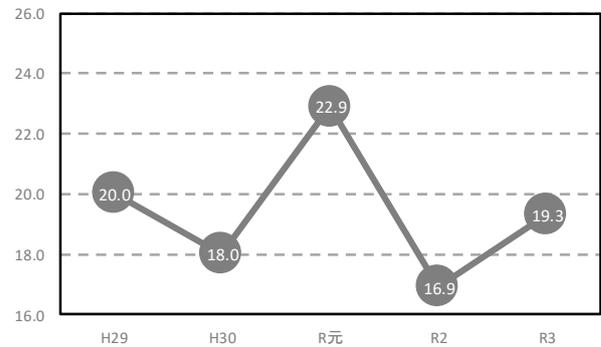
満足度目標値	(令和8年度) 33.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



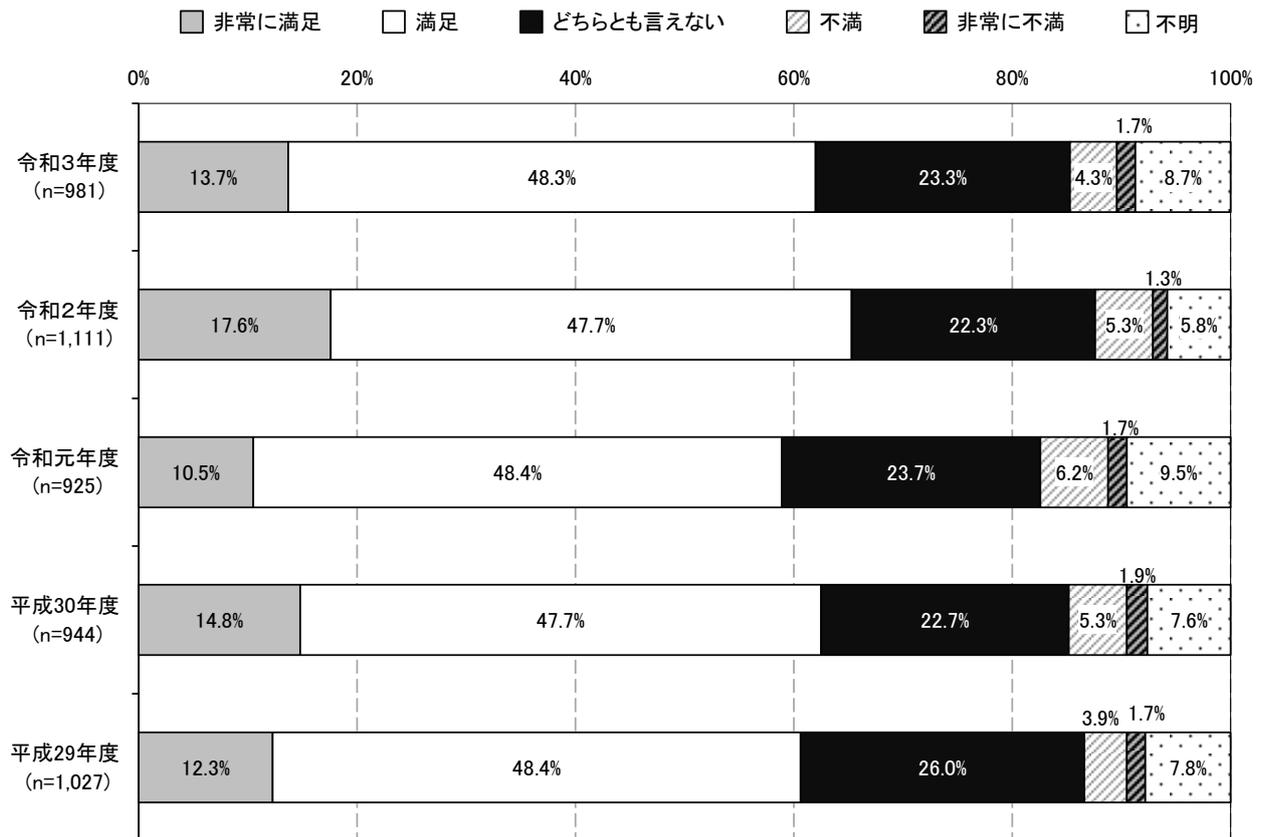
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



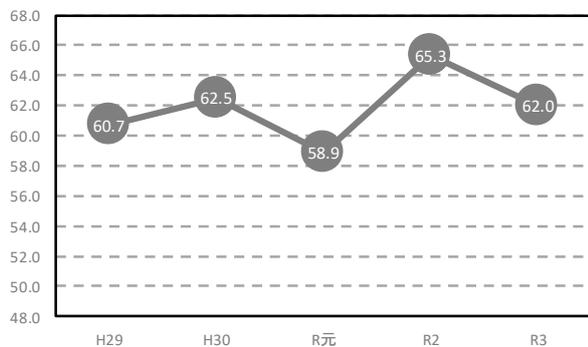
<海・山・川などの豊かな自然環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少したものの、目標値である60.0%は超え、達成となっている。今後も目標値達成を維持するために、さらに市民や事業者の環境保全意識を向上させ、環境にやさしい生活や事業が行われるよう、啓発活動や情報提供等を通じて、環境づくりに引き続き努めていく必要があると思われる。

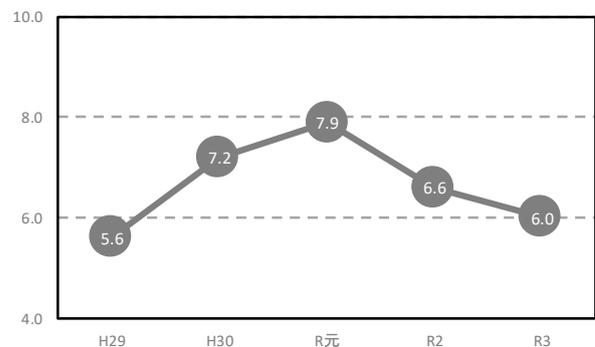
満足度目標値	(令和8年度) 60.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



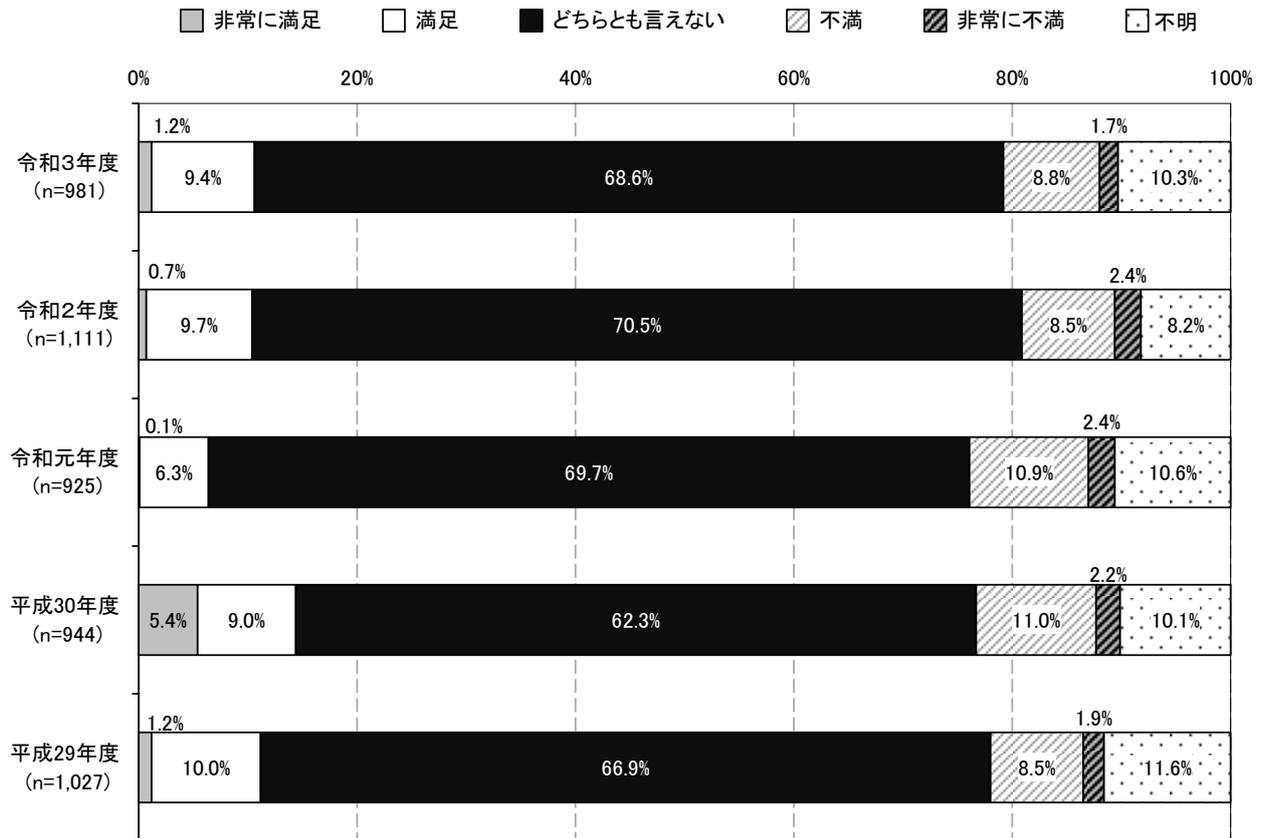
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



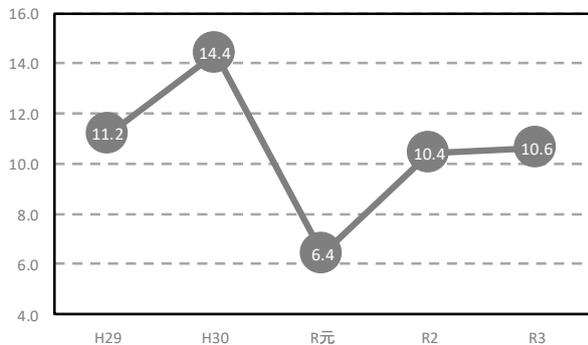
<生涯学習支援サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が増加し、不満度は減少していることから、引き続き目標値の達成に向けて、幅広い世代に学びの機会を提供し、課題解決の支援の充実を行っていくほか、より質の高いサービスの提供に努めることが必要であると思われる。

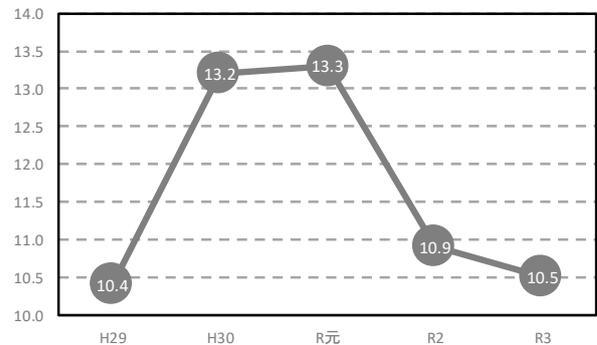
満足度目標値	(令和8年度) 17.7%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移

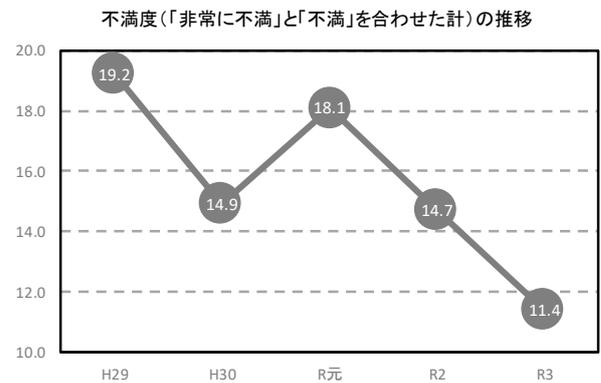
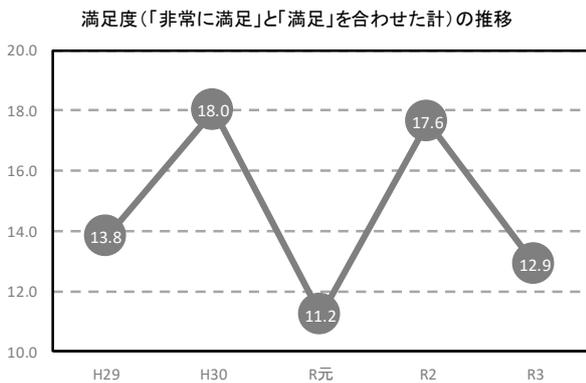
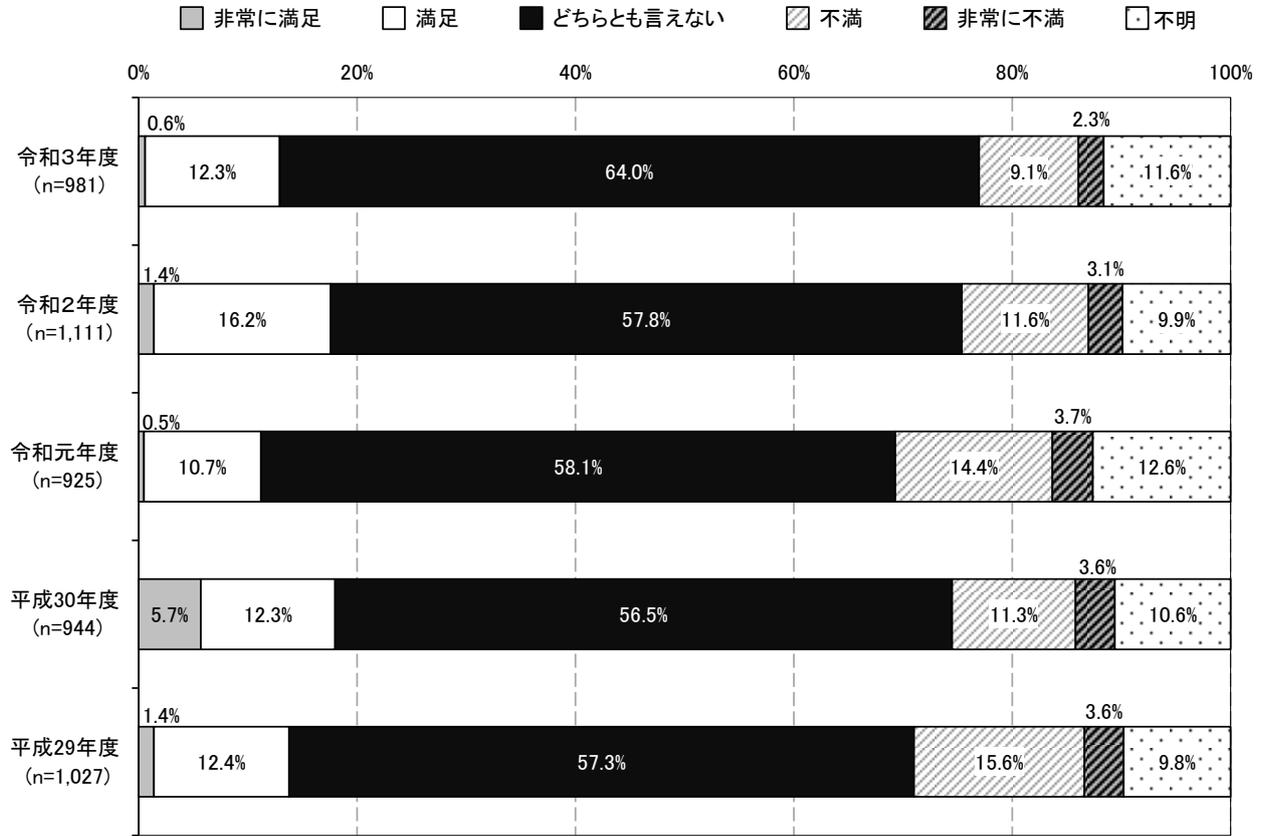


不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

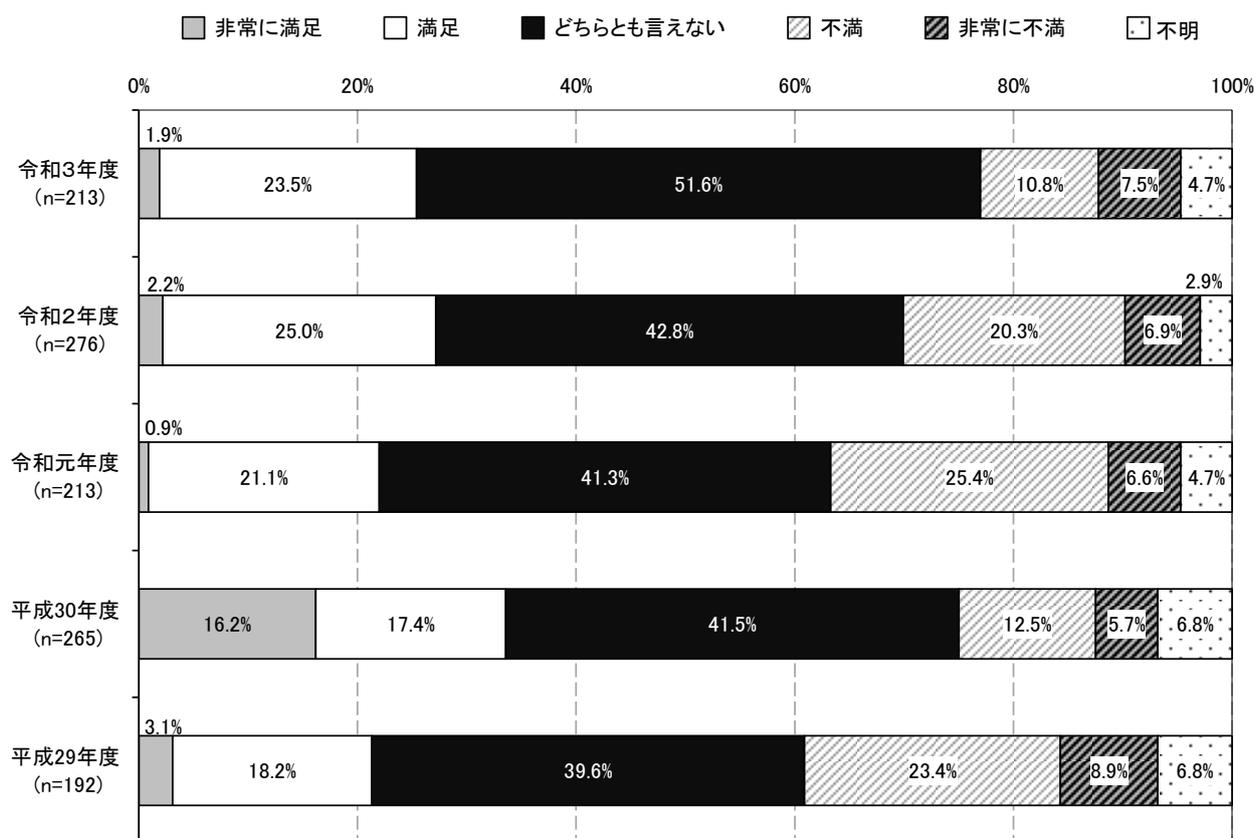


<子供や子育てに対する支援サービス>

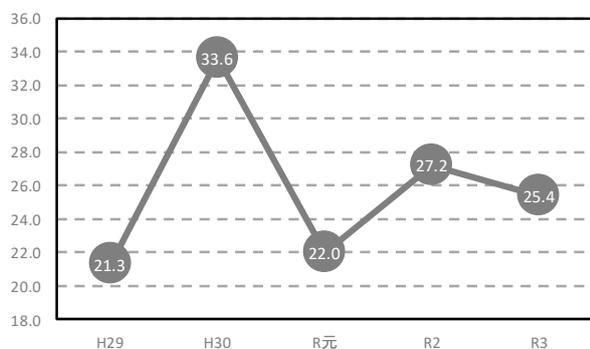
全体の回答では、満足度が減少し、不満度も減少している。0～14歳のお子様がいる方においても、同様の結果となっている。引き続き、より安心して子供を生き育てることのできる環境の整備に努めていく必要があると思われる。



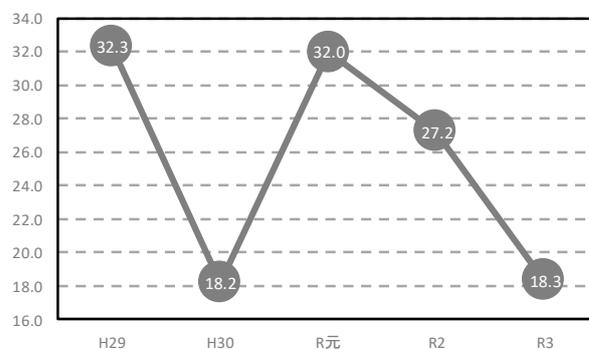
【0～14歳のお子様がいる方への回答】



満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）の推移



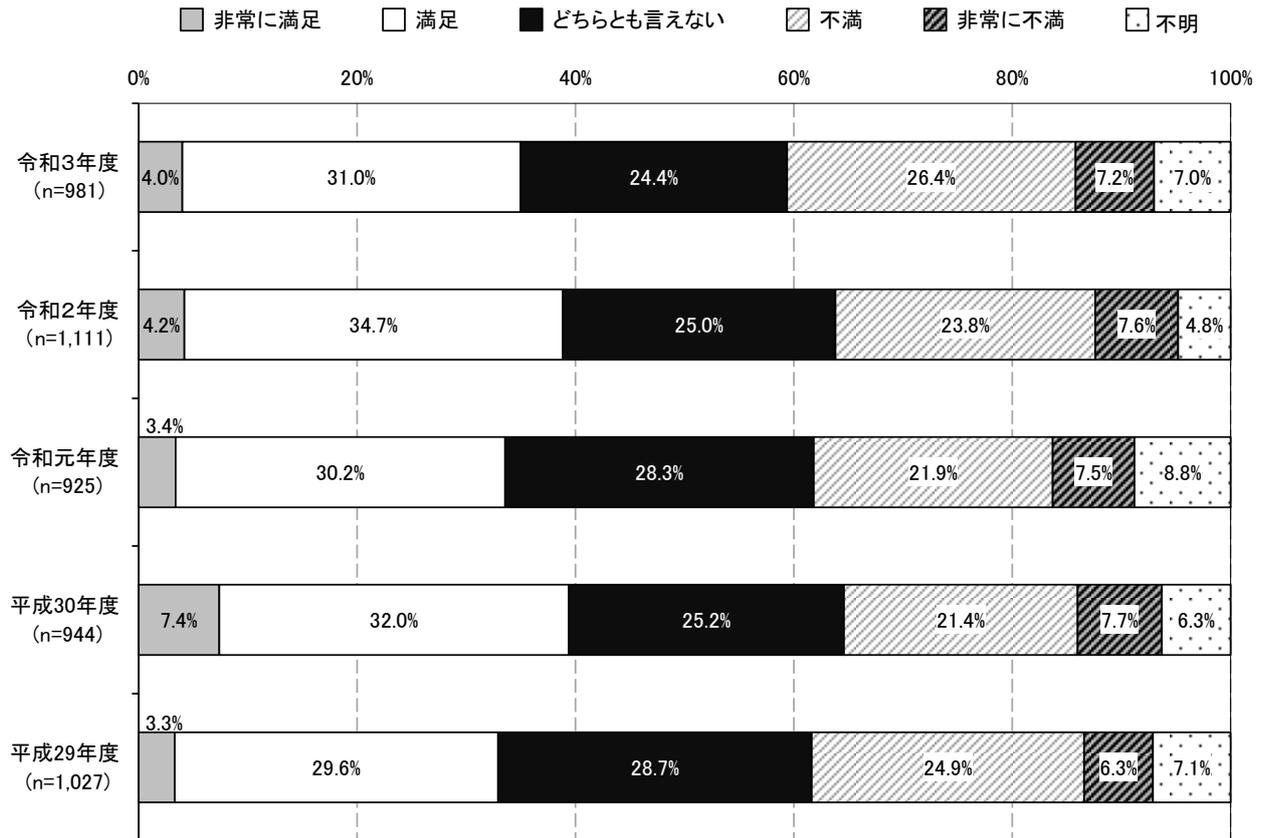
不満度（「非常に不満」と「不満」を合わせた計）の推移



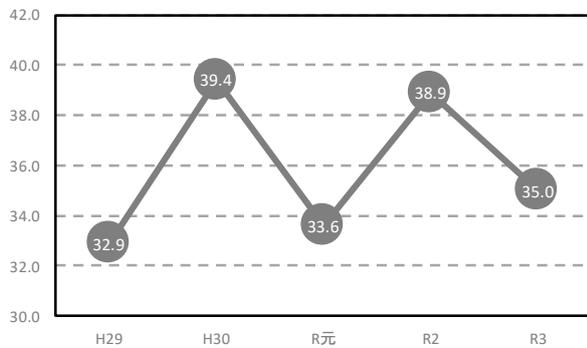
<通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が減少し、目標値は未達成となっている。また、不満度も増加している。今後は、不満度の減少を目指すと同時に目標値を達成する必要がある。中心市街地の活性化を図るとともに、コンパクトで便利なまちを形成するため、駅や小学校周辺などの生活拠点に住居と日常生活に必要な機能の緩やかな誘導を図る必要があると思われる。

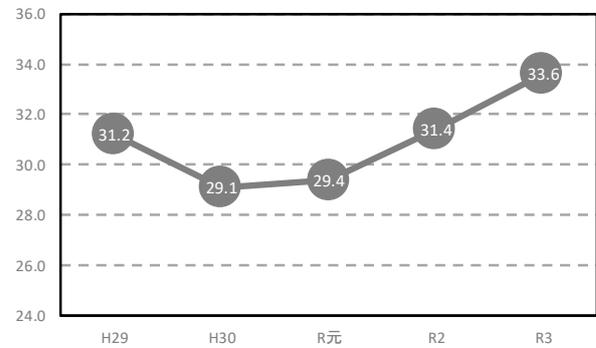
満足度目標値	(令和8年度) 35.5%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移

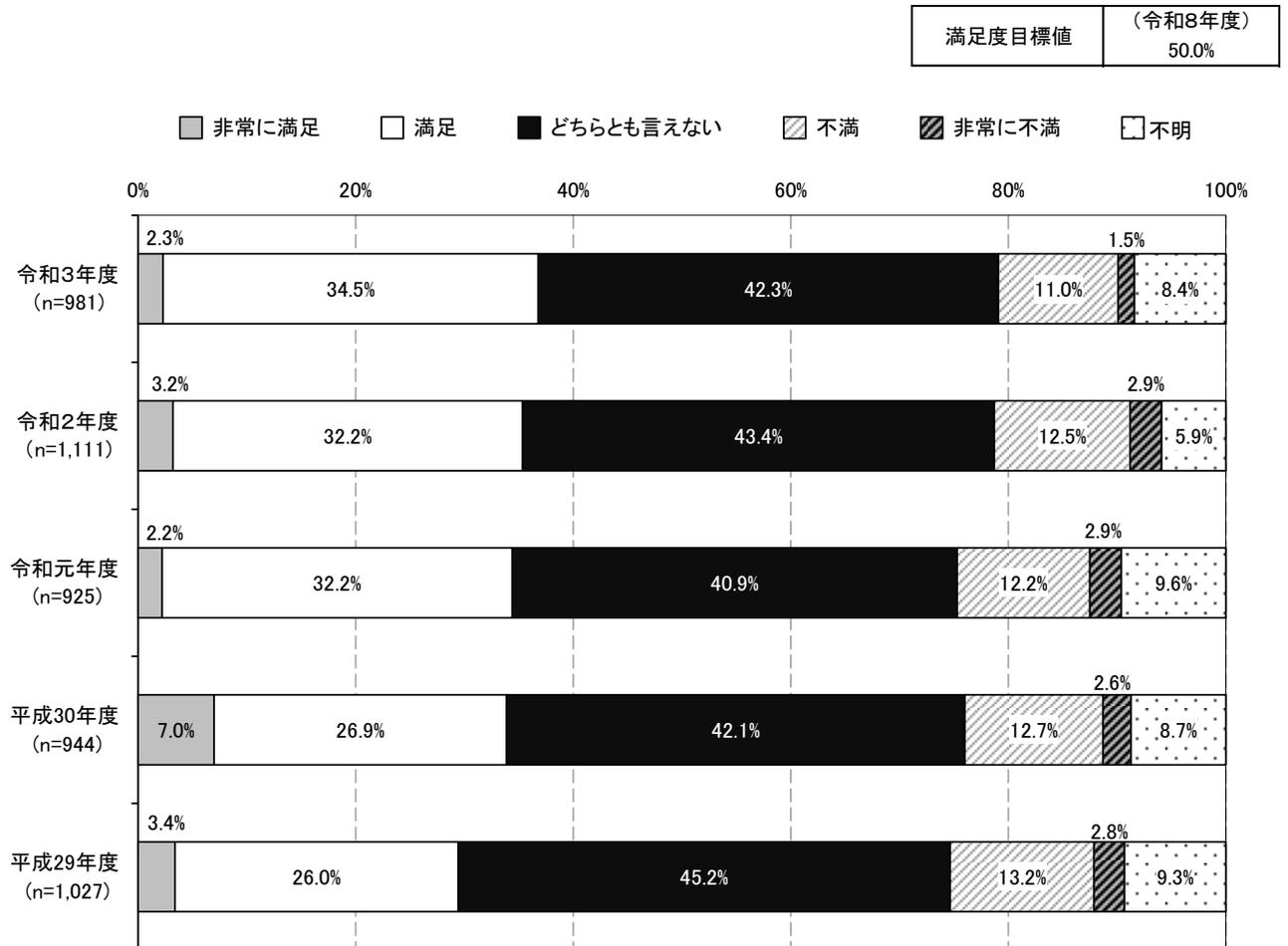


不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

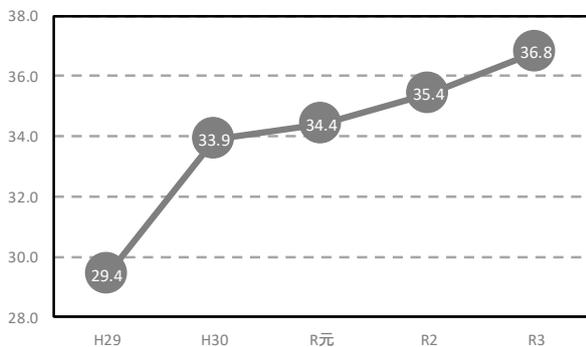


<快適で暮らしやすい住宅環境>

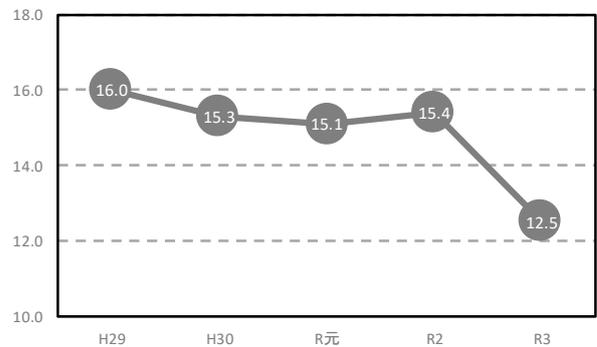
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加し、不満度は減少している。目標値の達成に向けて、良質な住宅や良好な宅地の確保に向け、空き家の適正管理・除去や利活用を促進するとともに、老朽市営住宅の建替え・景観改善・住環境改善を計画的に進める必要があると思われる。



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



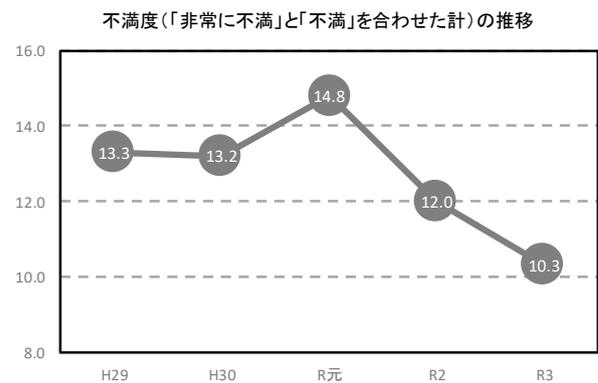
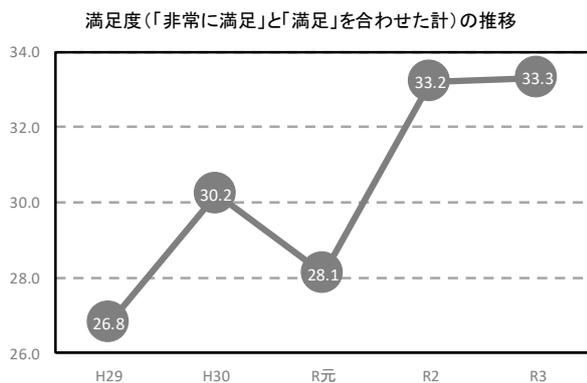
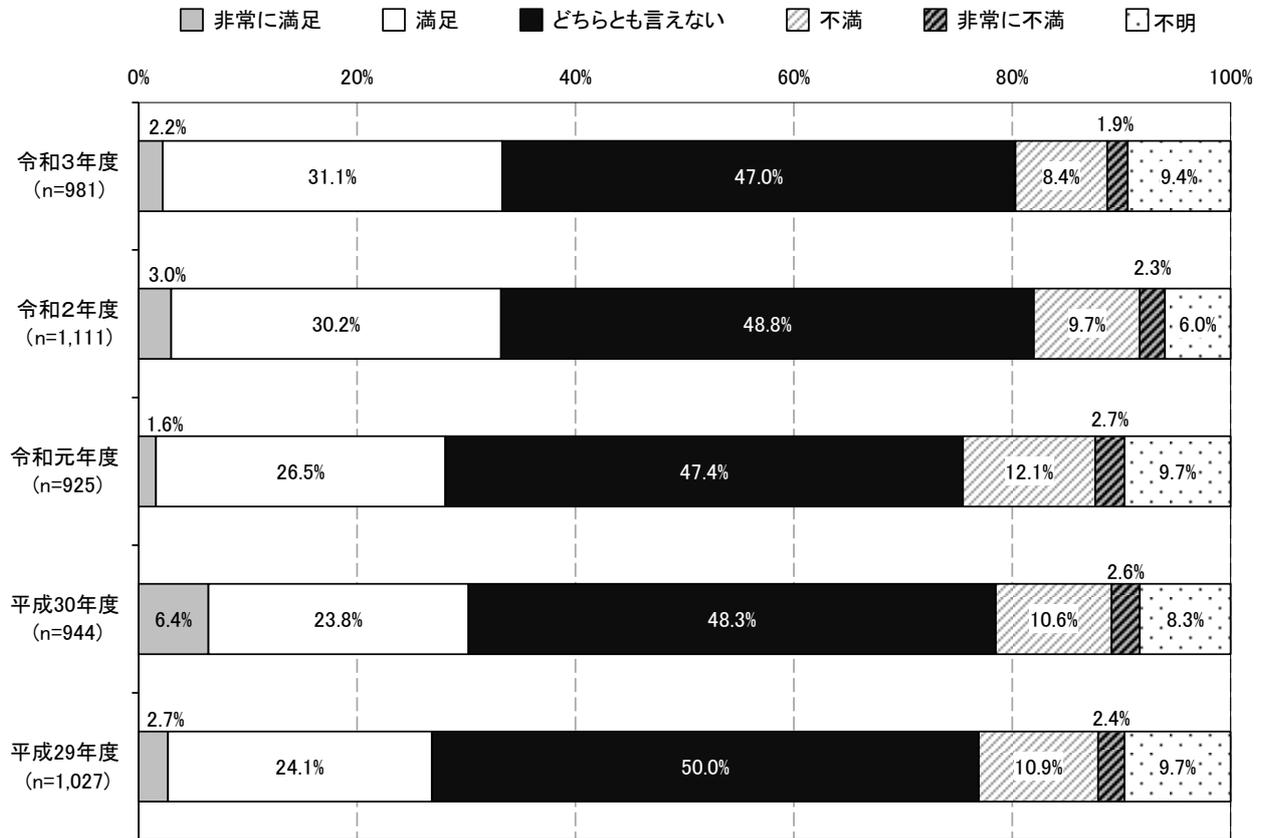
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



<医療・保健サービス>

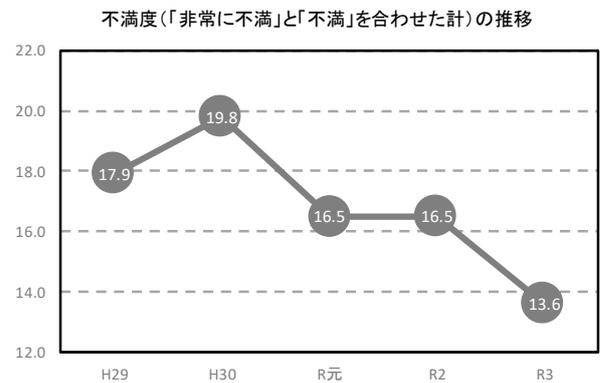
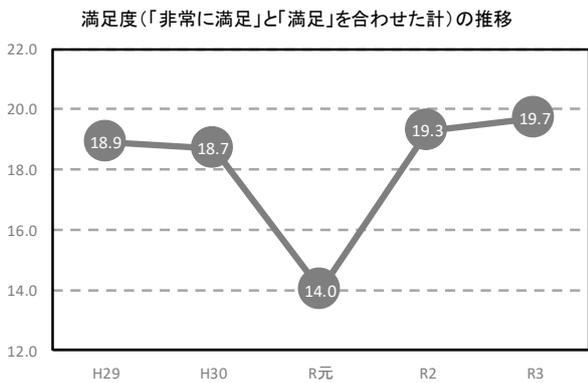
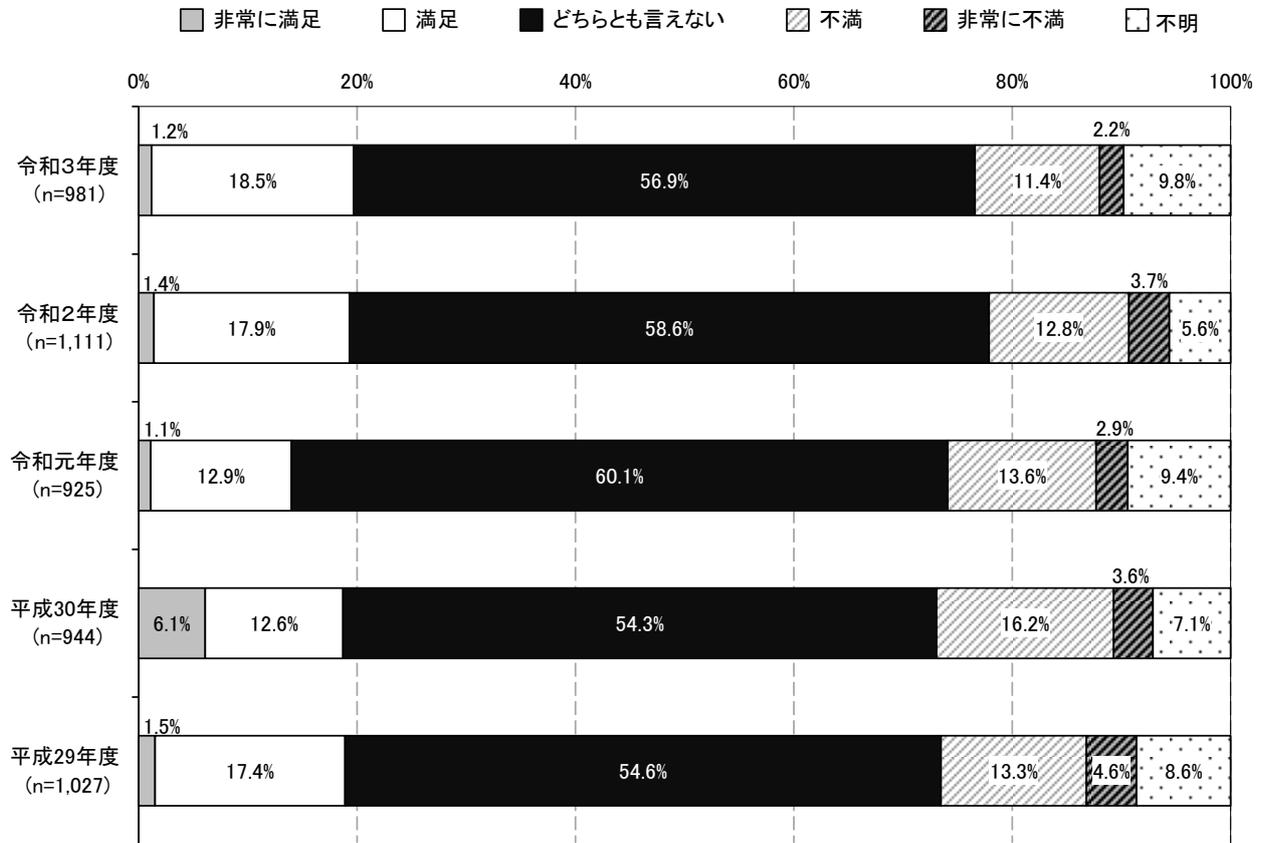
この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加し、不満度は減少していることから、今後も目標値の達成に向けて、必要な時に適切で良質な医療を利用できるよう地域医療・健康危機管理体制を引き続き充実させる必要があると思われる。

満足度目標値	(令和8年度) 57.6%
--------	------------------



<高齢者・障害者に対する福祉サービス>

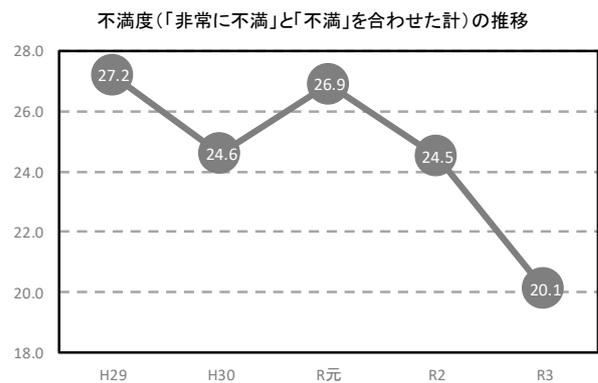
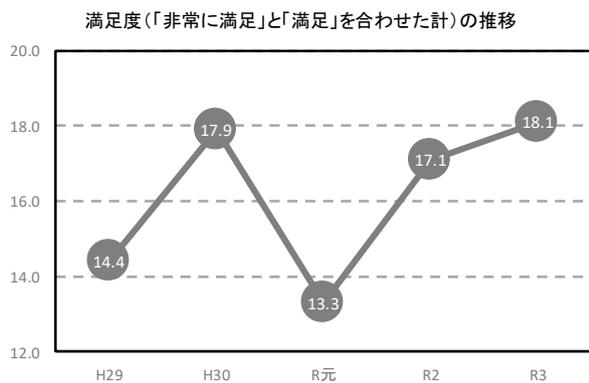
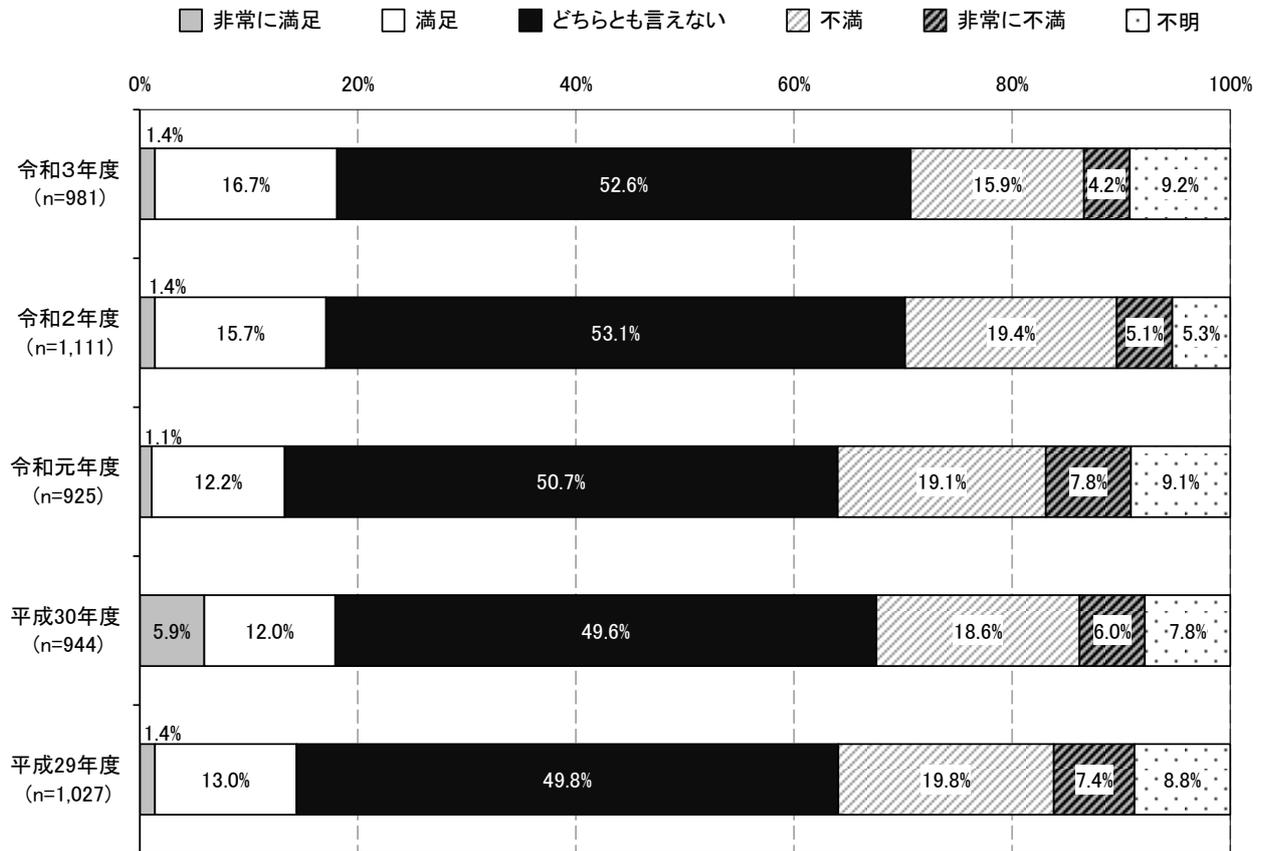
満足度は増加し、不満度は減少している。高齢者や障害者が安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに向けて、バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進とともに、引き続き支援体制の強化を図る必要があると思われる。



<介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度が増加し、不満度は減少している。今後も目標値の達成に向けて、必要な社会保障・公的扶助のサービスを適正に受けられる環境を整えていく必要があると思われる。

満足度目標値	(令和8年度) 26.0%
--------	------------------



13. 和歌山市の市政について（自由意見）

自由意見は 273 人の回答者より、393 件の意見があった。

その概要については、以下のとおりである。

【ご意見の概要】

大項目	中項目	小項目	件数
1 環境			15
	1 都市景観とまちの美化		15
		1 ごみの適正処理	9
		2 まちの美化	3
		3 河川の景観改善	2
		4 自然環境の保全と再生	1
2 健康・福祉			31
	1 高齢者		8
		1 高齢者向け施策全般	8
	2 子育て		17
		1 子育て支援	9
		2 子どもの医療費助成制度	4
		3 保育園・幼稚園の充実	3
		4 保育料の負担軽減	1
	3 経済的支援		5
		1 生活保護受給	4
		2 全世帯の優遇	1
	4 その他		1
		1 障がい者福祉	1
3 教育・文化・スポーツ			10
	1 学校教育・青少年の育成		8
		1 教育環境の充実	5
		2 学校授業料の軽減・無償化	1
		3 医療大学の開設	1
		4 図書館の充実	1
	2 文化・スポーツ活動		2
		1 スポーツ・文化芸術活動の振興	2
4 都市基盤・交通			64
	1 道路の整備や公共交通機関		59
		1 交通網や公共交通機関の充実	37
		2 道路(車道、自転車道、歩道)の整備	11
		3 バスサービスの向上	5
		4 駐車場・駐輪場の確保、整備	5
		5 交通渋滞の改善	1
	2 公園の整備		5
		1 公園の充実、整備	5
5 産業・経済			47
	1 商店街・中小企業・農業		13
		1 駅周辺・中心市街地の活性化	9
		2 商店街・商業施設の活性化	4
	2 新しい産業		6
		1 カジノ・IR	6
	3 観光・シティーセールスの推進		15
		1 市の魅力の向上	9
		2 観光の振興、整備	6
		3 和歌山城の活性化	2
	4 産業人材育成・就労支援や環境整備		8
		1 賃金の改善	5
		2 雇用の充実	3
	5 地場産業振興		5
		1 企業誘致	5
6 交流・生活コミュニティ			2
	1 市民活動の促進		2
		1 市民活動・自治会活動	2

7 安全・生活基盤			32
	1 防災・治水対策		20
		1 防災対策	18
		2 治水対策	2
	2 防犯・生活環境改善		1
		1 治安の改善、防犯対策	1
	3 上下水道・住宅・ガス等の整備		11
		1 下水道の整備	8
		2 空き家対策	3
8 新型コロナウイルス感染症			25
	1 行政・施策		25
		1 新型コロナウイルス感染症対応へのお褒め・ねぎらい・応援の言葉	15
		2 新型コロナウイルス感染症対応への要望	5
		3 新型コロナウイルス感染症関連施策の充実	3
		4 新型コロナウイルス感染症終息後の要望	2
9 その他・総合			167
	1 総合(政策・制度など)		86
		1 広報・広聴・情報公開	8
		2 市長・議員	8
		3 人権問題への取組	3
		4 市報	3
		5 デジタル弱者への配慮	2
		6 都市経営・運営	62
		1 市政全般への要望	21
		2 住みよいまち	10
		3 まちの活性化	9
		4 人口減少への対策	8
		5 デジタル化の推進	4
		6 助成金・補助金の充実	2
		7 市民サービスの向上	2
		8 安心・安全なまち	2
		9 役所手続について	2
		10 婚活事業	1
		11 ネット環境の充実	1
	2 総合(職員・組織など)		14
		1 市職員の対応	8
		2 窓口対応	4
		3 市職員の職員数	2
	3 財政		20
		1 税等(保険料・使用料)	12
		2 財政状況・財政運営	7
		3 税滞納・助成金不正受給の取り締まり	1
	4 その他		47
		1 特になし、不明	16
		2 市政世論調査	13
		3 お褒め・ねぎらい・応援の言葉	8
		4 感謝・お礼の言葉	6
		5 その他	4
合計			393

調査票

Ⅲ. 調査票

令和3年度 和歌山市政世論調査アンケート調査票

このアンケートは、8月30日(月)までに返信用封筒に入れて、
切手を貼らずにお出してください。

1 あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたの居住地区はどこですか？

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

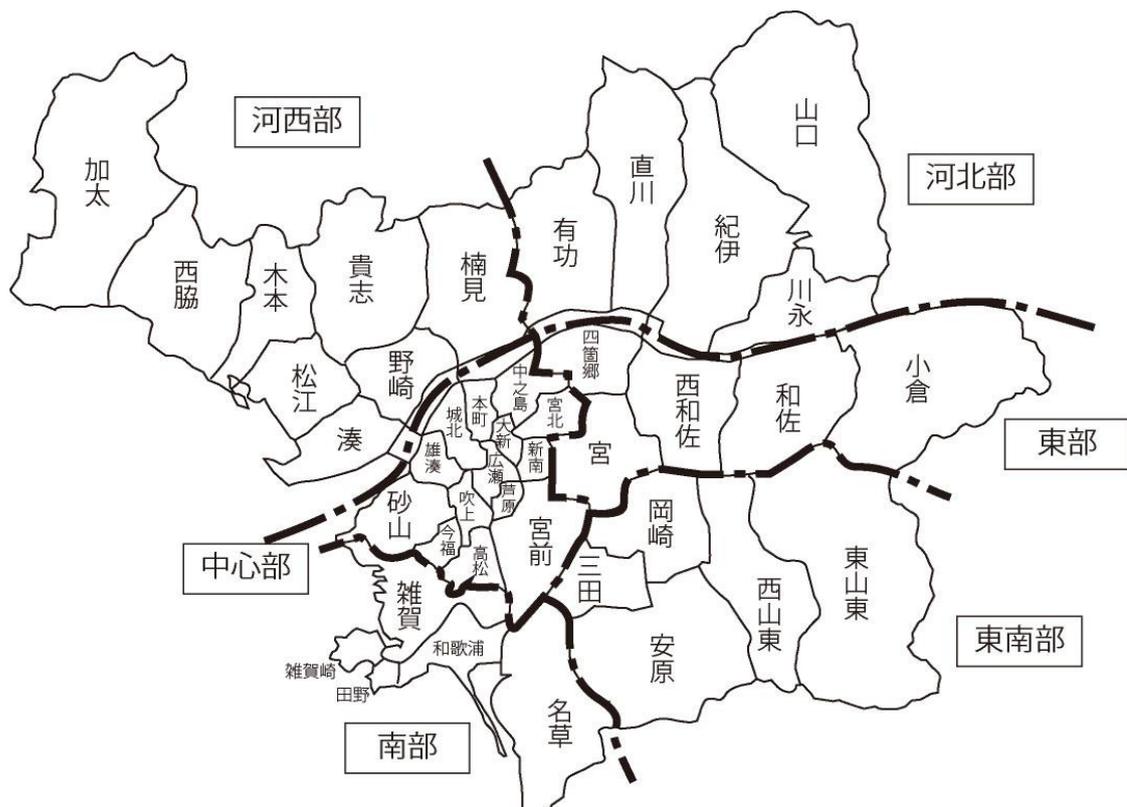
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



問2 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの年齢は？

1. 18～19歳 3. 30～39歳 5. 50～59歳 7. 70～79歳
2. 20～29歳 4. 40～49歳 6. 60～69歳 8. 80歳以上

問4 あなたの職業は？

1. 会社員 6. 専業主婦（夫）
2. 自営業 7. 学生
3. 農林水産業 8. 無職
4. 公務員 9. その他
5. パート・アルバイト ()

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

1. 1年未満 5. 10～20年未満
2. 1～3年未満 6. 20～30年未満
3. 3～5年未満 7. 30年以上
4. 5～10年未満

問6 あなたは現在、配偶者がいますか？

1. いる ⇒ 問6-1へ 2. いない

問6-1

問6で「1. いる」と回答された方のみお答えください。

どちらも働いていますか？

1. 共働きである 3. 相手が働いている
2. 自身が働いている 4. どちらも働いていない

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいですか？あてはまるものを全てお選びください。

1. 自分ひとり 7. 自分の親
2. 配偶者 8. 配偶者の親
3. 子供（未婚） 9. 兄弟姉妹
4. 子供（既婚） 10. 祖父母
5. 子供の配偶者 11. その他
6. 孫 ()

問8 あなたは18歳以降に県外に住んだことがありますか？

住んだことがある場所を全てお選びください。※18歳未満での県外居住経験は含みません。

1. 県外には住んだことがない 5. 近畿地方
2. 北海道・東北地方 6. 中国・四国地方
3. 関東地方 7. 九州・沖縄地方
4. 中部地方 8. 海外

2 災害対策についてお尋ねします。

問9 あなたは現在、ペットボトル水や缶詰などを多めに購入する等、災害に対して何らかの備えを行っていますか？

1. はい 2. いいえ

問10 あなたは、地震に備えて家具等の固定をしていますか？

1. はい 2. いいえ

問11 あなたは、地震が発生し揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動で止める「感震ブレーカー」を設置していますか？

1. はい 2. いいえ

3 防災行政無線から放送している気象警報についてお尋ねします。

現在、地方気象台から気象警報（①大雨警報、②洪水警報、③暴風警報、④高潮警報 等）が発表された時と、解除された時に、防災行政無線から放送を行っていますが、これらの放送についての運用の見直しを検討しています。

※見直しは上記気象警報のみであり、特別警報（①大雨特別警報、②暴風特別警報、③波浪特別警報、④高潮特別警報 等）や避難情報等（警戒レベル3「高齢者等避難」、警戒レベル4「避難指示」）は、今までどおり放送します。

問12 あなたは、気象警報が『発表』された時に放送が必要だと思われませんか？

1. 今までどおり必要
2. 夜間（午後10時から午前6時まで）は必要ない
3. 必要ない

問13 あなたは、気象警報が『解除』された時に放送が必要だと思われませんか？

1. 今までどおり必要
2. 夜間（午後10時から午前6時まで）は必要ない
3. 必要ない

4 行政が発表する避難情報についてお尋ねします。

甚大な災害をもたらした令和元年東日本台風（台風第19号）等においては、避難勧告、避難指示の区別等、行政による避難情報が分かりにくいという課題が見つかったことに加え、避難しなかった又は避難が遅れたことによる被災、豪雨・浸水時の屋外移動中の被災、高齢者等の被災も多数発生しました。

これらの課題に対応するため、令和3年5月20日より、行政が発表する避難情報について運用を見直すこととなりました。

問14 あなたは、「避難勧告」が廃止され、「避難指示」に一本化されたことをご存知ですか？

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない
3. 知らない

令和3年5月20日から

ひなんしじ

避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 <small>災害発生 又は切迫</small>	<small>きんきゆうあんぜんかくほ</small> 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 <small>(発生を確認したときに発令)</small>
～～<警戒レベル4までに必ず避難！>～～			
4	 <small>災害の おそれ高い</small>	<small>ひなんしじ</small> 避難指示 ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 <small>災害の おそれあり</small>	<small>こうれいしゃとうひなん</small> 高齢者等避難 ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 <small>気象状況悪化</small>	大雨・洪水・高潮注意報 <small>(気象庁)</small>	大雨・洪水・高潮注意報 <small>(気象庁)</small>
1	 <small>今後気象状況 悪化のおそれ</small>	早期注意情報 <small>(気象庁)</small>	早期注意情報 <small>(気象庁)</small>

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

問 17 インターネット又はマイナンバーカードを利用して受けられるサービスや機能で、今後利用したいと思うものを全てお選びください。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 研修・講習・各種イベント等の申込 | 6. 消防法令における申請・届出等 |
| 2. 水道使用開始届等 | 7. 健診情報の確認 |
| 3. 粗大ごみ収集の申込 | 8. 公共料金の支払い |
| 4. 犬の登録申請、死亡届 | 9. その他 |
| 5. 衆議院・参議院選挙の不在者投票用紙等の請求 | () |
| | 10. 特になし |

6 在宅医療についてお尋ねします。

問 18 あなたは、在宅医療についてご存知ですか？

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

**問 19 あなたは、医療や介護が将来必要になったとき、主にどこで過ごしたいですか？
最もあてはまるものを1つお選びください。**

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 自宅 | |
| 2. 子供や親戚の家 | |
| 3. 病院などの医療機関への入院 | |
| 4. 有料老人ホームやサービス付高齢者住宅など | |
| 5. 特別養護老人ホームなどの介護施設への入所 | |
| 6. その他 () | |
| 7. わからない | |

**問 20 あなたは、自分の最期をどのように過ごしたいと考えていますか？
最もあてはまるものを1つお選びください。**

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. なるべく早く医療機関に入院したい | |
| 2. 自宅で療養して、最期は医療機関に入院したい | |
| 3. 自宅で最期まで療養したい | |
| 4. 専門的医療機関（がんセンターなど）で積極的に治療を受けたい | |
| 5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所したい | |
| 6. その他 () | |
| 7. わからない | |

問 21 あなたは、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組「ACP（アドバンス・ケア・プランニング、愛称：人生会議）」についてご存知ですか？

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

7 子育て支援施策(結婚から子育ての各ライフステージにおける施策)についてお尋ねします。

問 22 あなたが、和歌山市に求める子育て支援施策(結婚から子育ての各ライフステージにおける施策)について、重要だと考えるものを全てお選びください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 出会い機会の創出 | 7. ひとり親家庭への経済的支援 |
| 2. 結婚における経済的支援 | 8. 困窮家庭への経済的支援 |
| 3. 妊娠期の経済的支援 | 9. 待機児童の解消 |
| 4. 出産期の経済的支援 | 10. 保育園・幼稚園の費用の軽減 |
| 5. 子供の医療費補助 | 11. 子育て相談の充実 |
| 6. 保育園・幼稚園・認定こども園の充実 | 12. その他 |

()

和歌山市では、子育て家庭のニーズに応じて、子育てを支えるサービスの情報提供や紹介など、適切な機関と親子をつなぐお手伝いをする「子育てプランナー」事業を行っています。「妊娠期」から「子育て期」の保護者を対象に、電話やメール、窓口相談等で「子育てプランナー」に相談できる場を設けるとともに、各種媒体で情報発信を行っています。そこで、「妊娠期」から「子育て期」の方にお尋ねします。

問 23 あなたは、「妊娠期」から「子育て期」の方ですか？

1. はい ⇒ 問 23-1、2へ 2. いいえ

問 23-1

問 23 で「1. はい」を回答された方のみお答えください。

あなたは、「子育てプランナー」を知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

問 23-2

問 23 で「1. はい」を回答された方のみお答えください。

あなたは、和歌山市からの子育て情報を主にどこで入手していますか？

あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 和歌山市公式ホームページ | 5. 検診で配布されるパンフレット等 |
| 2. 市報わかやま | 6. 地域子育て支援拠点施設 |
| 3. 子育て支援課窓口 | 7. その他 |
| 4. 和歌山市公式 SNS | () |

和歌山市では、令和3年度からお見合いを中心とした「出会い」を応援するための新規事業を実施する予定です。

問 24 民間でも婚活事業は実施していますが、自治体で実施することについてどう思いますか？

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 非常によいと思う | 4. あまりよくないと思う |
| 2. よいと思う | 5. よくないと思う |
| 3. どちらでもない | |

問 25 自治体でお見合いを中心とした事業を実施した場合、参加したい又は知人や友人に紹介したいと思いますか？

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 非常に参加したい・紹介したい | 4. あまり参加したくない・紹介したくない |
| 2. 参加したい・紹介したい | 5. 参加したくない・紹介したくない |
| 3. どちらでもない | |

8 家庭教育支援についてお尋ねします。

問 26 あなたは、子育てや家庭教育について悩みや不安、孤立感を感じていますか？

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. とても感じている ⇒ 問 26-1 へ | 4. あまり感じていない |
| 2. 感じている ⇒ 問 26-1 へ | 5. 感じていない |
| 3. どちらともいえない | 6. 家族に0～18歳の子供はいない |

問 26-1

**問 26 で「1. とても感じている」「2. 感じている」と回答された方のみお答えください。
主にどのようなことに悩みや不安、孤立感を感じていますか？
最もあてはまるものを1つお選びください。**

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. 子供の健康 | 8. 子供の養育費 |
| 2. 子供の発育・発達 | 9. 子供の兄弟姉妹の関係 |
| 3. 子供のしつけやマナー | 10. 子供の性 |
| 4. 子供の性格や癖 | 11. 保護者として子供の気持ちがわからない |
| 5. 子供の勉強や進学 | 12. 子供とのコミュニケーションが不足している |
| 6. 子供の生活の乱れや非行 | 13. 子育てや家庭教育への家族等の協力が得られない |
| 7. 子供の友人関係 | 14. その他 |
| | () |

**問 27 あなたは、子育て中の親や家庭をサポートするために、どのようなことが必要だと考えますか？
最もあてはまるものを1つお選びください。**

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 子育て中の親の交流会 | 5. 行政等が講座やセミナーを行う |
| 2. 子育て・家庭の教育に関する情報提供 | 6. 地域の人たちが応援する |
| 3. 行政等による相談の場の充実 | 7. 企業等が子育てしやすい環境づくりに協力する |
| 4. 行政等による家庭に訪問してもらう機会の充実 | 8. その他 |
| | () |

9 ”まちなかエリア”（南海和歌山市駅～JR和歌山駅周辺）の活性化についてお尋ねします。

本市は、豊かな自然や温暖な気候に恵まれているとともに、これまで培われてきた個性的な歴史・文化資産も豊富に存在します。また、和歌山県の中核となる県庁所在地として、様々な都市機能が集積しており、便利で快適な暮らしを送ることが可能です。

一方、若者世代の市外流出や出生率の低迷が続き、人口減少・少子高齢化が進んでおり、今後とも社会保障などを安定的に提供するとともに、県都としての都市機能を維持するためには、人口減少に歯止めをかけていく必要があります。

そのためにも、「県外に出ていった若者や子育て世代」に和歌山に帰ってきてもらう、あるいは他県出身の移住者を増やす取組も進めております。

以上を踏まえ、”まちなかエリア”（南海和歌山市駅～JR和歌山駅周辺）の活性化について質問します。

**問 28 本市では、”まちなかエリア” において「医療福祉系の大学誘致」や「再開発」、「リノベーションまちづくり」などを進めていますが、若者や子育て世代にとっても住みよい街にするためには、どのようなまちづくりが必要で、何が足りないと思いますか？
あてはまるものを全てお選びください。**

1. 若者～子育て世代が交流できる場
2. 若者～子育て世代も来やすいようにデザインされた居心地よい芝生公園（カフェ付き、緑豊かな空間・農地付きなど）
3. 若者～子育て世代の雇用・起業を生み出す産業振興
4. 若者～子育て世代が住みやすい住居
5. 子供が雨天時でものびのび遊べる大型の屋内遊具つき空間
6. 水辺の賑わい活用
7. 商業施設（物販店、飲食店など）
8. 和歌山城の積極的な活用
9. 県外から人を呼べるようなアミューズメントパーク
10. 和歌山のイメージ向上・シティプロモーションの強化
11. その他（）
12. わからない

**問 29 これから続く人口減少社会において「持続可能なまちづくり」や「地方創生」を進めるためには、「その土地らしさ」や地方の特徴・個性を生かすことが大切だと言われています。
そのような中、あなたが考える「和歌山らしさ」とは何でしょうか？
できる範囲で具体的にお答えください。**

（ ）

**問 32 和歌山城の天守閣をより魅力ある施設としていくために、特に必要だと思うことは何ですか？
あてはまるものを全てお選びください。**

1. 天守閣周辺の景観の向上（外壁の修復、周辺障害物の除却等）
2. 内装のリニューアル
3. 展示物・展示内容の充実
4. 新しいお城の見せ方（ARやVRの活用）
5. ゲーム性やアトラクション性のある楽しみ方
6. ユニバーサルデザインの充実（バリアフリー、多言語化等）
7. ネームバリュー・話題性を高める
8. イベント等の企画
9. 木造再建
10. 多目的な活用（イベントや企画展示等）
11. 高付加価値化（城泊、ダイニング、結婚式等）
12. 夜間の魅力の充実
13. オリジナルグッズ等の充実
14. 料金の値下げ
15. 交通利便性の向上
16. その他（)
17. 何をしても変わらない（何をしても行きたくならない）

11 和歌山市の広報についてお尋ねします。

**問 33 あなたは、市政の情報を主にどの方法で入手していますか？
あてはまるものを全てお選びください。**

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 和歌山市の公式ホームページ | 9. Instagram |
| 2. 市報わかやま | 10. データ放送 |
| 3. 広報番組（ラジオ・テレビ） | 11. メールマガジン |
| 4. チラシやポスター | 12. 新聞 |
| 5. LINE | 13. ニュース番組（ラジオ・テレビ） |
| 6. Facebook | 14. その他 |
| 7. Twitter | () |
| 8. YouTube | 15. 特になし |

問 34 あなたは、和歌山市公式LINEがあることをご存じですか？

1. はい
2. いいえ

問 35 和歌山市公式LINEでは、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報の他、市政に関する情報を提供しています。あなたは、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報以外の市政についてどんな情報を求めていますか？あてはまるものを全てお選びください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 子育て情報 | 8. ごみの情報 |
| 2. イベント情報 | 9. 保健・医療の情報 |
| 3. 税金や保険料についての情報 | 10. 福祉の情報（高齢者・生活支援など） |
| 4. 各種募集案内（講座や採用情報など） | 11. その他 |
| 5. 窓口の混雑状況 | () |
| 6. 観光情報 | 12. 特になし |
| 7. 防災情報 | |

12 あなたの身の回りの状況やお考えについてお尋ねします。

問 36 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？

1. はい 2. いいえ

(2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？

1. はい 2. いいえ

(3) あなたの、かかりつけ医はありますか？

1. はい 2. いいえ

(4) お子様の、かかりつけ医はありますか？ (0～14歳のお子様がいらっしゃる方のみ)

1. はい 2. いいえ

(5) あなたの、かかりつけ歯科医はありますか？

1. はい 2. いいえ

(6) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？

1. はい 2. いいえ

(7) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？

1. はい 2. いいえ

(8) 日頃から芸術・文化活動を行い、又は鑑賞する機会(映画・音楽・展覧会の鑑賞などを含む)をもっていますか？

1. はい 2. いいえ

(9) 公園清掃や花壇づくりなど地域の活動への参加をしている、又は、したいと思いますか？

1. はい 2. いいえ

(10) 公園を月1回以上利用されますか？

1. はい 2. いいえ

(11) あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい 2. いいえ

(12) あなたは、週一回以上運動やスポーツ(通勤時の徒歩や自転車、散歩やウォーキング、その他軽い運動・体操などを含む)をしていますか？

1. はい 2. いいえ

(13) あなたは、定期的に、がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん等のいずれか)を受けていますか？

1. 定期的に受けている 2. 定期的には受けていない 3. 一度も受けたことがない

※定期的な検診とは、「肺がん・大腸がん」は1年に1回、「胃がん・子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

13 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度についてお尋ねします。

問 37 和歌山市に住んでいて、つぎのことからについてどのように感じていますか？
 満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	どちらとも言えない	不満	非常に不満	非常に重要	重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	全く重要ではない
産業が元氣なまち 安定した雇用を生み出す	地域産業（商工業・農林水産業）の発展	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	観光地としての魅力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	国内や国外との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	雇用対策や労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
住みたいと選ばれる魅力があふれるまち	中心市街地の活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	海・山・川などの豊かな自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ごみ減量や資源のリサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	生涯学習支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
子供たちがいきいきと育つまち	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	子供や子育てに対する支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	学校・幼稚園などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	青少年の健全育成活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	どちらとも言えない	不満	非常に不満	非常に重要	重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	全く重要ではない
誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	基幹道路や生活道路の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	快適で暮らしやすい住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公共交通の総合的なサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公園や下水道などの生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地震や風水害などの災害に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消防・救急救助の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	交通安全に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	暴力や犯罪に対する防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消費生活相談の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療・保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	人権が尊重される社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	男女が共生できる社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	高齢者・障害者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域住民の助け合い活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
その他	市政に対する市民参加のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	市民サービスなどの行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

和歌山市の市政についてご意見をお聞かせください。

.....

.....

.....

*****ご協力ありがとうございました*****